

令和3年度
西予市まちづくり報告書

～第2次西予市総合計画の進行管理～

西予市

令和4年11月

目次

1. 西予市まちづくり報告書の基本的な考え方.....	5
(1) 西予市まちづくり報告書の意義.....	5
(2) 総合計画の構成.....	5
①まちづくりを施策体系の中で進めていく総合計画.....	5
②まちづくりのめざすべき姿を市民にわかりやすい『モノサシ（成果指標）』で示す総合計画.....	5
(3) 総合計画の進行管理方法.....	6
2 施策体系.....	7
3 令和3年度の評価概要.....	13
4 施策の進捗状況.....	15
(1) 報告書の見方.....	15
5 施策・基本事業の評価結果.....	17
【政策】 1) しごとづくり.....	17
1) 商工業の振興.....	17
2) 農業の振興.....	23
3) 森林保全と林業の振興.....	31
4) 水産業の振興.....	37
5) 観光の振興.....	43
【政策】 2) ひとづくり.....	49
1) 子育て支援の推進.....	49
2) 学校教育の充実.....	55
3) 健康づくりの推進.....	65
4) 継続的な医療体制づくりの推進.....	71
5) 火災・救急体制の整備.....	77
6) 高齢者福祉・介護保険の推進.....	83
7) 障がい者福祉の推進.....	91
8) セーフティネットの確保と地域福祉の推進.....	97
9) 生涯学習の推進.....	103
10) 人権の尊重と男女共同参画の推進.....	109
11) スポーツの振興.....	115
12) 文化の振興.....	121
【政策】 3) まちづくり.....	127
01) 持続可能な市域へのデザイン.....	127
2) 市民協働の推進.....	137
3) 防災・減災対策の推進.....	143
4) 交通安全・防犯対策の推進.....	149
5) 道路・橋梁整備と維持管理.....	155
6) 水道水の安定供給.....	159
7) 汚水処理の推進.....	165

8) 自然環境・生活環境の保全	171
9) 地域情報化と情報発信力の向上.....	179
【政策】 4) 行財政	185
1) 持続的な行政経営への取り組み推進.....	185

1. 西予市まちづくり報告書の基本的な考え方

(1) 西予市まちづくり報告書の意義

西予市では、平成 28 年 3 月に西予市総合計画策定条例に基づき「**変革、それこそ夢と希望を叶える唯一のすべである**」をテーマに「第 2 次西予市総合計画（平成 28 年度～令和 6 年度）」を策定しました。

総合計画は、全ての計画の基本となる、まちづくりの最上位計画であると共に、西予市の目指すまちづくりを示した「まちづくりの設計図」であり、その設計図に基づき、税金などの財源を活用して事業を展開しています。その「まちづくりの設計図」どおりに順調に進んでいるか、遅れ気味の施策はないか、施策別の財源の使われ方や事務事業の状況について、市民のみなさんにわかりやすく示していくことは、市の重要な役割と考えます。

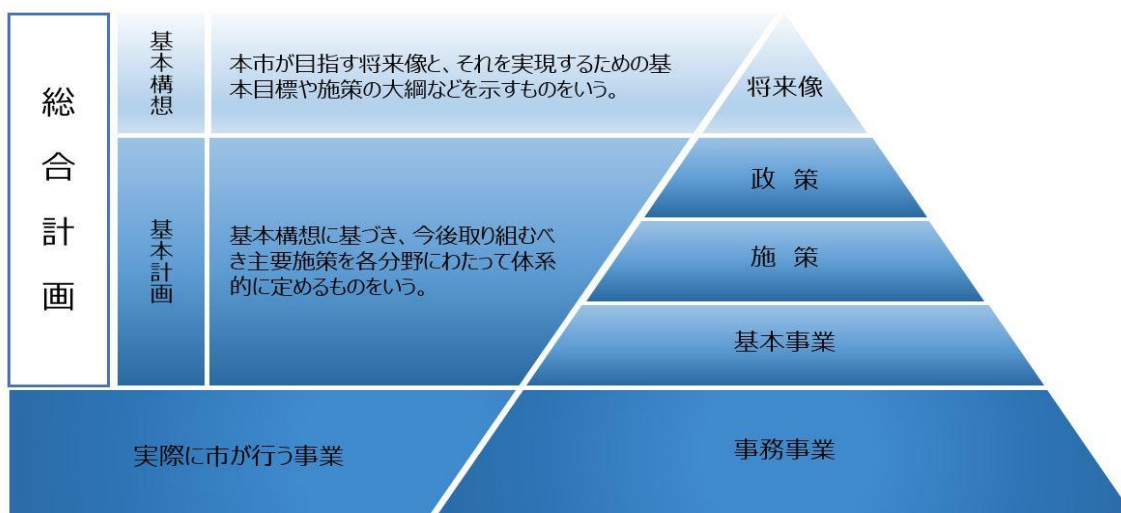
「設計図どおりにまちづくりが進んでいるか」

「限られた財源が有効に使われているか、成果が出ているか」

「自治体を取り巻く環境変化に対応していくために、どの事務事業を見直す必要があるか」

また、総合計画の進捗状況を評価し、「まちづくり設計図」の見直しの必要性や事務事業の新規展開、スクラップ・アンド・ビルドをおこなうための資料や行政の意思決定の判断材料としても活用します。

(2) 総合計画の構成



①まちづくりを施策体系の中で進めていく総合計画

第 2 次西予市総合計画では、令和 7 年 3 月末の人口 35,000 人、市内総生産 800 億円という目標値を掲げ、実現するために 4 つの基本目標（政策）と 27 の施策で構成する設計図として、新しいまちづくりを進めていくこととしています。

②まちづくりのめざすべき姿を市民にわかりやすい『モノサシ（成果指標）』で示す総合計画

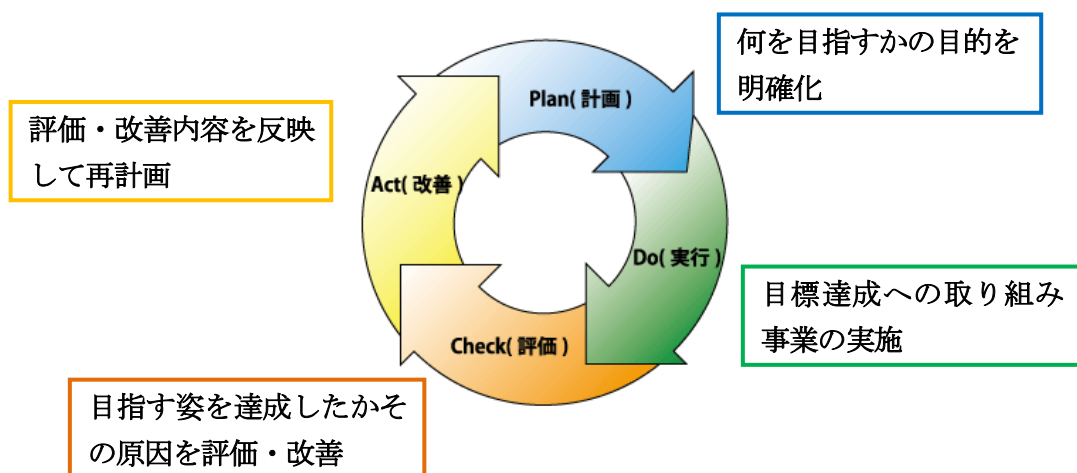
総合計画の進行管理（まちづくりの進展の確認）をおこなうために、施策ごとに「何をめざすのか」というモノサシ＝成果指標を設定し、『まちの設計図』として進行管理できるよ

うにしました。

西予市では、27の施策とその手段である107の基本事業に253の成果指標を設定し、まちづくりの進展を評価しています。

(3) 総合計画の進行管理方法

総合計画のめざすまちづくりを施策体系でとらえ、「市民起点」「成果重視」の視点に立って、『Plan(企画)⇒Do(実施)⇒Check(評価)⇒Action(見直し)』というサイクルの中で進行管理等をおこなう「行政評価」の仕組みを適用するため、行政経営システムによる進行管理を行っております。



行政経営システムは、総合計画の体系に基づいて、施策（基本目標）・基本事業・事務事業の3階層による評価で構成され、それぞれ成果指標を設定し、管理しております。

施策・基本事業の成果に影響を及ぼす手段である事務事業については、事務事業評価表で事業コストや活動指標、成果指標による評価を行い、施策・基本事業の目的達成やコストダウン等に向けた次年度の方向性を検討する資料として活用します。その検討結果は施策・基本事業評価の次年度方向性に反映されます。この「西予市まちづくり報告書」では施策単位ごとに評価結果をまとめて報告します。

2 施策体系

【基本計画】

基本計画の政策体系に基づく事業

しごとづくり

1 - 商工業の振興

- 空き店舗・空き地活用の推進
- 事業所の経営支援
- 企業誘致と創業支援

4 - 水産業の振興

- 水産物流通円滑化の推進
- 水産業の担い手育成
- 漁港の整備と維持管理

2 - 農業の振興

- 持続的な農業経営への基盤づくり
- 地産・地消の推進
- 経営安定化への支援
- 畜産・酪農の推進
- 特産品・産地化の推進

5 - 観光の振興

- 観光施設の活用と適正な管理
- 観光推進組織の強化
- イベントによる観光の促進
- ジオパークの普及推進

3 - 森林保全と林業の振興

- 林業事業者の育成支援
- 林業環境の基盤整備
- 森林除間伐の推進
- 市産材の活用促進

ひとづくり

1 - 子育て支援の推進

- 幼保機能の充実／保育サービスの充実
- 全ての子どもが健やかに育つ支援
- 子育て家庭への経済援助
- 家族形成の支援

2 - 学校教育の充実

- 確かな学力の育成
- 健やかな体の育成
- 豊かな心を育む
- 教育環境の整備
- 地域の特色を活かした学習の推進
- 地域と共にある学校づくり
- 安全な通学環境整備と放課後活動の充実

3 - 健康づくりの推進

- 早期発見・早期治療の促進
- 生活習慣の改善による疾病予防
- 心の健康づくり
- 母子の健やかな成長支援

4 - 継続的な医療体制づくりの推進

- 地域医療の継続的運営への取組み
- 救急医療の確保
- 国民健康保険財政の健全運営

5 - 火災・救急体制の整備

- 常備消防・救急体制の確保
- 常備消防施設整備の整備
- 警防・予防体制の充実
- 消防団活動の推進

6 - 高齢者福祉・介護保険の推進

- 社会参加促進と連携による見守りの推進
- 介護予防の推進
- 地域包括ケアシステムの推進
- 住み慣れた地域で暮らせる介護環境づくり
- 介護保険の適正利用

7 - 障がい者福祉の推進

- 自立支援・地域生活支援サービスの利用促進
- 障がい者への経済援助
- 障がいに対する理解の推進
- 社会参加の促進

ひとづくり

8 - セーフティネットの確保と地域福祉の推進

自立支援と適正な生活保護

生活困窮者対策の推進

インフォーマルサービスの推進

窓口業務のワンストップ化

11 - スポーツの振興

スポーツ推進の基盤整備

スポーツ機会の充実

競技スポーツの支援

スポーツ施設の管理と利用促進

9 - 生涯学習の推進

生涯学習施設の管理

生涯学習機会の充実

地域・学校との連携

12 - 文化の振興

文化財の保護

文化施設の適正化と維持管理

特色のある文化施策の取組み

10 - 人権の尊重と男女共同参画の推進

人権教育の推進

人権の擁護

男女共同参画の推進

まちづくり

1 - 持続的な市域へのデザイン

- 市街地整備及びコンパクトシティの推進
- 地域計画の策定によるまちづくり
- 遊休資産の有効活用
- 公園の維持管理
- 国際化・地域間交流の推進
- 市内高等学校の魅力化
- 大学連携の推進

2 - 市民協働の推進

- コミュニティ施設の管理・再編
- 支所・公民館機能の再編
- 地域主導の地域づくり
- 市民活動の活性化

3 - 防災・減災対策の推進

- 地域防災力の強化
- 防災情報システムの整備
- 空き家の安全管理

4 - 交通安全・防犯対策の推進

- 交通安全対策の推進
- 防犯対策の推進
- 被害に合わない・被害を軽減する取組みの推進

5 - 道路・橋梁整備と維持管理

- 道路の整備と維持管理
- 橋梁の整備と維持管理

6 - 水道水の安定供給

- 水道施設の整備・更新
- 安定した上水道経営の推進
- 水質の保全

7 - 汚水処理の推進

- 汚水処理施設・管渠の維持管理
- 安定した下水道経営の推進
- 汚水処理施設への接続促進

8 - 自然環境・生活環境の保全

- 適正な廃棄物処理
- 減量化・資源化の推進
- 生活環境の改善
- 自然への負荷低減
- 生物多様性の保全・推進

9 - 地域情報化と情報発信力の向上

- ICT利活用の推進
- 情報提供及び発信の強化
- 庁内システムの整備と管理

行財政

1 - 持続的な行政経営への取組み推進

財政運営の健全化

信頼される職員・組織・人事管理

成果志向・効率的な仕事の推進

移住・定住・安住への取組み推進

公共施設マネジメントの推進

情報公開と保護

適切な事務の執行

3 令和3年度の評価概要

第2次西予市総合計画の施策に設定された46の成果指標について、令和3年度の成果指標動向は、以下とおりとなっています。

評価種別		対基準値 (R1)		対前年度 (R2)	
☀	順調・良好な指標	11	23.9%	13	28.3%
☁	現状維持・遅延傾向の指標	8	17.4%	10	21.7%
☔	順調・良好でない指標	9	19.6%	4	8.7%
—	比較不可の指標	18	39.1%	19	41.3%
合計		46	100%	46	100%

【①基準値 (R1) と比較した政策別の成果指標の動向】

政策	評価種別				施策の成果指標
	☀	☁	☔	—	
産業	2	0	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ☀: 順調・良好な指標 ☁: 現状維持・遅延傾向の指標 ☔: 順調・良好でない指標 —: 比較不可の指標 ☀: 第2次産業市民総生産額 ☀: 第3次産業市民総生産額 — 農業市内総生産額 — 農業所得 — 林業市内総生産額 ☔ 林業経営体数 — 水産業市内総生産額 — 水産業経営体数 ☔ 観光入込客数
民生	5	6	6	5	<ul style="list-style-type: none"> ☁: この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児保護者の割合 ☁: 子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児保護者の割合 ☔: 子ども・子育て計画で、予定どおりに進行している項目割合 ☁: 学校生活に満足している児童割合 (小学生) ☔: 学校生活に満足している生徒割合 (中学生) ☀: 平均自立期間 (男性) ☔: 平均自立期間 (女性) — 標準化死亡比 (SMR) 男性 ※5年毎 — 標準化死亡比 (SMR) 女性 ※5年毎 — 市内、近隣市町に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合 ☀: 国民健康保険の法定外繰入金額 ☀: 年間火災発件数 ☁: 自立高齢者割合 ☔: 障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がいの者の割合 (分母から重度障がいの者を除く) ☁: 在宅で生活している障がいの者の割合 — 法定受託事業のため「なし」 — 生涯学習活動を行っている市民の割合 ☔: 最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の相談件数 ☁: 女性の就業割合 ☀: 西予市が維持管理するスポーツ施設の利用者数 ☔: 文化施設・文化事業の入場者・参加者数 (文化会館・資料館・美術館・公民館) ☀: 毀損・消滅した有形・無形文化財数
生活	3	1	1	7	<ul style="list-style-type: none"> ☁: 都市マスタープラン進捗率 — 自助共助の意識が維持若しくは、向上していると感じる市民割合 — 市民レベルでの防災・減災体制ができていると思う市民の割合 ☀: 交通事故発件数 — 幹線道路に満足している市民の割合 — 生活道路に満足している市民の割合 — 水道水が常に安心・安全に使えらると思う市民の割合 ☀: 汚水処理人口普及率 ☔: 最終処分量 ☀: 生活環境・公害に関する苦情・トラブル件数 — 自然環境に関する満足度 — 市内の情報環境が整っていると思う市民割合
行財政	1	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> — 標準財政規模に占める財政調整基金残高の割合 ☁: 効率的・計画的なまちづくりが進められていると思う職員の割合 ☀: 総合計画(施策・基本事業)の成果指標向上割合(対基準値)

【②前年度 (R2) と比較した政策別の成果指標の動向】

政策	評価種別				施策の成果指標
	☀	☁	☔	—	
産業	2	2	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ☀: 順調・良好な指標 ☁: 現状維持・遅延傾向の指標 ☔: 順調・良好でない指標 —: 比較不可の指標 ☀: 第2次産業市民総生産額 ☀: 第3次産業市民総生産額 — 農業市内総生産額 — 農業所得 — 林業市内総生産額 ☁: 林業経営体数 — 水産業市内総生産額 — 水産業経営体数 ☁: 観光入込客数
生活	6	7	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ☁: この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児保護者の割合 ☁: 子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児保護者の割合 ☔: 子ども・子育て計画で、予定どおりに進行している項目割合 ☁: 学校生活に満足している児童割合 (小学生) ☔: 学校生活に満足している生徒割合 (中学生) ☀: 平均自立期間 (男性) ☀: 平均自立期間 (女性) — 標準化死亡比 (SMR) 男性 ※5年毎 — 標準化死亡比 (SMR) 女性 ※5年毎 — 市内、近隣市町に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合 ☀: 国民健康保険の法定外繰入金額 ☀: 年間火災発生件数 ☁: 自立高齢者割合 ☁: 障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合 (分母から重度障がい者を除く) ☁: 在宅で生活している障がい者の割合 — 法定受託事業のため「なし」 — 生涯学習活動を行っている市民の割合 ☔: 最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の相談件数 ☁: 女性の就業割合 ☀: 西予市が維持管理するスポーツ施設の利用者数 ☔: 文化施設・文化事業の入場者・参加者数 (文化会館、資料館・美術館、公民館) ☀: 毀損・消滅した有形・無形文化財数
まち	4	1	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ☁: 都市マスタープラン進捗率 — 自助共助の意識が維持若しくは、向上していると感じる市民割合 — 市民レベルでの防災・減災体制ができていると思う市民の割合 ☀: 交通事故発生件数 — 幹線道路に満足している市民の割合 — 生活道路に満足している市民の割合 — 水道水が常に安心・安全に使えと思う市民の割合 ☀: 汚水処理人口普及率 ☀: 最終処分量 ☀: 生活環境・公害に関する苦情・トラブル件数 — 自然環境に関する満足度 — 市内の情報環境が整っていると思う市民割合
行政	1	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> — 標準財政規模に占める財政調整基金残高の割合 — 効率的・計画的なまちづくりが進められていると思う職員割合 ☀: 総合計画(施策・基本事業)の成果指標向上割合(対基準値)

※比較不可の主な理由

- ・ 指標の増減が成果と言えない指標のため
例) 標準財政規模に占める財政調整基金残高の割合
- ・ 実績値の取得が数年後となる指標のため
例) 農業市内総生産額

4 施策の進捗状況

今回の報告は、第2次総合計画で掲げた以下に記載している政策単位で、その政策を実現するための手段である施策・基本事業の「成果指標値の推移」、「成果指標に対する評価」、「特記事項」等を各施策の主管課・関係課が記載、評価しています。

(1) 報告書の見方

① 政策 01 しごとづくり
 ② 施策 01 商工業の振興

■ 施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民、市内事業者、就職希望者	商工業の発展により地域が活... 就業機会も拡充されます。

③ 指標① 第2次産業市民総生産額 (百万円)

R02実績	20,561	(百万円)
R03計画		
R04計画		
R05計画		
R06計画		
目標値 (R06)	16,700	

④ 対基準値 (向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)

⑤ 指標値の注釈

特記事項
 実績値向上の要因は、製造業及び建設業の増加によるものと考えられる。

①総合計画の各分野における施策や基本事業の名称を記載しています。

②施策・基本事業に係る成果指標を記載しています。

「成果指標」とは、施策や基本事業の達成度を示すモノサシです。

③令和2年度から令和3年度の実績値と、総合計画にも記している当指標の目標値を記載しています。

④対基準値・・・令和3年度の実績値を基準値（令和元年度）と比較し、「☀️向上」「👉横ばい」「☔️低下」「—比較不可」の4種で評価しています。

対前年度・・・令和3年度の実績値を前年度（令和2年度）と比較し、「☀️向上」「👉横ばい」「☔️低下」「—比較不可」の4種で評価しています。

目標達成度・・・目標値と基準値（令和元年度）の差を、令和3年度にどれだけ改善することができたか、「達成」「高」「中」「低」の4種で評価しています。

⑤担当課が特記事項を記載しています。

5 施策・基本事業の評価結果

【政策】 1) しごとづくり

1) 商工業の振興

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
施策指標	第2次産業市民総生産額（百万円）	16,621	20,561	23,767	☀	☀
施策指標	第3次産業市民総生産額（百万円）	78,267	77,417	79,205	☀	☀
空き店舗・空き地活用の推進	空き店舗・空き地活用件数（計画期間累計）（件）	5	3	5	☹	☀
事業所の経営支援	黒字化している事業所割合（法人市民税の法人税割を納めている事業所割合）（%）	42	43	44	☹	☹
事業所の経営支援	後継者不足による廃業件数（計画期間累計） ※自主的廃業は除く（継続したいが、できないもののみ）（件）	10	10	3	☀	☀
企業誘致と創業支援	企業誘致及び創業件数（計画期間累計）（件）	2	0	0	☂	☹
企業誘致と創業支援	企業誘致支援及び創業支援により生み出された雇用者数（計画期間累計）（人）	81	54	0	☂	☂

政策 01 しごとづくり

施策 01 商工業の振興

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民、市内事業者、就職希望者

意図(どのような状態にしたいのか)
商工業の発展により地域が活性化され、就業機会も拡充されます。

指標	第2次産業市民総生産額(百万円)		経済振興課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	16,621		対前年度
	R02実績	20,561		☀ (向上)
	R03実績	23,767		☀ (向上)
	R04実績			☀ (向上)
	R05実績			☀ (向上)
	R06実績			☀ (向上)
	R06目標値	16,700		🏰 (達成)

指標値の注釈

特記事項
実績値向上の要因は、建設業の生産額増加によるものと考えられる。



指標	第3次産業市民総生産額(百万円)		経済振興課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	78,267		対前年度
	R02実績	77,417		☀ (向上)
	R03実績	79,205		☀ (向上)
	R04実績			☀ (向上)
	R05実績			☀ (向上)
	R06実績			☀ (向上)
	R06目標値	78,300		🏰 (達成)

指標値の注釈

特記事項
実績値向上の要因は、電気・ガス・水道・廃棄物処理業、運輸・郵便業、金融・保険業、保健衛生・社会事業の生産額増加によるものと考えられる。

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 空き店舗・空き地活用の推進

指標	空き店舗・空き地活用件数（計画期間累計）（件）		経済振興課	対基準値  (横ばい)	指標値の注釈
	計画期間累計ではなく、単年度集計とする。				
指標の動き	後期基準値	5		対前年度  (向上)	特記事項
	R02実績	3		新規出店者店舗改修補助金制度の認知度向上等に伴い、対前年度比で実績値が向上。	
	R03実績	5			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	5			

基本事業02 事業所の経営支援

指標	黒字化している事業所割合（法人市民税の法人税割を納めている事業所割合）（％）		経済振興課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	42		対前年度
	R02実績	43		(横ばい)
	R03実績	44		目標達成度
	R04実績			■
	R05実績			(中)
	R06実績			
	R06目標値	45		

指標値の注釈

特記事項
コロナ禍ではあるが、対前年度比は横ばいに推移しており、後期目標値に近づきつつある。

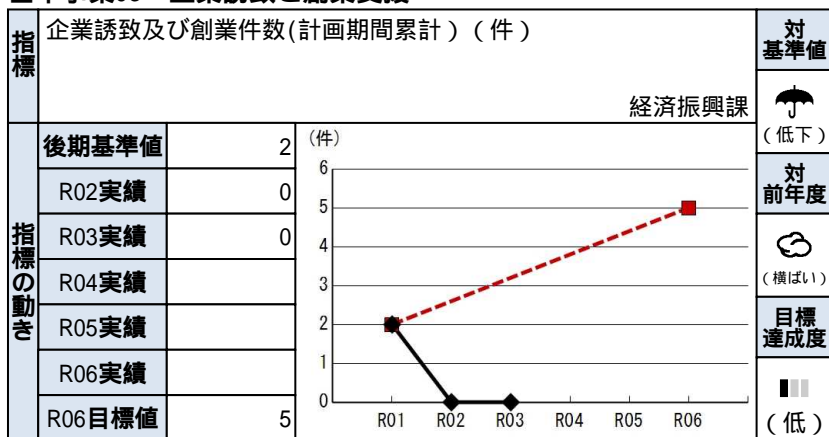
基本事業02 事業所の経営支援

指標	後継者不足による廃業件数(計画期間累計) 自主的廃業は除く(継続したいが、できないもののみ) (件)		経済振興課	対基準値
				(向上)
指標の動き	後期基準値	10		対前年度
	R02実績	10		(向上)
	R03実績	3		目標達成度
	R04実績			■
	R05実績			(達成)
	R06実績			
	R06目標値	10		

指標値の注釈
計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項
事業者の高齢化は進行しているが、商工会の事業承継支援等により廃業件数は抑制されている。

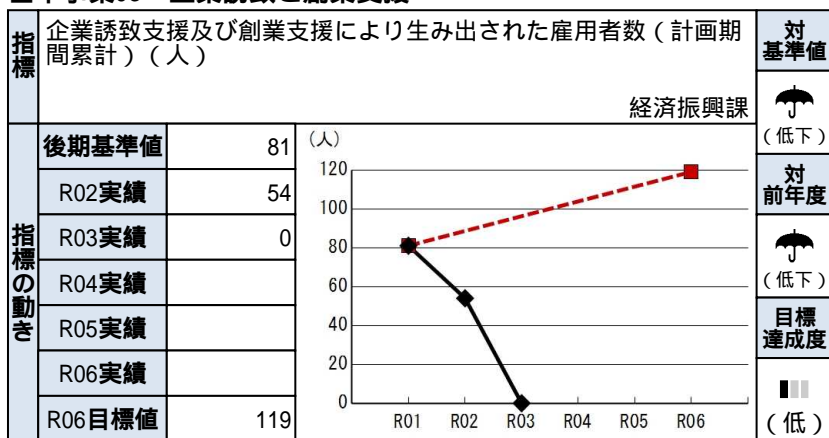
基本事業03 企業誘致と創業支援



指標値の注釈
計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項
新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、企業誘致が進みにくい状況が続いているが、引き続き、新規企業の誘致に努めていく。

基本事業03 企業誘致と創業支援



指標値の注釈
計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項
新型コロナウイルス感染症等の影響により、新規雇用推進が進みにくくなっているため、雇用奨励の条件である「純増」は達成できていない。

【政策】 1) しごとづくり

2) 農業の振興

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	農業市内総生産額（百万円）	5,535	-	-	—	—
-施策指標-	農業所得（百万円）	1,319	-	-	—	—
持続的な農業経営への基盤づくり	農地利用集積面積（計画期間累計）(ha)	1,286	1,497	1,915	☀	☀
持続的な農業経営への基盤づくり	農地所有適格法人数（法人）	23	19	19	☂	☂
持続的な農業経営への基盤づくり	新規就農者数（計画期間累計） （人）	32	36	38	☀	☀
地産・地消の推進	農産物直売所（どんぶり館）の販売額（百万円）	369	381	374	☂	☂
地産・地消の推進	西予市給食センター産食材使用率（%）	15.5	18.3	16.8	☀	☂
経営安定化への支援	認定農業者の所得平均（万円）	304	439	372	☀	☂
経営安定化への支援	野菜安定対策事業受給者延べ人数（人）	305	78	284	—	—
畜産・酪農の推進	家畜頭羽数（千頭羽）	469	485	431	☂	☂
畜産・酪農の推進	畜産・酪農経営体数（件）	145	144	135	☂	☂
特産品・産地化の推進	ジオの至宝（特産品）の認定数 （件）	9	11	11	☀	☂

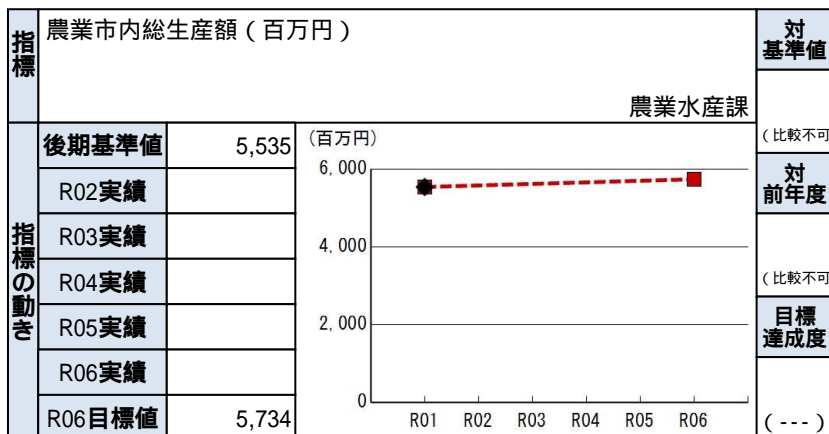
政策 01 しごとづくり

施策 02 農業の振興

施策の目的と成果状況

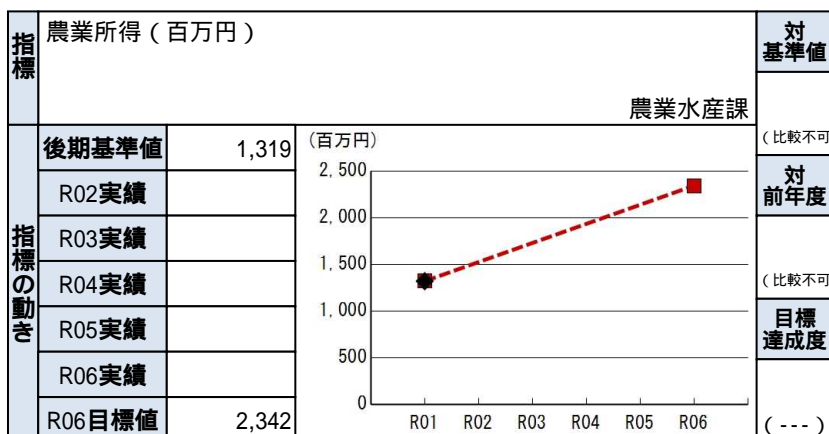
対象(誰、何を対象としているか)
市内農業者

意図(どのような状態にしたいのか)
持続可能な生産基盤の強化により、農業振興が図られています。



指標値の注釈
実績値の取得は2年後 (R02実績 令和4年度に取得)

特記事項

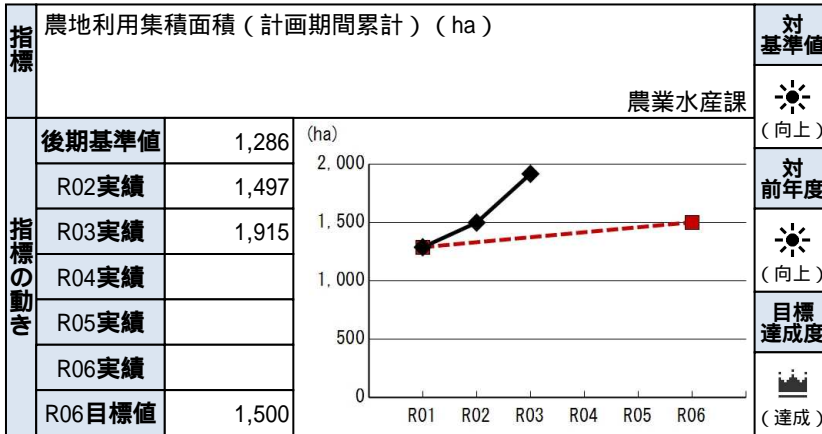


指標値の注釈
実績値の取得は2年後 (R02実績 令和4年度に取得)

特記事項

基本事業の成果状況と評価

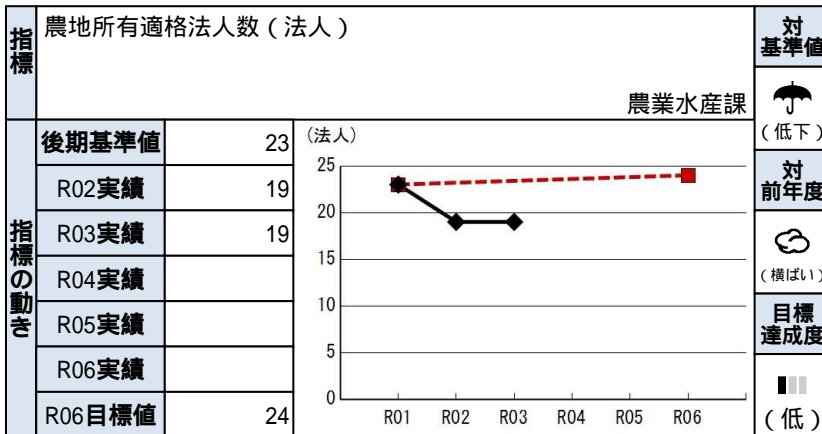
基本事業01 持続的な農業経営への基盤づくり



指標値の注釈

特記事項
農地の利用権設定が進み、目標値が達成された。

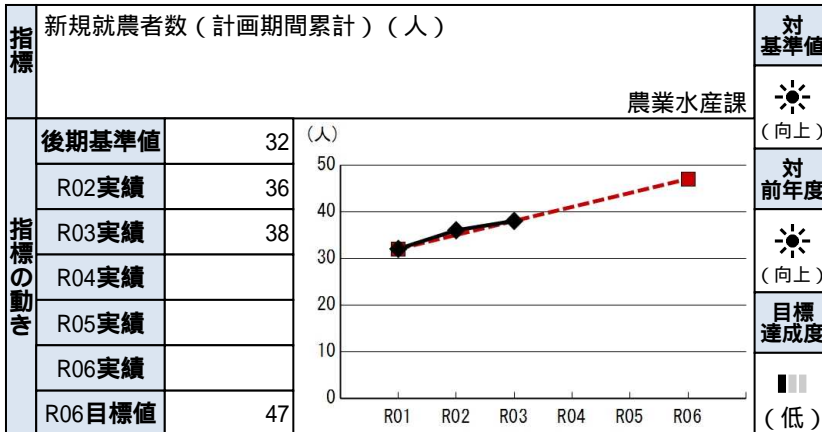
基本事業01 持続的な農業経営への基盤づくり



指標値の注釈

特記事項
農地を取得するより、利用権設定等で貸借による農地の借り入れが多く、新たに農地取得を希望する法人はいなかった。

基本事業01 持続的な農業経営への基盤づくり



指標値の注釈

特記事項
親元就農が1人、1ターン就農が1人、計2人の新規就農が図られ、累計目標達成に向けて向上が図られた。

基本事業02 地産・地消の推進

指標	農産物直売所（どんぶり館）の販売額（百万円）		農業水産課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	369		対前年度
	R02実績	381		(横ばい)
	R03実績	374		目標達成度
	R04実績			(中)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	380		

指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症拡大の影響がある中、例年並みの販売額があった。

基本事業02 地産・地消の推進

指標	西予市給食センター産食材使用率（％）		農業水産課	対基準値
				(向上)
指標の動き	後期基準値	15.5		対前年度
	R02実績	18.3		(横ばい)
	R03実績	16.8		目標達成度
	R04実績			(達成)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	16.2		

指標値の注釈

特記事項
市産食材推進により、使用率の向上が図られた。

基本事業03 経営安定化への支援

指標	認定農業者の所得平均 (万円)		農業水産課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	304		対前年度
	R02実績	439		☂ (低下)
	R03実績	372		■ 目標達成度
	R04実績			■■■ (高)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	380		

指標値の注釈

特記事項
令和3年度に新規及び更新の認定農業者の所得を調査。前年度より下がったが基準値は超えており、また目標値に対し97.9%と目標値に近い数字となっている。

基本事業03 経営安定化への支援

指標	野菜安定対策事業受給者延べ人数 (人)		農業水産課	対基準値
				(比較不可)
指標の動き	後期基準値	305		対前年度
	R02実績	78		(比較不可)
	R03実績	284		■ 目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	300		

指標値の注釈
指標の増減が成果と言えないため、比較不可。

特記事項
令和3年度は、対象野菜の価格の変動が大きかったため、交付対象者が増加している。

基本事業04 畜産・酪農の推進

指標	家畜頭羽数（千頭羽）		農業水産課	対基準値
				☂ (低下)
指標の動き	後期基準値	469		対前年度
	R02実績	485		☂ (低下)
	R03実績	431		☂ (低下)
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	469		目標達成度

指標値の注釈

特記事項
プロイラー、採卵鶏の基準日における飼養羽数の減。乳用種、肉用種、養豚においては横ばいである。

基本事業04 畜産・酪農の推進

指標	畜産・酪農経営体数（件）		農業水産課	対基準値
				☂ (低下)
指標の動き	後期基準値	145		対前年度
	R02実績	144		☂ (低下)
	R03実績	135		☂ (低下)
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	145		目標達成度

指標値の注釈

特記事項
農家の高齢化、飼料の高騰等による経営困難での農家の減少。また、酪農と繁殖の兼業からの繁殖一本への経営変更による減少。

基本事業05 特産品・産地化の推進

指標	ジオの至宝（特産品）の認定数（件）		経済振興課	対基準値 ☀ (向上)	指標値の注釈
	後期基準値	9		対前年度 ☁ (横ばい)	特記事項 令和3年度は至宝掲載希望業者も無く、新たな登録事業者は増加しなかった。四国西予ジオパーク推進協議会の物産部会で新たな事業者を探し、磨き上げていくよう計画している。
指標の動き	R02実績	11		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	
	R03実績	11			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	15			

【政策】 1) しごとづくり

3) 森林保全と林業の振興

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
－施策指標－	林業市内総生産額（百万円）	718	-	-	—	—
－施策指標－	林業経営体数（経営体）	453	122	122	☂	☂
林業事業体の育成支援	林業事業体数（事業体）	7	6	6	☂	☂
林業事業体の育成支援	林業事業体雇用者数（人）	91	103	93	☂	☂
林業事業体の育成支援	自伐林家数（世帯）	22	26	33	☀	☀
林業環境の基盤整備	林道・作業道の整備量（k m）	853	856	857	☂	☂
林業環境の基盤整備	林道の施設維持管理上の不具合 件数（件）	15	12	12	☀	☂
林業環境の基盤整備	森林システムで管理している面 積（h a）	38,453	38,435	38,435	—	—
森林除間伐の推進	林地残材等流通量（トン）	1,000	750	666	☂	☂
森林除間伐の推進	森林整備年間面積（計画期間累 計）（h a）	330	416	428	☀	☀
市産材の活用促進	市産材流通量（m ³ ）	44,062	41,551	46,165	☀	☀

政策 01 しごとづくり

施策 03 森林保全と林業の振興

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民、市内林業者

意図(どのような状態にしたいのか)
健全な森林を継続的に育成し、水源のかん養や災害の防止など公益的な働きを発揮しています。

指標	林業市内総生産額(百万円)		林業課	対基準値
				(比較不可)
指標の動き	後期基準値	718		対前年度
	R02実績			(比較不可)
	R03実績			目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	600		

指標値の注釈
実績値の取得は3年後(R02 令和5年度に取得)

特記事項
当指標の算定根拠である愛媛県市町民所得統計は、毎年度数値の見直しが行われる。令和3年度の調査では、令和元年度と平成30年度を比較すると、39百万円増加している。また、素材生産量の実績値も5,936m3増加し、所得も増加していると考えられる。

指標	林業経営体数(経営体)		林業課	対基準値
				(低下)
指標の動き	後期基準値	453		対前年度
	R02実績	122		(横ばい)
	R03実績	122		目標達成度
	R04実績			(低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	460		

指標値の注釈
実績値の取得は5年毎(令和2年度、令和7年度)

特記事項
農林業センサスにおいて、林業経営体数のうち、法人化していない経営体数が減少したため、331経営体減少し73.1ポイント低下した。

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 林業事業体の育成支援

指標	林業事業体数（事業体）		林業課	対基準値	指標値の注釈 実績値の取得は5年毎（令和2年度、令和7年度）
	後期基準値	7		（低下）	
指標の動き	R02実績	6		対前年度	特記事項 評価基準値の農林業センサス2015と実績値の農林業センサス2020の5年の間に1事業体が減となったため、低と評価する。
	R03実績	6		（横ばい）	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			（低）	
	R06実績				
	R06目標値	8			




基本事業01 林業事業体の育成支援

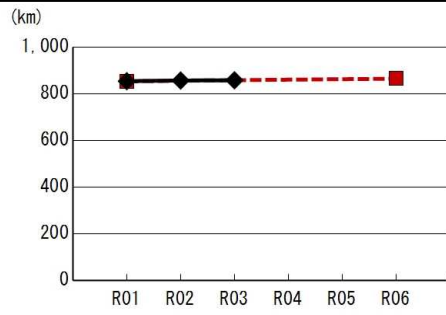
指標	林業事業体雇用者数（人）		林業課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	91		（横ばい）	
指標の動き	R02実績	103		対前年度	特記事項 新規就労者に比べ退職者が増加したため、令和2年度より10人減少し、9.7ポイント低下した。
	R03実績	93		（低下）	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			（低）	
	R06実績				
	R06目標値	105			

基本事業01 林業事業体の育成支援

指標	自伐林家数（世帯）		林業課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	22		（向上）	
指標の動き	R02実績	26		対前年度	特記事項 森林所有者が森林を守る機運がさらに高まり、令和2年度より7人増加し、26.9ポイント向上した。
	R03実績	33		（向上）	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			（達成）	
	R06実績				
	R06目標値	25			

基本事業02 林業環境の基盤整備




指標	林道・作業道の整備量 (km)		林業課  (横ばい)
	対基準値		
指標の動き	後期基準値	853 (km)	対前年度  (横ばい) 目標達成度  (低)
	R02実績	856	
	R03実績	857	
	R04実績		
	R05実績		
	R06実績		
	R06目標値	864	

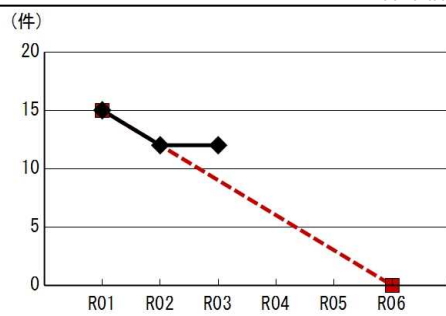


指標値の注釈

特記事項
平成30年災害からの復旧・復興が最優先である為、林道網整備事業については0.1ポイントの微増であった。

基本事業02 林業環境の基盤整備

指標	林道の施設維持管理上の不具合件数 (件)		林業課  (向上)
	対基準値		
指標の動き	後期基準値	15 (件)	対前年度  (横ばい) 目標達成度  (低)
	R02実績	12	
	R03実績	12	
	R04実績		
	R05実績		
	R06実績		
	R06目標値	0	

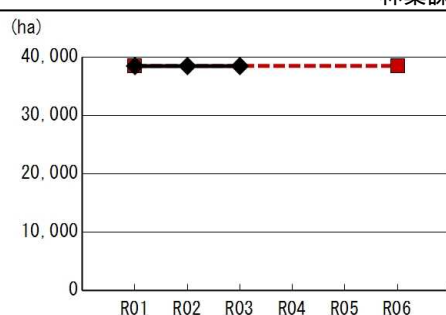


指標値の注釈

特記事項
事務事業の適切な推進により令和2年度と同様の実績値となった。

基本事業02 林業環境の基盤整備

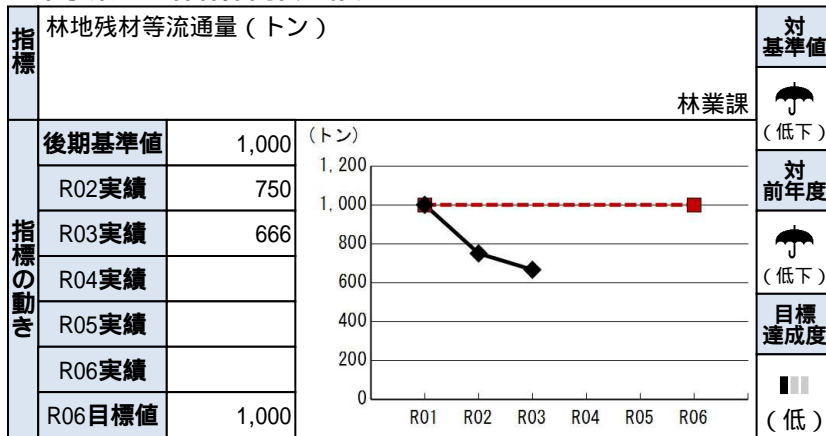
指標	森林システムで管理している面積 (ha)		林業課 (比較不可)
	対基準値		
指標の動き	後期基準値	38,453 (ha)	対前年度 (比較不可) 目標達成度 (---)
	R02実績	38,435	
	R03実績	38,435	
	R04実績		
	R05実績		
	R06実績		
	R06目標値	38,453	



指標値の注釈
指標の増減が成果と言えないため、比較不可。

特記事項

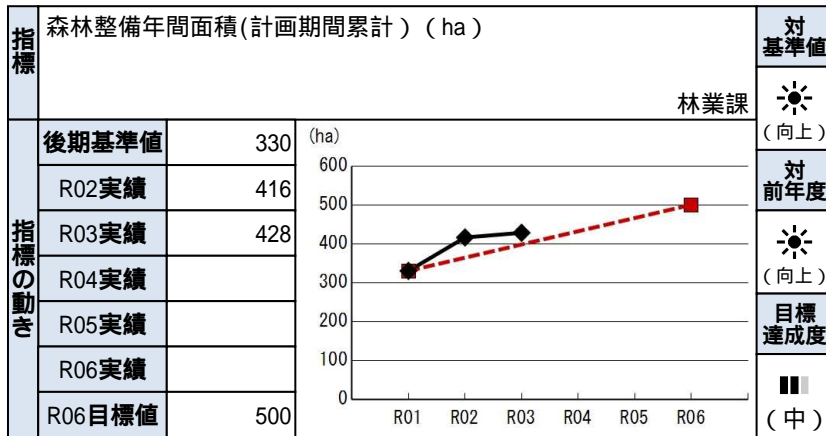
基本事業03 森林除間伐の推進



指標値の注釈

特記事項
冬期が温暖であったため、令和2年度より84トン減少し、11.2ポイント低下した。

基本事業03 森林除間伐の推進



指標値の注釈

特記事項
木材価格の高騰により、所有者の木材生産意欲が向上し、森林整備を計画的に実施でき、令和2年度より12ha増加し、2.9ポイント向上した。

基本事業04 市産材の活用促進

指標	市産材流通量 (m3)		林業課 対基準値 ☀ (向上)	指標値の注釈	
				対前年度 ☀ (向上)	特記事項 木材価格の高騰により、所有者の木材生産意欲が向上し、素材生産量が令和2年度より4,614m3増加し、11.1ポイント向上した。
指標の動き	後期基準値	44,062	(m3) 	目標達成度 ■ ■ ■ (低)	
	R02実績	41,551			
	R03実績	46,165			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	50,000			

【政策】 1) しごとづくり

4) 水産業の振興

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	水産業市内総生産額（百万円）	1,765	-	-	—	—
-施策指標-	水産業経営体数（経営体）	139	139	139	—	—
水産物流通円滑化の推進	水産業生産額（百万円）	1,765	-	-	—	—
水産物流通円滑化の推進	水産加工品等の商品数（件）	0	7	7	☀	☁
水産業の担い手育成	水産業新規就業者数（計画期間累計）（人）	0	2	0	☂	☂
漁港の整備と維持管理	漁港整備・改良された件数（計画期間累計）（件）	3	3	3	☁	☁
漁港の整備と維持管理	漁港管理の瑕疵により損害賠償の対象となった件数※維持管理がされている指標として、0をめざす（件）	0	0	0	☀	☀
漁港の整備と維持管理	漁港点検の判定区分で緊急措置段階（Ⅳ）の件数（件）	3	0	0	☀	☀

政策 01 しごとづくり

施策 04 水産業の振興

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市内漁業者	安定した漁業経営が図られています。

指標	水産業市内総生産額(百万円)		農業水産課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	1,765		(百万円)	
指標の動き	R02実績			対前年度	特記事項
	R03実績			(比較不可)	
	R04実績			(比較不可)	
	R05実績			目標達成度	
	R06実績			(---)	
	R06目標値	1,530			

指標	水産業経営体数(経営体)		農業水産課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	139		(経営体)	
指標の動き	R02実績	139		対前年度	特記事項
	R03実績	139		(比較不可)	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			(---)	
	R06実績				
	R06目標値	149			

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 水産物流通円滑化の推進

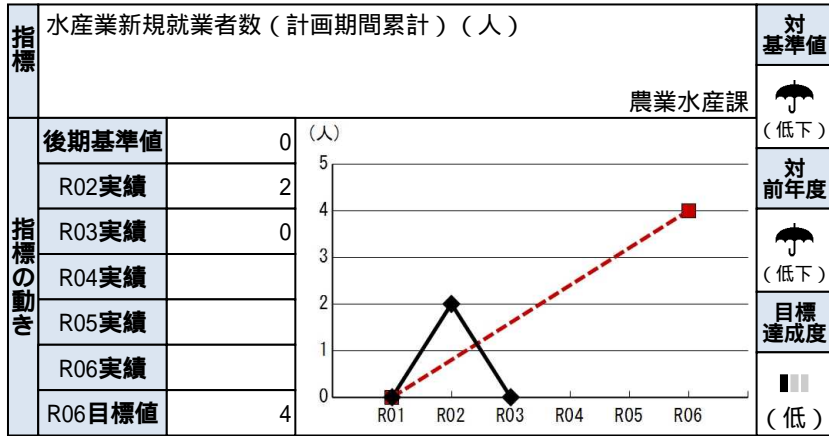
指標	水産業生産額（百万円）		農業水産課	対基準値	指標値の注釈
				(比較不可)	
指標の動き	後期基準値	1,765		対前年度	特記事項
	R02実績			(比較不可)	
	R03実績				
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	1,530		(---)	

基本事業01 水産物流通円滑化の推進

指標	水産加工品等の商品数（件）		農業水産課	対基準値	指標値の注釈
				(向上)	
指標の動き	後期基準値	0		対前年度	特記事項
	R02実績	7		(横ばい)	
	R03実績	7			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	8		(高)	

令和3年度ジオの至宝事業及び「愛」あるブランド事業における新規登録が無かった。ブランド商品は他商品との差別化が求められる事からコロナ過の中、ブランド申請に至るまでの商品開発が無かったのではと想定。

基本事業02 水産業の担い手育成



指標値の注釈
 計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項
 令和2年度から漁業新規就業者等支援事業を実施しているが、令和3年度新規申請が無かった事から低下。水産業における新規就業については漁業を行うための資格取得、高額な初期投資、自然環境に伴う漁獲量の低下など様々な問題がある事から容易ではない。

基本事業03 漁港の整備と維持管理

指標	漁港整備・改良された件数(計画期間累計)(件)		農業水産課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	3		対前年度
	R02実績	3		(横ばい)
	R03実績	3		目標達成度
	R04実績			(高)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	4		

指標値の注釈

特記事項
目標整備件数のうち、3件については完了済み。未済の1件については整備費用が大きい為、令和元年度から事業を実施しており、事業としての目標達成度は高い。

基本事業03 漁港の整備と維持管理

指標	漁港管理の瑕疵により損害賠償の対象となった件数 維持管理がされている指標として、0をめざす(件)		農業水産課	対基準値
				(向上)
指標の動き	後期基準値	0		対前年度
	R02実績	0		(向上)
	R03実績	0		目標達成度
	R04実績			(達成)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	0		

指標値の注釈

特記事項
グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業03 漁港の整備と維持管理

指標	漁港点検の判定区分で緊急措置段階()の件数(件)		農業水産課	対基準値
				(向上)
指標の動き	後期基準値	3		対前年度
	R02実績	0		(向上)
	R03実績	0		目標達成度
	R04実績			(達成)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	0		

指標値の注釈

特記事項
漁港施設における保全工事の推進にて、緊急を要する危険箇所が大幅に減少。グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度の評価は「向上」とする。

【政策】 1) しごとづくり

5) 観光の振興

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
－施策指標－	観光入込客数(人)	1,736,150	1,230,239	1,242,433	☂	☂
観光施設の活用と適正な管理	観光施設の年間来場者数 (人)	1,660,392	1,222,765	1,236,167	☂	☂
観光施設の活用と適正な管理	宿泊施設の年間利用者数 (人)	38,084	51,713	68,504	☀	☀
観光推進組織の強化	観光推進組織主体のイベント等事業数(事業)	4	0	1	☂	☂
観光推進組織の強化	観光(せいよじかん)年間アクセス数(件)	53,235	118,101	166,129	☀	☀
イベントによる観光の促進	イベント入込客数(人)	62,808	7,078	5,566	☂	☂
イベントによる観光の促進	観光フェアによるパンフレット等配布数(冊)	5,000	0	500	☂	☀
ジオパークの普及推進	ガイドが案内した案内者数 (人)	504	635	697	☂	☂
ジオパークの普及推進	ジオの至宝認定件数(件)	9	11	11	☂	☂

政策 01 しごとづくり

施策 05 観光の振興

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民、来訪者、関係団体

意図(どのような状態にしたいのか)
観光客が増加し、観光産業が活気にあふれています。

指標	観光入込客数(人)		経済振興課 	対基準値 (低下)	指標値の注釈
	後期基準値	1,736,150		対前年度 (横ばい)	特記事項 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光客数が伸び悩んだ。
指標の動き	R02実績	1,230,239	目標達成度 (低)		
	R03実績	1,242,433			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	2,100,000			

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 観光施設の活用と適正な管理

指標	観光施設の年間来場者数（人）		経済振興課	対基準値	指標値の注釈
				☔ (低下)	
指標の動き	後期基準値	1,660,392		対前年度	特記事項 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入館者数が伸び悩んだ。
	R02実績	1,222,765		☁ (横ばい)	
	R03実績	1,236,167		☁ (横ばい)	
	R04実績			☁ (横ばい)	
	R05実績			☁ (横ばい)	
	R06実績			☁ (横ばい)	
	R06目標値	2,000,000		■ (低)	

基本事業01 観光施設の活用と適正な管理

指標	宿泊施設の年間利用者数（人）		経済振興課	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	38,084		対前年度	特記事項 GoToせiyोजオツアーキャンペーン等の宿泊割引キャンペーンの実施により宿泊客が増加した。
	R02実績	51,713		☀ (向上)	
	R03実績	68,504		☀ (向上)	
	R04実績			☀ (向上)	
	R05実績			☀ (向上)	
	R06実績			☀ (向上)	
	R06目標値	40,000		🏰 (達成)	

基本事業02 観光推進組織の強化

指標	観光推進組織主体のイベント等事業数（事業）		経済振興課	対基準値
				☔ (低下)
指標の動き	後期基準値	4		対前年度
	R02実績	0		☁ (横ばい)
	R03実績	1		■ (低)
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	4		

指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベントを中止せざるを得なかった。令和2年度...乙亥大相撲を実施したものの、誘客イベントではないためノーカウント。令和3年度...乙亥大相撲を誘客（市民対象）で実施したためカウント。

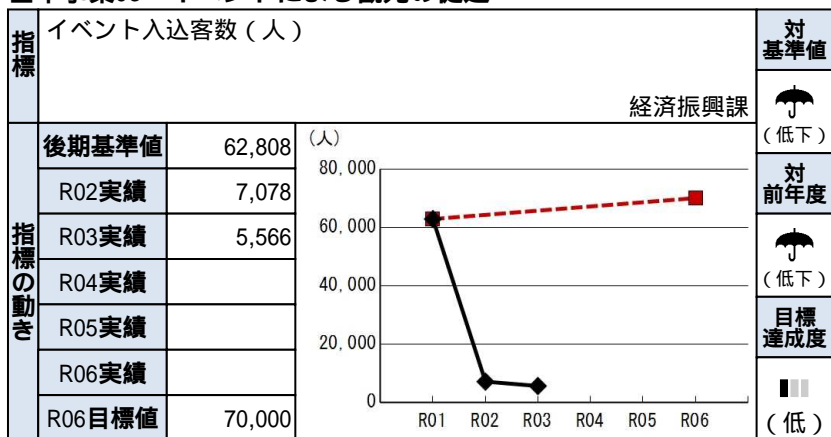
基本事業02 観光推進組織の強化

指標	観光（せいよじかん）年間アクセス数（件）		経済振興課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	53,235		対前年度
	R02実績	118,101		☀ (向上)
	R03実績	166,129		■ (中)
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	240,000		

指標値の注釈

特記事項
西予市内の観光物産情報を網羅するHPを目指しており、今後もこまめな記事更新とコンテンツの充実を図る。

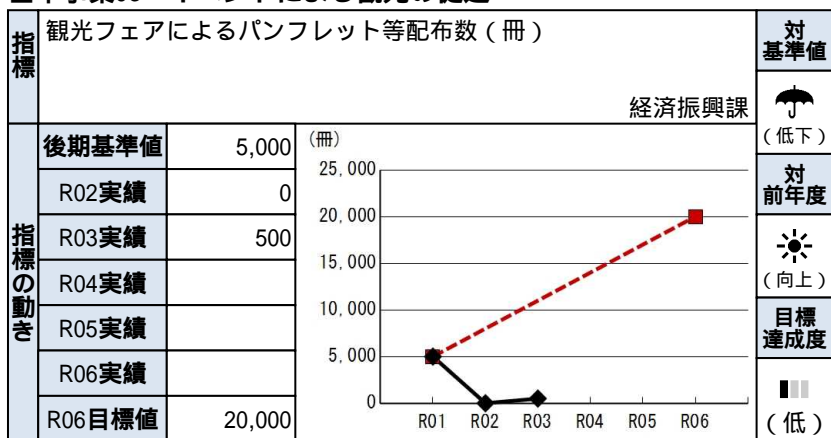
基本事業03 イベントによる観光の促進



指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベントがほとんど実施できず、入込客数が低下した。

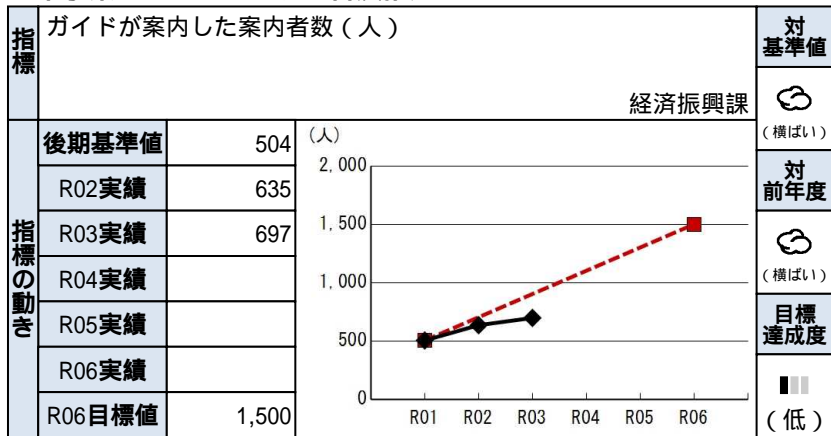
基本事業03 イベントによる観光の促進



指標値の注釈

特記事項
イオンレイクタウン(埼玉県越谷市)での愛媛県フェアでパンフレット等を配布したが、全体的に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光フェアでの観光パンフレット配布が困難であった。

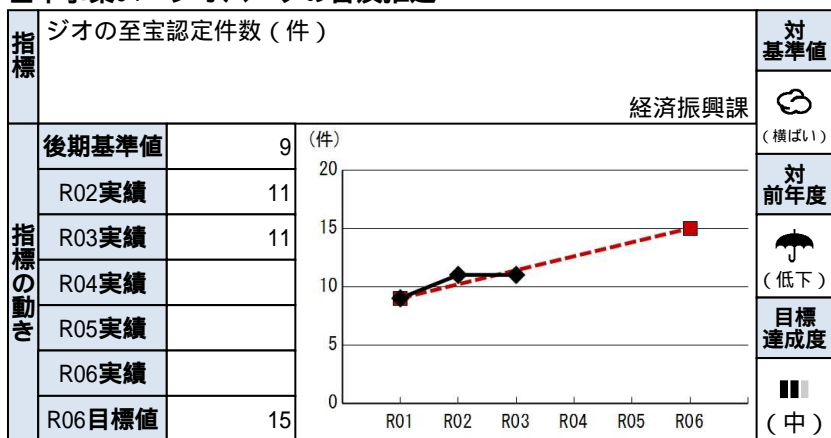
基本事業04 ジオパークの普及推進



指標値の注釈

特記事項
 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によりジオツアーは低迷した。

基本事業04 ジオパークの普及推進



指標値の注釈

特記事項
 令和3年度はジオの至宝申請は無かった。今後、四国西予ジオパーク推進協議会の物産部会において、ジオの至宝申請業者を探すとともに、一緒にブラッシュアップを図っていく事を計画している。

【政策】 2) ひとつづくり

1) 子育て支援の推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児保護者の割合 (%)	94.2	96.0	96.1	☀	☀
-施策指標-	子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児保護者の割合 (%)	72.6	76.3	74.6	☀	☀
-施策指標-	子ども・子育て計画で、予定どおりに進行している項目割合 (%)	93	92	85	☂	☂
幼保機能の充実／保育サービスの充実	待機児童数（保育所）（人）	0	0	0	☀	☀
幼保機能の充実／保育サービスの充実	保育所の満足度 (%)	56.8	83.7	83.7	☀	☀
幼保機能の充実／保育サービスの充実	子育て支援サービスを利用した延べ人数（人）	9,766	6,565	5,221	☂	☂
全ての子どもが健やかに育つ支援	社会性の発達過程を知っている保護者割合 (%)	93.3	89.2	91.7	☀	☀
全ての子どもが健やかに育つ支援	育てにくさを感じたときに対処できる保護者割合 (%)	89.9	84.4	88.0	☀	☀
全ての子どもが健やかに育つ支援	地域における子育て支援施設利用者数（人）	558	377	232	☂	☂
子育て家庭への経済援助	児童手当支給児童の割合 (%)	100	99.9	100	☀	☀
子育て家庭への経済援助	ひとり親世帯等への支援率(児童扶養手当、ひとり親医療受給率) (%)	80.0	78.6	77.8	☀	☀
家族形成の支援	出生数（計画期間累計）（人）	192	163	164	☂	☀
家族形成の支援	婚姻件数（市内届出分）（件）	69	76	72	☀	☀

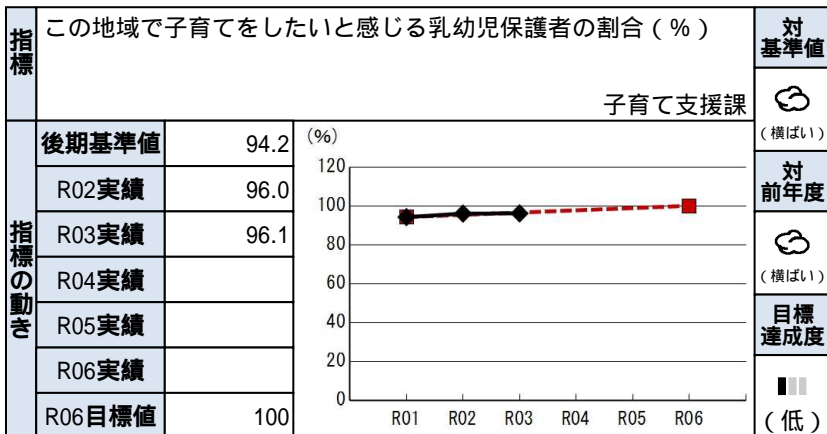
政策 02 ひとづくり

施策 01 子育て支援の推進

施策の目的と成果状況

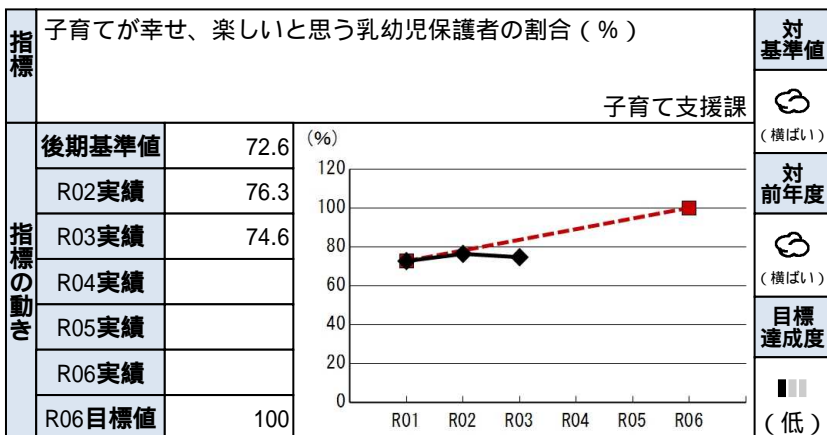
対象(誰、何を対象としているか)
保護者、子ども

意図(どのような状態にしたいのか)
子どもたちが、すくすくところもからだも健やかに成長している。



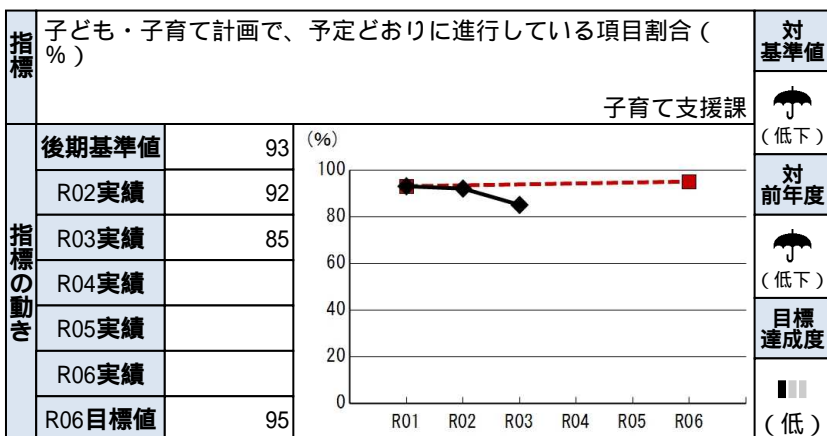
指標値の注釈

特記事項
令和2年度とほぼ横ばいであるが、目標値には達していない。両親の仕事の都合で西予市に生まれる方もあり、100%に達することは難しいが、健診等で保護者の相談に応じ、安心して育児ができる環境を整えていく。



指標値の注釈

特記事項
令和2年度から1.7ポイント低下はしたが、微減の範囲である。健診や相談にて、保護者の不安を傾聴し、安心して育児が行える環境作りを行っている。今後も継続して実施し、保護者の不安軽減に努める。



指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症の蔓延により、実施できなかった事業があったため7ポイント低下した。

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 幼保機能の充実 / 保育サービスの充実

指標	待機児童数（保育所等）（人）		子育て支援課	対基準値
				☀️ (向上)
指標の動き	後期基準値	0		対前年度
	R02実績	0		☀️ (向上)
	R03実績	0		☀️ (向上)
	R04実績			☀️ (向上)
	R05実績			☀️ (向上)
	R06実績			☀️ (向上)
	R06目標値	0		🏰 (達成)

指標値の注釈

特記事項
グラフは横ばい傾向に見取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業01 幼保機能の充実 / 保育サービスの充実

指標	保育所の満足度（％）		子育て支援課	対基準値
				☀️ (向上)
指標の動き	後期基準値	56.8		対前年度
	R02実績	83.7		☁️ (横ばい)
	R03実績	83.7		☁️ (横ばい)
	R04実績			☁️ (横ばい)
	R05実績			☁️ (横ばい)
	R06実績			☁️ (横ばい)
	R06目標値	90.0		🏰 (高)

指標値の注釈
実績値の取得は隔年（R2年度、R4年度、R6年度）

特記事項
令和2年度から、アンケート内容は変更せず、指標値の取得をオンラインアンケートとしたため実績値が向上したと考える。

基本事業01 幼保機能の充実 / 保育サービスの充実

指標	子育て支援サービスを利用した延べ人数（人）		子育て支援課	対基準値
				☔️ (低下)
指標の動き	後期基準値	9,766		対前年度
	R02実績	6,565		☔️ (低下)
	R03実績	5,221		☔️ (低下)
	R04実績			☔️ (低下)
	R05実績			☔️ (低下)
	R06実績			☔️ (低下)
	R06目標値	9,800		🏰 (低)

指標値の注釈

特記事項
国交付金を活用し、施設のオンライン環境、衛生環境は充実してきているが、新型コロナウイルス感染症による利用控えがあり、令和2年度に引き続き、利用者数が令和2年度より約1,000人減少した。

基本事業02 全ての子どもが健やかに育つ支援

指標	社会性の発達過程を知っている保護者割合 (%)		子育て支援課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	93.3 (%)		対前年度
	R02実績	89.2		(横ばい)
	R03実績	91.7		目標達成度
	R04実績			(低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	95.0		

指標値の注釈

特記事項
令和2年度から2.5ポイント向上したが、目標値には達していない。子どもの発達を促すため、健診や相談において、子どもの発達について普及啓発を行っている。今後も継続して普及啓発を行う。

基本事業02 全ての子どもが健やかに育つ支援

指標	育てにくさを感じたときに対処できる保護者割合 (%)		子育て支援課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	89.9 (%)		対前年度
	R02実績	84.4		(横ばい)
	R03実績	88.0		目標達成度
	R04実績			(低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	95.0		

指標値の注釈

特記事項
令和2年度から3.6ポイント向上したが、目標値には達していない。健診において子どもの発達や発育を確認し、必要時は継続した支援を行っている。今後も継続した支援を行い、保護者の不安軽減と子どもの発達を促す取り組みを行う。

基本事業02 全ての子どもが健やかに育つ支援

指標	地域における子育て支援施設利用者数 (人)		子育て支援課	対基準値
				(低下)
指標の動き	後期基準値	558 (人)		対前年度
	R02実績	377		(低下)
	R03実績	232		目標達成度
	R04実績			(低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	459		

指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症まん延防止対策に伴う休館やイベント等の中止により、子育て支援センター市内3施設の利用者数(月平均)は昨年度に続き減少したが、LINEを活用した子育て応援メッセージの年間延べ配信者数は増加した。

基本事業03 子育て家庭への経済援助

指標	児童手当支給児童の割合 (%)		子育て支援課	対基準値
				☀️ (向上)
指標の動き	後期基準値	100		対前年度
	R02実績	99.9		☀️ (向上)
	R03実績	100		☀️ (向上)
	R04実績			目標達成度
	R05実績			🏰 (達成)
	R06実績			
	R06目標値	100		

指標値の注釈

特記事項
令和3年度は、すべての受給者に対して支給ができた。グラフは横ばい傾向に見取れるが、実績値100%を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

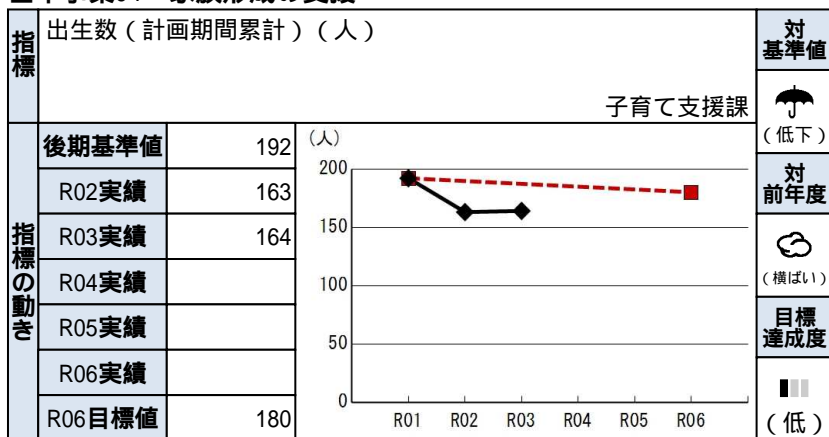
基本事業03 子育て家庭への経済援助

指標	ひとり親世帯等への支援率(児童扶養手当、ひとり親医療受給率) (%)		子育て支援課	対基準値
				🔄 (横ばい)
指標の動き	後期基準値	80.0		対前年度
	R02実績	78.6		🔄 (横ばい)
	R03実績	77.8		目標達成度
	R04実績			🏰 (達成)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	78.0		

指標値の注釈

特記事項
ひとり親等の世帯数に増減はなく、児童扶養手当受給者数は微増、ひとり親医療の受給者数は微減している。ひとり親世帯全般的なものではなく、一部の世帯所得増加等によるものと考えられる。

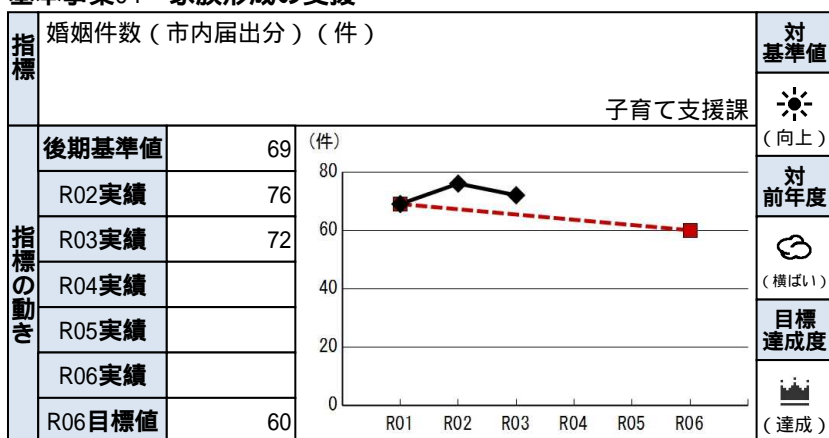
基本事業04 家族形成の支援



指標値の注釈
計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項
令和2年度と比較し微増はしたが、目標値には達していない。人口減少に伴い出生数も減少している。

基本事業04 家族形成の支援



指標値の注釈

特記事項
令和3年度から、婚姻時に夫婦共に39歳以下かつ世帯所得400万円未満の新婚世帯に、新生活に係る費用を支援する結婚新生活支援事業を実施した。

【政策】 2) ひとつづくり

2) 学校教育の充実

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	学校生活に満足している児童割合（小学生）（%）	93.0	93.0	94.0	☘	☘
-施策指標-	学校生活に満足している生徒割合（中学生）（%）	95.0	95.0	91.0	☂	☂
確かな学力の育成	全国学力・学習状況調査結果の（国語・算数総合）全国平均との差異（児童）（点）	1.6	1.6	-1.5	☂	☂
確かな学力の育成	全国学力・学習状況調査結果の（国語・数学総合）全国平均との差異（生徒）（点）	3.4	3.4	-2.6	☂	☂
確かな学力の育成	授業がわかると答えた児童割合（国語と算数の平均）（%）	46.6	46.6	41.4	☂	☂
確かな学力の育成	授業がわかると答えた生徒割合（国語と算数の平均）（%）	35.5	35.5	34.4	☘	☘
健やかな体の育成	全国体力・運動能力調査の全国平均点との差異：小学5年生（ポイント）	1.11	1.11	2.28	☀	☀
健やかな体の育成	全国体力・運動能力調査の平均点との差異：中学2年生（ポイント）	2.84	2.84	0.93	☂	☂
健やかな体の育成	基本的な生活習慣に関して全国平均を超えている項目（設問）数（項目）	2	2	6	☀	☀
豊かな心を育む	道徳性に関して全国平均を超えている項目（設問）数（項目）	5	5	6	☘	☘
教育環境の整備	学校施設の長寿命化対策等の老朽化対策を実施した率（%）	42.6	44.3	45.9	☀	☀
教育環境の整備	安全で快適な学校教育環境の整備率（トイレ洋式化率）（%）	41.3	41.7	58.5	☀	☀
地域の特色を活かした学習の推進	特色のある学習プログラム数（件）	24	21	35	☀	☀
地域の特色を活かした学習の推進	ジオパークを活用し学習した児童の延べ人数（市外含む）（人）	402	491	535	☀	☀
地域の特色を活かした学習の推進	ジオパークを活用し学習した生徒の延べ人数（市外含む）（人）	573	295	562	☘	☀
地域と共にある学校づくり	コミュニティ・スクールを導入している学校数（校）	2	8	16	☀	☘

安全な通学環境整備と放課後活動の充実	登下校時における事故発件数 (件)	11	9	7	☀	☀
安全な通学環境整備と放課後活動の充実	待機児童数 (学童保育) (%)	0	3	0	☀	☀
安全な通学環境整備と放課後活動の充実	放課後子ども教室年間利用者延人数 (人)	4,641	4,727	7,463	☀	☀

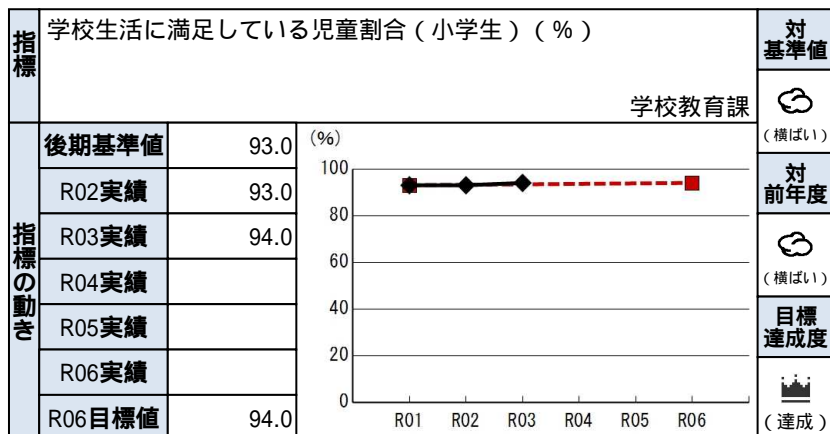
政策 02 ひとづくり

施策 02 学校教育の充実

施策の目的と成果状況

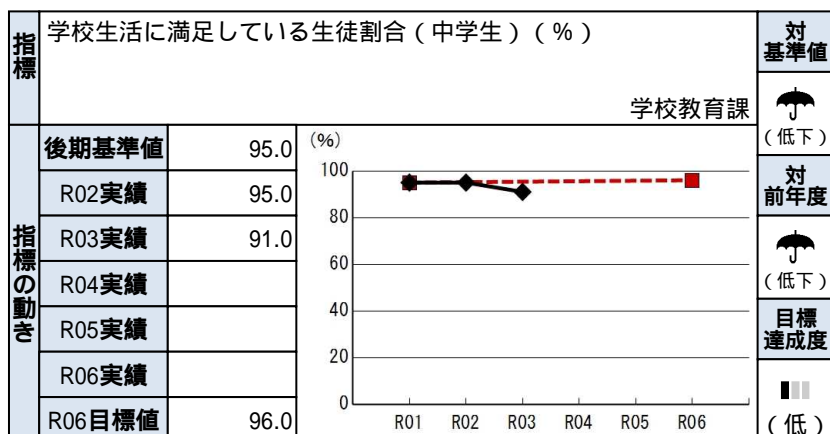
対象(誰、何を対象としているか)
小学生、中学生、保護者、地域住民、教職員、学校施設

意図(どのような状態にしたいのか)
児童生徒が充実した学校生活を送っています。



指標値の注釈

特記事項
満足していない児童が西予市内で30名となった。コロナ禍で学校生活に制限がかかっていることが原因の一つと考えられるが、その他の理由の解析を進め、楽しく充実した学校生活ができる体制づくりに努めなければならない。

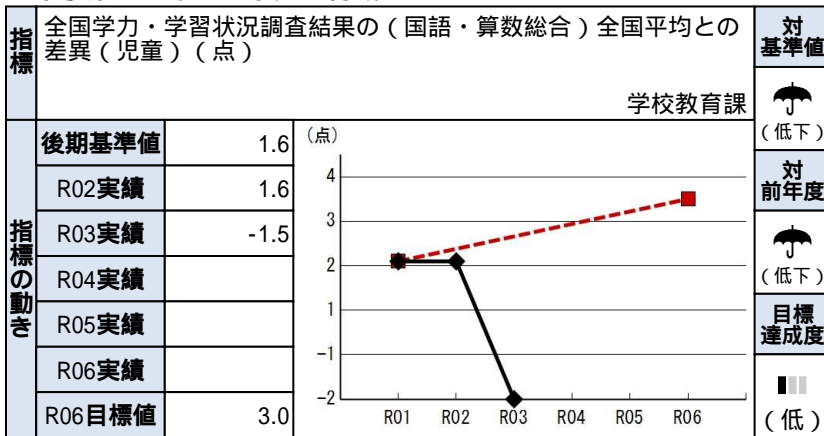


指標値の注釈

特記事項
実績値は91.0ポイントに減少した。運動会の時間短縮や修学旅行に行けないなど、新型コロナウイルス感染症の拡大により、思うような活動が出来なかったことが大きく影響していると思われる。ウィズコロナの生活様式では改善を図っていききたい。

基本事業の成果状況と評価

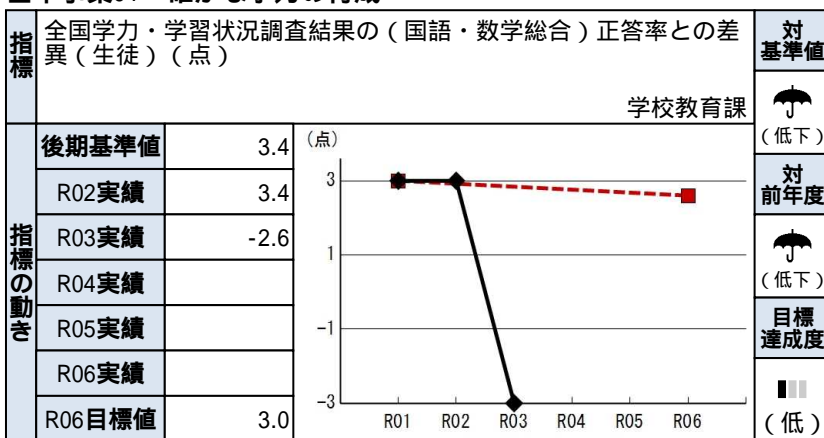
基本事業01 確かな学力の育成



指標値の注釈

特記事項
令和3年度は、国語、算数ともに、平均正答率で全国平均を下回った。各校において結果を分析し、授業改善に取り組んでいる。今後も各校の学力向上推進計画に基づき、生徒の基礎学力の向上に努めていく。

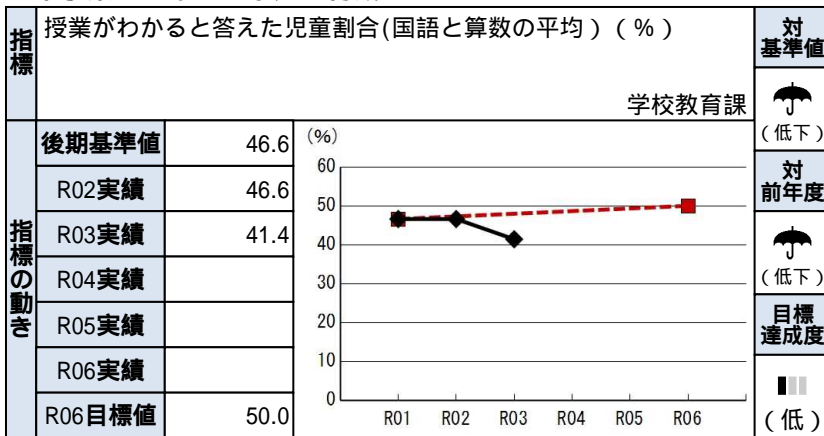
基本事業01 確かな学力の育成



指標値の注釈

特記事項
令和3年度は、国語、数学ともに、平均正答率で全国平均を下回った。各校において結果を分析し、授業改善に取り組んでいる。今後も各校の学力向上推進計画に基づき、生徒の基礎学力の向上に努めていく。

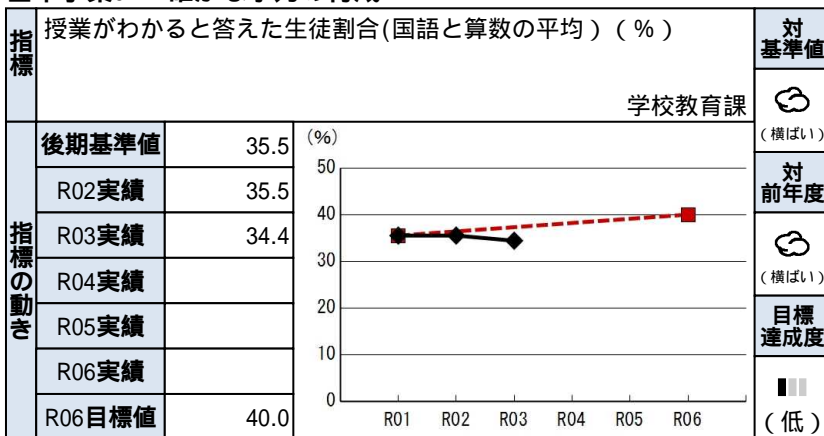
基本事業01 確かな学力の育成



指標値の注釈

特記事項
令和3年度は、国語、算数の授業がよくわかると回答した児童の割合は約40%であった。各校においては今後も、教科の調査結果の分析を丁寧に行うとともに、授業改善に積極的に取り組み、児童にとってわかる授業の実現を目指していく。

基本事業01 確かな学力の育成



指標値の注釈

特記事項
令和3年度は、国語、数学の授業がよくわかると回答した児童の割合は約35%であった。各校においては今後も、教科の調査結果の分析を丁寧に行うとともに、授業改善に積極的に取り組み、生徒にとってわかる授業の実現を目指していく。

基本事業02 健やかな体の育成

指標	全国体力・運動能力調査の全国平均点との差異：小学5年生（ポイント）		学校教育課	対基準値	☀️ (向上)
	後期基準値	1.11 (ポイント)		対前年度	
指標の動き	R02実績	1.11		目標達成度	▬▬ (中)
	R03実績	2.28			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	3.00			

指標値の注釈

特記事項
<p>小学校5年生の男女とも、全国平均、愛媛県平均を上回る結果となった。特に女子は、全国平均を3.69ポイント上回り、良好な結果となった。今後も各校の体力向上計画に基づき、児童の体力向上に取り組んでいく予定である。</p>

基本事業02 健やかな体の育成

指標	全国体力・運動能力調査の平均点との差異：中学2年生（ポイント）		学校教育課	対基準値	☔️ (低下)
	後期基準値	2.84 (ポイント)		対前年度	
指標の動き	R02実績	2.84		目標達成度	▬▬ (低)
	R03実績	0.93			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	3.00			

指標値の注釈

特記事項
<p>中学校2年生全体の結果としては全国平均を若干上回った。女子は全国平均を大きく上回ったが、男子は下回る結果となった。今後も各校の体力向上推進計画に基づき、生徒の体力向上に取り組んでいく予定である。</p>

基本事業02 健やかな体の育成

指標	基本的な生活習慣に関して全国平均を超えている項目（設問）数（項目）		学校教育課	対基準値	☀️ (向上)
	後期基準値	2 (項目)		対前年度	
指標の動き	R02実績	2		目標達成度	▬▬▬ (高)
	R03実績	6			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	7			

指標値の注釈

特記事項
<p>基本的な生活習慣に関する項目においては、肯定的な回答をした児童生徒の割合が全国平均より多い項目が7項目中6項目あり、良好な結果となった。今後も各校において、家庭との連携を図り、基本的な生活習慣の定着に努めていく予定である。</p>

基本事業03 豊かな心を育む

指標	道徳性に関して全国平均を超えている項目（設問）数（項目）		学校教育課	対基準値 ☁ (横ばい)	指標値の注釈
	後期基準値	5	(項目)	対前年度 ☁ (横ばい)	
指標の動き	R02実績	5		目標達成度 🏰 (達成)	特記事項 令和3年度は、道徳性に関わる全ての項目で、肯定的に回答した児童生徒の割合が全国平均を上回る結果となった。道徳が教科化となり、小学校で4年、中学校で3年が経過したこともあり、各校における道徳教育の充実が図られていると考えられる。
	R03実績	6			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	6			

基本事業04 教育環境の整備

指標	学校施設の長寿命化対策等の老朽化対策を実施した率（％）		教育総務課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	42.6		対前年度
	R02実績	44.3		☀ (向上)
	R03実績	45.9		目標達成度
	R04実績			■ ■ ■ (低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	50.8		

指標値の注釈

特記事項
大野ヶ原小学校屋内運動場改修工事の実施に伴い、前年度から1.6ポイント向上し、令和6年度の目標値に向かって順調に進捗している。今後も計画的な老朽化対策を実施し、安全安心な学校教育環境整備を図っていく必要がある。

基本事業04 教育環境の整備

指標	安全で快適な学校教育環境の整備率（トイレ洋式化率）（％）		教育総務課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	41.3		対前年度
	R02実績	41.7		☀ (向上)
	R03実績	58.5		目標達成度
	R04実績			■ ■ ■ (低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	80.0		

指標値の注釈

特記事項
明浜中学校、宇和中学校、野村中学校、三瓶中学校等のトイレを洋式化したことにより、前年度から16.8ポイント向上した。今後も計画的にトイレの洋式化を進めていく必要がある。

基本事業05 地域の特徴を活かした学習の推進

指標	特色のある学習プログラム数（件）		経済振興課	対基準値
				☀️ (向上)
指標の動き	後期基準値	24		対前年度
	R02実績	21		☀️ (向上)
	R03実績	35		☀️ (向上)
	R04実績			目標達成度
	R05実績			🏰 (達成)
	R06実績			
	R06目標値	30		

指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症拡大のため、市内学校の活動が制限される時期が続いたものの、徐々に活動は改善されてきた。

基本事業05 地域の特徴を活かした学習の推進

指標	ジオパークを活用し学習した児童の延べ人数（市外含む）（人）		経済振興課	対基準値
				☀️ (向上)
指標の動き	後期基準値	402		対前年度
	R02実績	491		☀️ (向上)
	R03実績	535		目標達成度
	R04実績			🏰 (達成)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	520		

指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症拡大により、学校活動に制限はあったものの、実績は伸ばすことができた。ガイドブックを活用して学習する学校も見られた。

基本事業05 地域の特徴を活かした学習の推進

指標	ジオパークを活用し学習した生徒の延べ人数（市外含む）（人）		経済振興課	対基準値
				☁️ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	573		対前年度
	R02実績	295		☀️ (向上)
	R03実績	562		目標達成度
	R04実績			🏰 (達成)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	600		

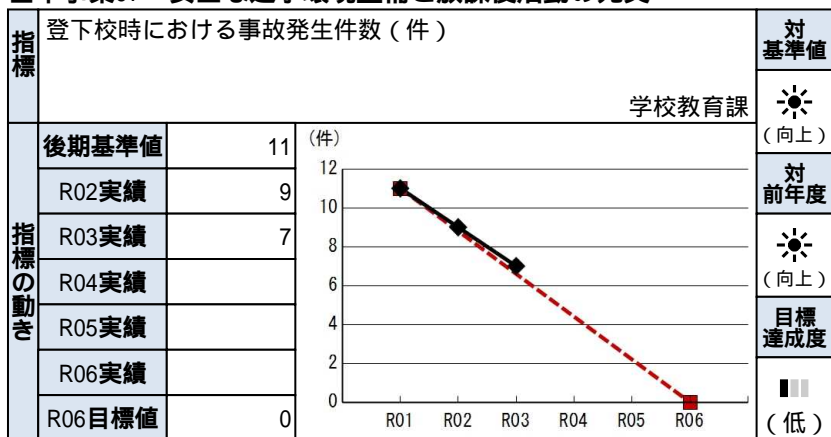
指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、時期をずらすなどしてジオパーク学習活動を行ったことで、実績値が向上した。

基本事業06 地域と共にある学校づくり

指標	コミュニティ・スクールの導入している学校数(校)		学校教育課	対基準値 ☀ (向上)	指標値の注釈
	後期基準値	2 (校)		対前年度 ☁ (横ばい)	特記事項 初年度から段階的に導入を行い、ほとんどの学校で、地域とともにある学校づくりを進める取組みができた。
指標の動き	R02実績	8		目標達成度 ▬▬▬ (高)	
	R03実績	16			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	17			

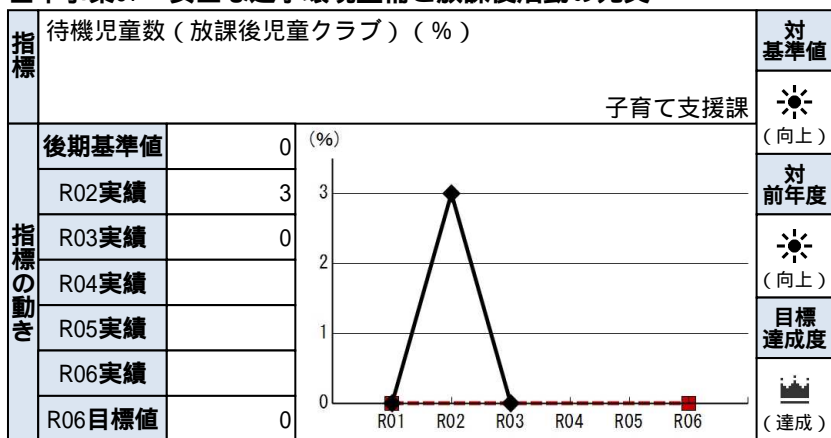
基本事業07 安全な通学環境整備と放課後活動の充実



指標値の注釈

特記事項
関係各課、警察等との連携により、児童生徒の通学時の安全性が向上した。

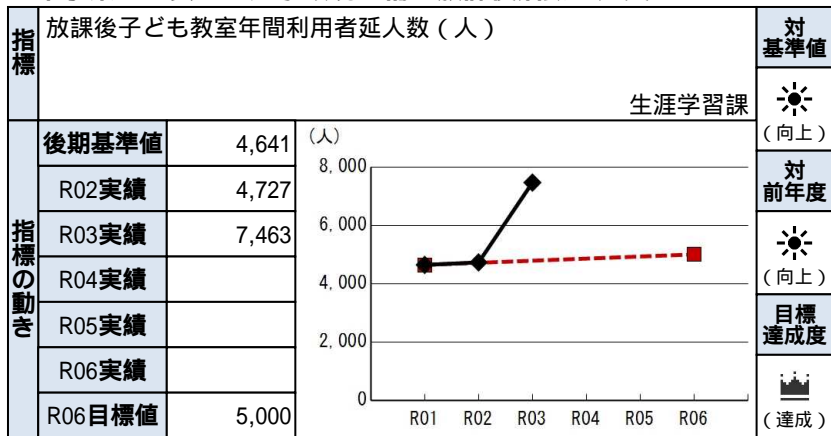
基本事業07 安全な通学環境整備と放課後活動の充実



指標値の注釈

特記事項
令和2年度待機児童3人に対し、令和3年5月1日時点での待機児童なし。令和2年度と令和3年度に新たな学童保育施設を2施設建設したことにより、放課後等の児童の安心・安全な居場所を確保することができた。

基本事業07 安全な通学環境整備と放課後活動の充実



指標値の注釈

特記事項
令和3年度から田之筋放課後子ども教室が、長期休業時にも教室を開催するようになったことから、大幅に増となった。

【政策】 2) ひとつづくり

3) 健康づくりの推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
－施策指標－	平均自立期間（男性）（歳）	79.1	79.1	79.6	☀	☀
－施策指標－	平均自立期間（女性）（歳）	84.6	84.3	84.5	☂	☀
－施策指標－	標準化死亡比（SMR） 男性 ※ 5年毎	100.1	100.1	100.1	—	—
－施策指標－	標準化死亡比（SMR） 女性 ※ 5年毎	98.4	98.4	98.4	—	—
早期発見・早期治療の促進	年に1回健康診断を受けている 市民割合（%）	77.3	72.8	72.8	☂	☹
早期発見・早期治療の促進	がん検診を受けている40歳以上 64歳以下の市民割合（%）	45.7	65.7	65.7	☀	☹
生活習慣の改善による疾病 予防	健康のために実践している平均 項目数（禁煙、運動、適正飲酒、 睡眠、食事、健診受診等）（項目）	2.4	3.5	3.5	☀	☹
心の健康づくり	人口10万人当たりの自殺者数 （人口10万対）	21.6	23.1	20.5	☀	☀
母子の健やかな成長支援	むし歯のある3歳児の割合※乳 幼児の保護者育児の成果として 3歳児のう歯罹患率（%）	18.0	15.5	17.3	☀	☂

政策 02 ひとづくり

施策 03 健康づくりの推進

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	市民	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が元気で長生きし、安心して生き生きと生活を送っています。
------------------	----	-------------------	--------------------------------

指標	平均自立期間（男性）（歳）	健康づくり推進課	対基準値		指標値の注釈
			☀	(向上)	
指標の動き	後期基準値	79.1 (歳)		☀	特記事項 平均自立期間（要介護2以上を除く）の数値は二次医療圏域単位の数値であるが昨年度より向上している。
	R02実績	79.1		☀	
	R03実績	79.6		☀	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	81.1			
			☀	(向上)	
			■	目標達成度	
			■	(低)	

指標	平均自立期間（女性）（歳）	健康づくり推進課	対基準値		指標値の注釈
			☔	(低下)	
指標の動き	後期基準値	84.6 (歳)		☀	特記事項 平均自立期間（要介護2以上を除く）の数値は二次医療圏域単位の数値であるが昨年度より向上している。
	R02実績	84.3		☀	
	R03実績	84.5		☀	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	86.6			
			☀	(向上)	
			■	目標達成度	
			■	(低)	

指標	標準化死亡比（SMR） 男性 5年毎（歳）	健康づくり推進課	対基準値		指標値の注釈
				(比較不可)	
指標の動き	後期基準値	100.1 (歳)		☀	特記事項
	R02実績	100.1		☀	
	R03実績	100.1		☀	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	99.7			
				(比較不可)	
			■	目標達成度	
			---	(---)	

指標	標準化死亡比（SMR） 女性 5年毎（歳）	健康づくり推進課	対基準値		指標値の注釈
				(比較不可)	
指標の動き	後期基準値	98.4 (歳)		☀	特記事項
	R02実績	98.4		☀	
	R03実績	98.4		☀	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	94.6			
				(比較不可)	
			■	目標達成度	
			---	(---)	

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 早期発見・早期治療の促進

指標	年に1回健康診断を受けている市民割合（％）		健康づくり推進課	対基準値	指標値の注釈 実績値の取得は隔年（R2年度、R4年度、R6年度）
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	77.3		対前年度	特記事項
	R02実績	72.8		☁ (横ばい)	
	R03実績	72.8		☁ (横ばい)	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	80.0		■ (低)	

基本事業01 早期発見・早期治療の促進

指標	がん検診を受けている40歳以上64歳以下の市民割合（％）		健康づくり推進課	対基準値	指標値の注釈 実績値の取得は隔年（R2年度、R4年度、R6年度）
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	45.7		対前年度	特記事項
	R02実績	65.7		☁ (横ばい)	
	R03実績	65.7		☁ (横ばい)	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	70.0		■ (高)	

基本事業02 生活習慣の改善による疾病予防

指標	健康のために実践している平均項目数（禁煙、運動、適正飲酒、睡眠、食事、健診受診等）（項目）		健康づくり推進課	対基準値 ☀ (向上)	指標値の注釈
				対前年度 ☁ (横ばい)	特記事項
指標の動き	後期基準値	2.4		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	
	R02実績	3.5			
	R03実績	3.5			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	5.0			

実績値の取得は隔年（R2年度、R4年度、R6年度）

特記事項

基本事業03 心の健康づくり

指標	人口10万人当たりの自殺者数（人口10万対）		健康づくり推進課	対基準値 ☀ (向上)	指標値の注釈
	後期基準値	21.6	(人口10万対)	対前年度 ☀ (向上)	特記事項 西予市の自殺死亡率は1年おきに平成28年29.68、平成30年30.81、令和2年26.85と高低を繰り返している。令和3年度の実績は、16.38と低かったため（平成29年～令和3年）の5年間の平均で20.5で後期基準値・令和2年度と比べると向上となる。
指標の動き	R02実績	23.1		目標達成度 ■■■ (高)	
	R03実績	20.5			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	20.3			

基本事業04 母子の健やかな成長支援

指標	むし歯のある3歳児の割合 乳幼児の保護者育児の成果として 3歳児のう歯罹患率(%)		健康づくり推進課	対基準値	指標値の注釈																					
				☀ (向上)																						
指標の動き	後期基準値	18.0	<table border="1"> <caption>健康づくり推進課 3歳児のう歯罹患率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績 (%)</th> <th>目標 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R01</td> <td>18.0</td> <td>18.0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>15.5</td> <td>17.5</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>17.3</td> <td>17.0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>-</td> <td>16.5</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>-</td> <td>16.0</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>16.3</td> <td>16.3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績 (%)	目標 (%)	R01	18.0	18.0	R02	15.5	17.5	R03	17.3	17.0	R04	-	16.5	R05	-	16.0	R06	16.3	16.3	対前年度	特記事項 令和2年度と比較すると実績は低下しているが、新型コロナウイルス感染症のため親子教室の中止や参加者の減少があったことが影響しているのではないかと考える。
	年度	実績 (%)		目標 (%)																						
	R01	18.0		18.0																						
	R02	15.5		17.5																						
	R03	17.3		17.0																						
	R04	-		16.5																						
	R05	-		16.0																						
R06	16.3	16.3																								
R02実績	15.5	☂ (低下)																								
R03実績	17.3	■ 目標達成度																								
R04実績		■ (低)																								
R05実績																										
R06実績																										
R06目標値	16.3																									

【政策】 2) ひとつづくり

4) 継続的な医療体制づくりの推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	市内、近隣市町に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合 (%)	67.7	67.7	67.7	—	—
-施策指標-	国民健康保険の法定外繰入金額 (千円)	0	0	0	☀	☀
地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み	経常収支比率(病院会計) 市民病院 (%)	90.0	97.7	93.2	☀	☂
地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み	経常収支比率(病院会計) 野村病院 (%)	102.2	97.1	101.0	☂	☀
地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み	病床利用率(市民病院 一般病床) (%)	74.8	65.3	69.5	☂	☀
地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み	病床利用率(市民病院 療養病床) (%)	50.4	31.8	12.0	☂	☂
地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み	病床利用率(野村病院) (%)	84.5	79.9	72.1	☂	☂
地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み	医師充足率(市民病院) (%)	97.6	129.6	156.2	☀	☀
地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み	医師充足率(野村病院) (%)	116.4	110.4	134.0	☀	☀
救急医療の確保	休日・夜間診療所の西予市民の年間利用者数 (人)	194	81	104	☀	☂
救急医療の確保	両市立病院が救急で受け入れた人数 (人)	4,707	3,322	3,265	☀	☀
国民健康保険財政の健全運営	国民健康保険 1人あたり医療費 (円)	430,045	427,865	444,862	☂	☂
国民健康保険財政の健全運営	国民健康保険収納率 (%)	96.86	97.64	97.84	☂	☂

政策 02 ひとづくり

施策 04 継続的な医療体制づくりの推進

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民、両市立病院

意図(どのような状態にしたいのか)
両市立病院が公立病院としての役割を果たしつつ、市民へ健康や安心を提供しています。

指標	市内、近隣市町に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合 (%)		医療対策室	対基準値
	後期基準値	67.7		(比較不可)
指標の動き	R02実績	67.7		対前年度
	R03実績	67.7		(比較不可)
	R04実績			目標達成度
	R05実績			(---)
	R06実績			
	R06目標値	80.0		

指標値の注釈
実績値の取得は隔年 (R2年度、R4年度、R6年度)

特記事項

指標	国民健康保険の法定外繰入金額 (千円)		市民課	対基準値
	後期基準値	0		(向上)
指標の動き	R02実績	0		対前年度
	R03実績	0		(向上)
	R04実績			目標達成度
	R05実績			(達成)
	R06実績			
	R06目標値	0		

指標値の注釈

特記事項
グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み

指標	経常収支比率(病院会計) 市民病院(%)		医療対策室	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	90.0		対前年度
	R02実績	97.7		☔ (低下)
	R03実績	93.2		☀ (向上)
	R04実績			☔ (低下)
	R05実績			☀ (向上)
	R06実績			☔ (低下)
	R06目標値	100.0		☔ (低下)

指標値の注釈
特記事項
新型コロナウイルス感染症の対策に伴う入院収益減少、国・県補助金等の収益減少や職員給与費、委託料等の費用の増加により、4.5ポイント減となった。

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み

指標	経常収支比率(病院会計) 野村病院(%)		医療対策室	対基準値
				☔ (低下)
指標の動き	後期基準値	102.2		対前年度
	R02実績	97.1		☀ (向上)
	R03実績	101.0		☔ (低下)
	R04実績			☀ (向上)
	R05実績			☔ (低下)
	R06実績			☔ (低下)
	R06目標値	100.0		☔ (低下)

指標値の注釈
特記事項
医業外収益の増により、経営改善が図れた。

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み

指標	病床利用率(市民病院 一般病床)(%)		医療対策室	対基準値
				☔ (低下)
指標の動き	後期基準値	74.8		対前年度
	R02実績	65.3		☀ (向上)
	R03実績	69.5		☔ (低下)
	R04実績			☀ (向上)
	R05実績			☔ (低下)
	R06実績			☔ (低下)
	R06目標値	75.0		☔ (低下)

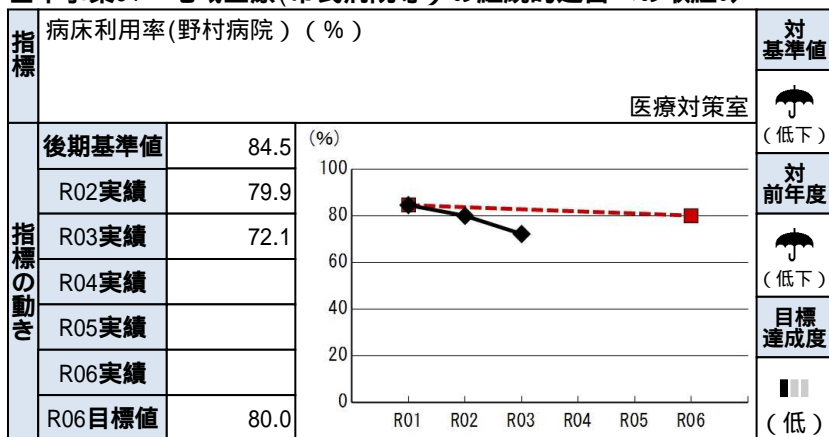
指標値の注釈
特記事項
新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染対策として一部病棟を休止対応しているため、昨年度に続き影響を受けている。

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み

指標	病床利用率(市民病院 療養病床)(%)		医療対策室	対基準値
				☔ (低下)
指標の動き	後期基準値	50.4		対前年度
	R02実績	31.8		☔ (低下)
	R03実績	12.0		☔ (低下)
	R04実績			☔ (低下)
	R05実績			☔ (低下)
	R06実績			☔ (低下)
	R06目標値	-		☔ (低下)

指標値の注釈
病棟閉鎖中のため、目標値の設定不可。
特記事項
令和3年度途中から新型コロナウイルス感染症対策等により、病棟を休止しているため、目標値を設定できない。

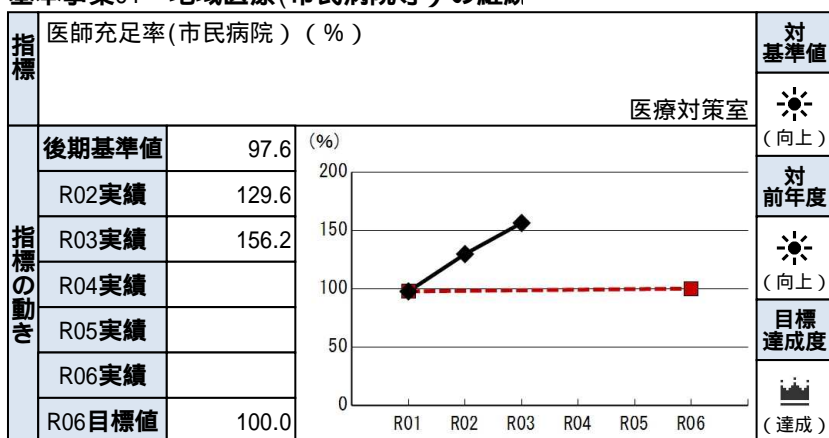
基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み



指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症により入院患者数に影響があった。

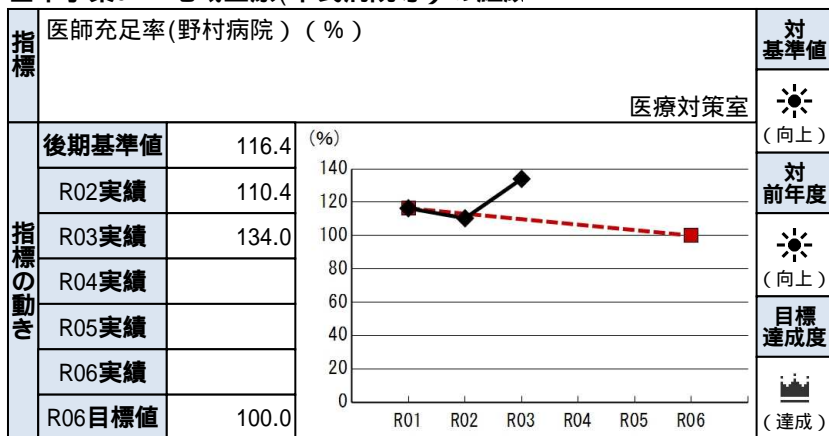
基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続



指標値の注釈

特記事項
常勤医師の確保、非常勤医師の支援などにより改善につながった。

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続



指標値の注釈

特記事項
常勤医師の確保、非常勤医師の支援などにより改善につながった。

基本事業02 救急医療の確保

指標	休日・夜間診療所の西予市民の年間利用者数（人）		医療対策室	対基準値	指標値の注釈
				☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	194		対前年度	特記事項 新型コロナウイルス感染症により、受診控えがあったが、徐々に患者数が戻りつつある。
	R02実績	81		☔️ (低下)	
	R03実績	104		🏠 (達成)	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	180			

基本事業02 救急医療の確保

指標	両市立病院が救急で受け入れた人数（人）		医療対策室	対基準値	指標値の注釈
				☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	4,707		対前年度	特記事項 新型コロナウイルス感染症の影響により、救急患者数が減少傾向にある。
	R02実績	3,322		☀️ (向上)	
	R03実績	3,265		🏠 (達成)	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	4,500			

基本事業03 国民健康保険財政の健全運営

指標	国民健康保険1人あたり医療費（円）		市民課	対基準値
				☔ (低下)
指標の動き	後期基準値	430,045		対前年度
	R02実績	427,865		☔ (低下)
	R03実績	444,862		■ (低)
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	425,009		

指標値の注釈

特記事項
令和2年度は新型コロナ感染拡大に伴う受診控えや、新型コロナ感染症対策の結果、呼吸器系等の他の感染症が減少したことにより、療養給付費額が一時的に減少したが、その後感染防止対策が整ってきたことなどから、医療機関を受診される方が徐々に増加し、医療費が増加した。

基本事業03 国民健康保険財政の健全運営

指標	国民健康保険収納率（％）		市民課	対基準値
				☺ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	96.86		対前年度
	R02実績	97.64		☺ (横ばい)
	R03実績	97.84		■ (達成)
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	97.00		

指標値の注釈

特記事項
納税指導・文書催告・財産調査・債権差し押さえ、執行停止処分等を積極的に実施し、徴収困難事案等については、愛媛県地方税滞納整理機構に移管して徴収を強化したことなどにより、昨年度と同水準の収納率が確保できた。

【政策】 2) ひとつづくり

5) 火災・救急体制の整備

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	年間火災発生件数 (件)	9	13	8	☀	☀
常備消防・救急体制の確保	救急等の現場到着平均時間 (分)	9.17	9.32	10.20	☂	☂
常備消防・救急体制の確保	救急の軽症患者搬送率 (%)	34.9	33.2	33.5	☀	☁
常備消防施設装備の整備	緊急通信指令装置の修繕回数 (回)	0	0	0	☀	☀
警防・予防体制の充実	防火講話等実施回数(避難訓練含 む) (回)	153	102	120	☂	☀
警防・予防体制の充実	防火対象物の立入検査率 (%)	64.0	70.0	77.0	☀	☀
消防団活動の推進	消防団員の充足率 (%)	96.1	96.0	95.5	☁	☁
消防団活動の推進	消防団員の災害等出動回数 (回)	19	30	22	☁	☀
消防団活動の推進	消防団の車両・資機材等の更新件 数 (件)	5	2	3	☁	☁
消防団活動の推進	消防水利(消火栓、耐震性貯水槽) の整備率 (%)	80.0	50.0	75.0	☁	☀

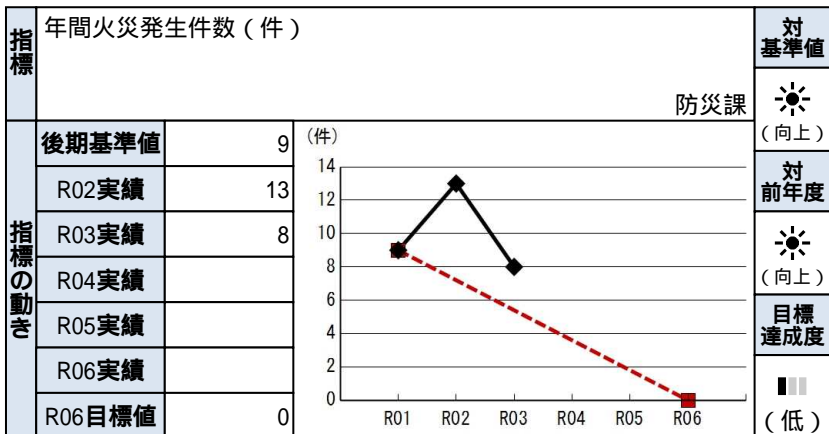
政策 02 ひとづくり

施策 05 火災・救急体制の整備

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民、消防団員、消防施設、消防関係職員、市職員

意図(どのような状態にしたいのか)
防火意識が高く、火災件数も減少し安心して暮らせるまちを目指しています。



指標値の注釈

特記事項
火災気象通報発表時などの防災行政無線を活用した広報及び車両広報を粘り強く実施した。年々火災件数は減少傾向にあり、令和3年は過去最低の火災件数であった。今後、目標値(令和7年度)の変更が必要と考察する。(例)目標値10件。

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 常備消防・救急体制の確保

指標	救急等の現場到着平均時間（分）		防災課	対基準値	指標値の注釈
				☔ (低下)	
指標の動き	後期基準値	9.17 (分)		対前年度	特記事項 救急隊の現場到着時間については、救急要請場所の変動により変化するものであるため、一律に評価することが難しい指標である。
	R02実績	9.32		☔ (低下)	
	R03実績	10.20		☔ (低下)	
	R04実績			■ 目標達成度	
	R05実績			■ (低)	
	R06実績				
	R06目標値	9.00			

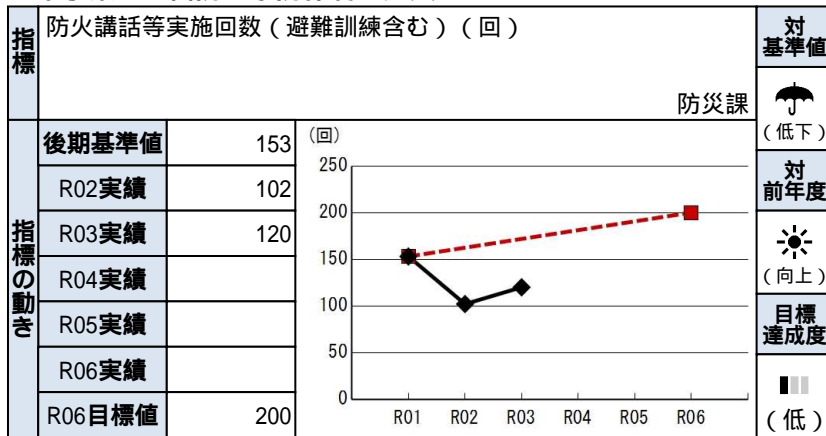
基本事業01 常備消防・救急体制の確保

指標	救急の軽症患者搬送率（％）		防災課	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	34.9 (％)		対前年度	特記事項 救急車頻回利用者への注意喚起や広報せいよ・SNS等での広報活動の結果、軽症患者搬送率は現状維持に近く、救急車の適正利用が図れていると判断できる。
	R02実績	33.2		☁ (横ばい)	
	R03実績	33.5		■ 目標達成度	
	R04実績			■ (低)	
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	30.0			

基本事業02 常備消防施設設備の整備

指標	緊急通信指令装置の修繕回数（回）		防災課	対基準値 ☀ (向上)	指標値の注釈
	後期基準値	0		対前年度 ☀ (向上)	特記事項 グラフは横ばい傾向に見取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。
R02実績	0	目標達成度 🏠 (達成)			
R03実績	0				
R04実績					
R05実績					
R06実績					
R06目標値	0				

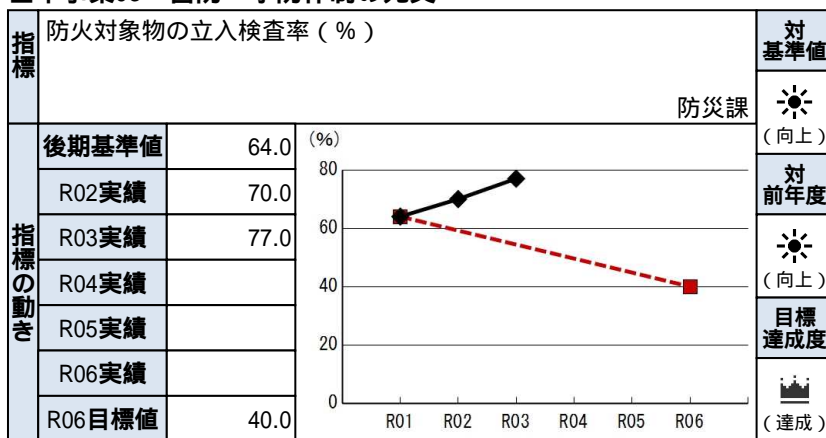
基本事業03 警防・予防体制の充実



指標値の注釈

特記事項
 新型コロナウイルス感染症拡大を懸念し、防火講話、避難訓練を中止したため、基準値と比較すると実績値が減少した。

基本事業03 警防・予防体制の充実



指標値の注釈

特記事項
 新型コロナウイルス感染症の蔓延により、防火講話等が減少し、立入検査に人員を当てることができたため向上した。

基本事業04 消防団活動の推進

指標	消防団員の充足率（％）		消防総務課	対基準値
				☁️ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	96.1		対前年度
	R02実績	96.0		☁️ (横ばい)
	R03実績	95.5		☁️ (横ばい)
	R04実績			☁️ (横ばい)
	R05実績			☁️ (横ばい)
	R06実績			☁️ (横ばい)
	R06目標値	100		☁️ (横ばい)

指標値の注釈

特記事項
死亡転出のみの退団であったため、著しい増減はなかった。実績としては0.5%の減少であり、目標達成度は、「中」と評価。

基本事業04 消防団活動の推進

指標	消防団員の災害等出勤回数（回）		消防総務課	対基準値
				☁️ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	19		対前年度
	R02実績	30		☀️ (向上)
	R03実績	22		☀️ (向上)
	R04実績			☀️ (向上)
	R05実績			☀️ (向上)
	R06実績			☀️ (向上)
	R06目標値	0		☀️ (向上)

指標値の注釈

特記事項
令和3年度は火災出勤が令和2年度より5件減少するなど、全体的に出勤が少なかった。

基本事業04 消防団活動の推進

指標	消防団の車両・資機材等の更新件数（件）		消防総務課	対基準値
				☁️ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	5		対前年度
	R02実績	2		☁️ (横ばい)
	R03実績	3		☁️ (横ばい)
	R04実績			☁️ (横ばい)
	R05実績			☁️ (横ばい)
	R06実績			☁️ (横ばい)
	R06目標値	4		☁️ (横ばい)

指標値の注釈

特記事項
現状の車両・資機材で対応が可能であったため、更新件数は3件となった。

基本事業04 消防団活動の推進

指標	消防水利（消火栓、耐震性貯水槽）の整備率（％）		消防総務課	対基準値
				☁️ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	80.0		対前年度
	R02実績	50.0		☀️ (向上)
	R03実績	75.0		☀️ (向上)
	R04実績			☀️ (向上)
	R05実績			☀️ (向上)
	R06実績			☀️ (向上)
	R06目標値	100		☀️ (向上)

指標値の注釈

特記事項
令和2年度からの繰り越し2基、令和3年度分1基は完成、もう1基は令和4年度に繰越している。

【政策】 2) ひとつづくり

6) 高齢者福祉・介護保険の推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	自立高齢者割合 (%)	79.49	78.97	78.85	☘	☘
社会参加促進と連携による見守りの推進	高齢者の社会参加に関する団体登録者延人数(老人クラブ、シルバー人材センター登録者数、その他)(人)	5,794	5,520	5,309	☂	☂
介護予防の推進	要支援認定の新規該当者の平均年齢(歳)	84.0	84.6	84.5	☘	☘
地域包括ケアシステムの推進	相談先がある高齢者の割合 (%)	87.2	87.2	87.2	—	—
地域包括ケアシステムの推進	高齢者の権利が損なわれた件数(虐待・権利)(件)	3	2	2	☀	☘
地域包括ケアシステムの推進	日常生活支援サービスの年間延べ利用者数(人)	9,157	8,874	7,101	☂	☂
住み慣れた地域で暮らせる介護環境づくり	居宅サービス受給率 (%)	10.62	11.15	11.21	☘	☘
介護保険の適正利用(継続的な介護保険運営)	1人当たりの介護給付費(年額)(円)	331,813	360,473	360,815	☘	☘
介護保険の適正利用(継続的な介護保険運営)	介護保険料収納率(現年度) (%)	99.40	98.60	99.47	☘	☘

政策 02 ひとづくり

施策 06 高齢者福祉・介護保険の推進

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
高齢者(元気、虚弱、要支援、要介護)、地域住民

意図(どのような状態にしたいのか)
本市がこれまで培った地域のぬくもり(コミュニティ意識)を、全ての市民が支え合う仕組み(地域包括ケアシステム、地域共生社会)につなげていきます。

指標	自立高齢者割合(%)		長寿介護課 (横ばい)	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	79.49		対前年度	
指標の動き	R02実績	78.97		(横ばい)	特記事項 自立支援施策の効果により目標値を上回っていると考えられる。
	R03実績	78.85		(横ばい)	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			(達成)	
	R06実績				
	R06目標値	76.50			

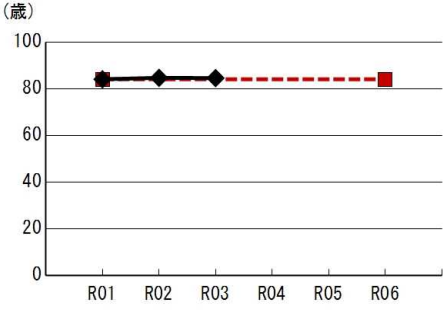
基本事業の成果状況と評価

基本事業01 社会参加促進と連携による見守りの推進

指標	高齢者の社会参加に関する団体登録者延人数（老人クラブ、シルバー人材センター登録者数、その他）（人）		長寿介護課	対基準値 ☂ (低下)	指標値の注釈
	後期基準値	5,794		対前年度 ☂ (低下)	特記事項 会員減少の要因は、会員の高齢化による自然減及び趣味の多様化や就労延長による新規加入者の減と考える。
指標の動き	R02実績	5,520		目標達成度 🏰 (達成)	
	R03実績	5,309			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	4,551			

基本事業02 介護予防の推進

指標	要支援認定の新規該当者の平均年齢（歳）		対基準値	長寿介護課	(横ばい)	(横ばい)	指標値の注釈	
			(横ばい)					
指標の動き	後期基準値	84.0	(達成)	(達成)	(達成)	特記事項		
	R02実績	84.6				介護予防施策の効果によると考えられる。		
	R03実績	84.5						
	R04実績							
	R05実績							
	R06実績							
	R06目標値	84.0						



基本事業03 地域包括ケアシステムの推進

指標	相談先がある高齢者の割合（％）		長寿介護課	対基準値	指標値の注釈 実績値の取得は隔年（R2年度、R4年度、R6年度）
	後期基準値	87.2		（比較不可）	
指標の動き	R02実績	87.2		対前年度	特記事項
	R03実績	87.2		（比較不可）	
	R04実績			（比較不可）	
	R05実績			（比較不可）	
	R06実績			（比較不可）	
	R06目標値	90.0		（---）	

基本事業03 地域包括ケアシステムの推進

指標	高齢者の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件）		長寿介護課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	3		（向上）	
指標の動き	R02実績	2		対前年度	特記事項 地域包括支援センターが独居高齢者、在宅介護者等への早期相談支援を実施している。
	R03実績	2		（横ばい）	
	R04実績			（横ばい）	
	R05実績			（横ばい）	
	R06実績			（横ばい）	
	R06目標値	0		（中）	

基本事業03 地域包括ケアシステムの推進

指標	日常生活支援サービスの年間延べ利用者数（人）		長寿介護課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	9,157		（低下）	
指標の動き	R02実績	8,874		対前年度	特記事項 新型コロナウイルス感染症の影響による外出控え等により、サービス利用自粛が影響したものとする。
	R03実績	7,101		（低下）	
	R04実績			（低下）	
	R05実績			（低下）	
	R06実績			（低下）	
	R06目標値	9,954		（低）	

基本事業04 住み慣れた地域で暮らせる介護環境づくり

指標	居宅サービス受給率（％）		長寿介護課	対基準値	指標値の注釈
				(横ばい)	
指標の動き	後期基準値	10.62		対前年度	特記事項 在宅支援施策の効果によると考えられる。
	R02実績	11.15		(横ばい)	
	R03実績	11.21			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	11.24			

基本事業05 介護保険の適正利用（継続的な介護保険運営）

指標	1人当たりの介護給付費（年額）（円）		長寿介護課	対基準値	指標値の注釈
				(横ばい)	
指標の動き	後期基準値	331,813 (円)		対前年度	特記事項 介護予防施策の効果によると考えられる。
	R02実績	360,473		(横ばい)	
	R03実績	360,815		目標達成度	
	R04実績			(達成)	
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	364,994			

基本事業05 介護保険の適正利用（継続的な介護保険運営）

指標	介護保険料収納率（現年度）（％）		長寿介護課	対基準値	指標値の注釈
				(横ばい)	
指標の動き	後期基準値	99.40 (％)		対前年度	特記事項 介護保険料は大部分が特別徴収による年金引落しとなっているため、例年高い徴収率で推移している。
	R02実績	98.60		(横ばい)	
	R03実績	99.47		目標達成度	
	R04実績			(達成)	
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	99.45			

【政策】 2) ひとづくり

7) 障がい者福祉の推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
－施策指標－	障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）（%）	10	6	7	☂	☂
－施策指標－	在宅で生活している障がい者の割合（%）	94	94	93	☂	☂
自立支援・地域生活支援サービスの利用促進	自立支援給付サービスの利用者数（人）	379	384	395	☂	☂
自立支援・地域生活支援サービスの利用促進	地域生活支援事業の窓口相談等の相談者数（人）	31	47	95	—	—
自立支援・地域生活支援サービスの利用促進	地域生活支援事業の利用者数（人）	276	232	241	—	—
障がい者への経済援助	助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数（人）	1,599	1,553	1,552	☂	☂
障がいに対する理解の推進	障がい者法定雇用率達成企業割合（県単位）（%）	53.7	52.8	48.9	☂	☂
障がいに対する理解の推進	障がい者（児）の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件）	0	0	2	☂	☂
社会参加の促進	障がい者支援事業から一般就労した障がい者数（累計）（人）	5	6	3	☂	☂
社会参加の促進	社会参加促進事業サービス利用割合（%）	52	51	53	☂	☂
社会参加の促進	福祉施設入所者の地域生活への移行（人）	0	0	0	☂	☂

政策 02 ひとづくり

施策 07 障がい者福祉の推進

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民、障がい者

意図(どのような状態にしたいのか)
障がい者等の自立社会参加が促進され、安心して暮らせる福祉のまちづくりが進んでいます。

指標	障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）（％）		福祉課	対基準値	☔ (低下)
	後期基準値	10		対前年度	☁ (横ばい)
指標の動き	R02実績	6		目標達成度	■ ■ ■ (低)
	R03実績	7			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	15			

指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症の状況が定着しつつあり、就業系のサービス利用も徐々に戻ってきていると考えられる。

指標	在宅で生活している障がい者の割合（％）		福祉課	対基準値	☁ (横ばい)
	後期基準値	94		対前年度	☁ (横ばい)
指標の動き	R02実績	94		目標達成度	■ ■ ■ (低)
	R03実績	93			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	95			

指標値の注釈

特記事項
利用者のニーズを踏まえながら、在宅で生活しやすい環境の整備を進めていく必要があると考える。

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 自立支援・地域生活支援サービスの利用促進

指標	自立支援給付サービスの利用者数（人）		福祉課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	379		対前年度
	R02実績	384		(横ばい)
	R03実績	395		目標達成度
	R04実績			(達成)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	350		

指標値の注釈

特記事項
微増だが、年々増加傾向であり、自立支援サービス利用の需要があると考える。

基本事業01 自立支援・地域生活支援サービスの利用促進

指標	地域生活支援事業の窓口相談等の相談者数（人）		福祉課	対基準値
				(比較不可)
指標の動き	後期基準値	31		対前年度
	R02実績	47		(比較不可)
	R03実績	95		目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	30		

指標値の注釈
指標の増減が成果と言えないため、比較不可。

特記事項
実績件数が昨年の倍近くとなっている。近年、生活状況が多様化し、新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、様々な要素の相談が増加している。件数がそのまま事務量ではないが、少なからず業務に影響を与えている。

基本事業01 自立支援・地域生活支援サービスの利用促進

指標	地域生活支援事業の利用者数（人）		福祉課	対基準値
				(比較不可)
指標の動き	後期基準値	276		対前年度
	R02実績	232		(比較不可)
	R03実績	241		目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	300		

指標値の注釈
指標の増減が成果と言えないため、比較不可。

特記事項

基本事業02 障がい者への経済援助

指標	助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数(人)		福祉課	対基準値 ☁ (横ばい)	指標値の注釈
	後期基準値	1,599		対前年度 ☁ (横ばい)	特記事項 補装具・日常生活用具・重心医療費・交通費の利用助成者数が指標値となっており、1名減ではあるが、年々一定数の利用があり、助成費は増加傾向にある。
指標の動き	R02実績	1,553		目標達成度 🏠 (達成)	
	R03実績	1,552			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	1,500			

基本事業03 障がいに対する理解の推進

指標	障がい者法定雇用率達成企業割合（県単位）（％）		福祉課	対基準値	傘 (低下)
	後期基準値	53.7		対前年度	
指標の動き	R02実績	52.8		目標達成度	■ (低)
	R03実績	48.9			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値				

指標値の注釈

特記事項
前年比で3.9ポイント減少しており、全国でも41位と低迷している。法定雇用率は義務化されているため、各事業所が雇用率を上昇できるように県下で対策していく必要があると思われる。

基本事業03 障がいに対する理解の推進

指標	障がい者（児）の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件）		福祉課	対基準値	傘 (低下)
	後期基準値	0		対前年度	
指標の動き	R02実績	0		目標達成度	■ (低)
	R03実績	2			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	0			

指標値の注釈

特記事項
障がい者（児）の権利が損なわれた事例が確認されたため、啓発活動を強化し、関係機関等と連携を図り防止に努める必要があると考える。

基本事業04 社会参加の促進

指標	障がい者支援事業から一般就労した障がい者数（累計）（人）		福祉課	対基準値
				☔ (低下)
指標の動き	後期基準値	5		対前年度
	R02実績	6		☔ (低下)
	R03実績	3		☔ (低下)
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	10		■ ■ ■ (低)

指標値の注釈
計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項
新型コロナウイルス感染症等の影響により、障がい者の就労意欲の低下や事業者側の雇用の低下が、実績値減少の1つの要因と考えられる。

基本事業04 社会参加の促進

指標	社会参加促進事業サービス利用者数（人）		福祉課	対基準値
				☁ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	52		対前年度
	R02実績	51		☁ (横ばい)
	R03実績	53		
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	60		■ ■ ■ (低)

指標値の注釈
成果指標を変更。

特記事項
手話通訳派遣とタクシー利用助成者数であるが、新型コロナウイルス感染症による外出自粛もある中、軽微ではあるが利用者が増加している。状況の落ち着きと共に利用率の向上が見込まれる。

基本事業04 社会参加の促進

指標	福祉施設入所者の地域生活への移行（人）		福祉課	対基準値
				☁ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	0		対前年度
	R02実績	0		☁ (横ばい)
	R03実績	0		
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	2		■ ■ ■ (低)

指標値の注釈

特記事項
施設利用者のニーズを踏まえて、必要により地域移行のための支援につなげていく必要があると考える。

【政策】 2) ひとつづくり

8) セーフティネットの確保と地域福祉の推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	法定受託事業のため「なし」	-	-	-	—	—
自立支援と適正な生活保護	生活保護率 (%)	0.82	0.80	0.80	●●	●●
自立支援と適正な生活保護	生活保護開始決定件数 (件)	24	27	28	●●	●●
生活困窮者対策の推進	自立支援プログラムにより生活改善が図られた生活困窮者数 (人)	0	0	0	●●	●●
インフォーマルサービスの推進	インフォーマルサービスの実施件数 (件)	0	0	0	●●	●●
窓口業務のワンストップ化	本庁・支所・公民館でワンストップ化された業務の達成率 (%)	0	0	0	●●	●●

政策 02 ひとづくり

施策 08 セーフティネットの確保と地域福祉の推進

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民

意図(どのような状態にしたいのか)
最低生活が保障され安心した日常生活を送っています。

指標	法定受託事業のため「なし」()		対 基準値	福祉課	指標値の注釈
	後期基準値	-	(比較不可)		特記事項
指標の動き	R02実績	-	対 前年度		
	R03実績	-	(比較不可)		
	R04実績		目 標 達 成 度		
	R05実績		(---)		
	R06実績				
	R06目標値	-			

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 自立支援と適正な生活保護

指標	生活保護率（％）		福祉課	対基準値	指標値の注釈
				(横ばい)	
指標の動き	後期基準値	0.82		対前年度	特記事項 新型コロナウイルス感染症による増加が懸念されたが、変化なく一定水準の横ばい状態。
	R02実績	0.80		(横ばい)	
	R03実績	0.80		(横ばい)	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	0.78			

基本事業01 自立支援と適正な生活保護

指標	生活保護開始決定件数（件）		福祉課	対基準値	指標値の注釈
				(横ばい)	
指標の動き	後期基準値	24		対前年度	特記事項 新型コロナウイルス感染症による増加が懸念されたが、大きな変化なくほぼ横ばい状態。
	R02実績	27		(横ばい)	
	R03実績	28			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	20			

基本事業02 生活困窮者対策の推進

指標	自立支援プログラムにより生活改善が図られた生活困窮者数（人）		福祉課	対基準値 ☁ (横ばい)	指標値の注釈
	後期基準値	0	(人)	対前年度 ☁ (横ばい)	特記事項 相談は多数あるものの自立支援プログラムを策定するほどの相談がなかった。
指標の動き	R02実績	0		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	
	R03実績	0			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	2			

基本事業03 インフォーマルサービスの推進

指標	インフォーマルサービスの実施件数（件）		福祉課	対基準値 ☁ (横ばい)	指標値の注釈
	後期基準値	0	(件)	対前年度 ☁ (横ばい)	特記事項 令和3年度においても新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベント計画も難しく、実績が残せなかった。
指標の動き	R02実績	0		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	
	R03実績	0			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	12			

基本事業04 窓口業務のワンストップ化

指標	本庁・支所・公民館でワンストップ化された業務の達成率（％）		政策推進課	対基準値 ☁ (横ばい)	指標値の注釈
	後期基準値	0	(%)	対前年度 ☁ (横ばい)	特記事項 窓口のワンストップサービスは、令和4年5月から開始となるため、令和3年度についてはシステムの構築のみ行った。
指標の動き	R02実績	0		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	
	R03実績	0			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	20			

【政策】 2) ひとつづくり

9) 生涯学習の推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
－施策指標－	生涯学習活動を行っている市民の割合(%)	30.4	30.4	30.4	—	—
生涯学習施設の管理	生涯学習施設における修繕件数 (維持管理上の不具合による) (件)	31	66	80	☂	☂
生涯学習機会の充実	公民館の講座・講演、体験型事業・ イベント等への年間参加者数 (人)	19,931	10,337	8,624	☂	☂
地域・学校との連携	学校との連携事業数(累計)(事業)	96	52	54	☂	☂☂

政策 02 ひとづくり

施策 09 生涯学習の推進

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民

意図(どのような状態にしたいのか)
市民一人ひとりの学びが進み、心豊かに過ごす地域が形成されています。

指標	生涯学習活動を行っている市民の割合(%)		生涯学習課	対基準値	指標値の注釈	
	後期基準値	30.4		(比較不可)		
指標の動き	R02実績	30.4		対前年度	実績値の取得は隔年(R2年度、R4年度、R6年度)	
	R03実績	30.4		(比較不可)		
	R04実績			目標達成度		特記事項
	R05実績			(---)		
	R06実績					
	R06目標値	45.0				

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生涯学習施設の管理

指標	生涯学習施設における修繕件数（維持管理上の不具合による）（件）		生涯学習課	対基準値 ☂ (低下)	指標値の注釈
	後期基準値	31		対前年度 ☂ (低下)	特記事項 修繕件数は増加傾向にあるものの、経年劣化に伴う軽度の修繕がほとんどであり、市民の利用に大きく影響を与えるものではない。施設利用に支障が生じる不具合が生じた場合は、市民の安全を第一に適切に対応する。
指標の動き	R02実績	66		目標達成度 ■ (低)	
	R03実績	80			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	15			

基本事業02 生涯学習機会の充実

指標	公民館の講座・講演、体験型事業・イベント等への年間参加者数 (人)		生涯学習課	対 基準値
				☂ (低下)
指標の動き	後期基準値	19,931		対 前年度
	R02実績	10,337		☂ (低下)
	R03実績	8,624		☂ (低下)
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	21,000		■ ■ ■ (低)

指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講座、イベント等の事業中止や縮小があったほか、事業の見直し等による廃止もあったためと考える。

基本事業03 地域・学校との連携

指標	学校との連携事業数（累計）（事業）		生涯学習課	対基準値	指標値の注釈 計画期間累計ではなく、単年度集計とする。
				☔ (低下)	
指標の動き	後期基準値	96	(事業) 	対前年度	特記事項 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画はしていたのもの、事業の中止や次年度への延期が多くあったため実績数が伸び悩んでいる。
	R02実績	52		☁ (横ばい)	
	R03実績	54		■ (低)	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	100			

【政策】 2) ひとつづくり

10) 人権の尊重と男女共同参画の推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
－施策指標－	最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の相談件数(件)	4	12	19	☂	☂
－施策指標－	女性の就業割合(%)	44.57	44.57	46.96	☂	☂
人権教育の推進	人権教育 年間受講者数(人)	2,331	1,396	1,442	☂	☂
人権の擁護	各種人権侵害に対する措置件数(人)	0	0	0	☀	☀
男女共同参画の推進	「男女共同参画社会」の認知率(%)	58.1	84.1	83.5	☀	☂
男女共同参画の推進	審議会・委員会の女性登用率(%)	23.7	26.1	27.4	☀	☀
男女共同参画の推進	LGBTの認知率(%)	31.0	72.4	71.9	☀	☂

政策 02 ひとづくり

施策 10 人権の尊重と男女共同参画の推進

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民	すべての人の人権が、真に尊重されるまちです。

指標	最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の相談件数(件)		対基準値	指標値の注釈
	人権啓発課		☔ (低下)	
指標の動き	後期基準値	4		対前年度
	R02実績	12		☔ (低下)
	R03実績	19		☔ (低下)
	R04実績			目標達成度
	R05実績			■ ■ ■ (低)
	R06実績			
	R06目標値	0		
特記事項				
新型コロナウイルス感染症により急変する社会情勢を受け相談件数も増加したと思われる。次年度も対話を続けていきたい。				




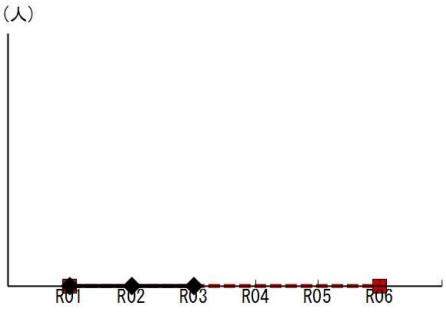


指標	女性の就業割合(%)		対基準値	指標値の注釈
	人権啓発課		☁ (横ばい)	
指標の動き	後期基準値	44.57		対前年度
	R02実績	44.57		☁ (横ばい)
	R03実績	46.96		☁ (横ばい)
	R04実績			目標達成度
	R05実績			■ ■ ■ (低)
	R06実績			
	R06目標値	50.00		
特記事項				
令和2年度国勢調査より、女性人口当たりの就業率。労働力人口における就業者は約98%と高い水準にある。共働き世帯の増加や、定年後の再任用の取得により、就業率も年々高まっている。				

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 人権教育の推進

指標	人権教育 年間受講者数(人)		人権啓発課	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	2,331		対前年度	特記事項 前年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により参加人数が減少。
	R02実績	1,396		☁ (横ばい)	
	R03実績	1,442		■ 目標達成度	
	R04実績			■ (低)	
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	2,500			

基本事業02 人権の擁護

指標	各種人権侵害に対する措置件数（人）		対基準値	 (向上)	指標値の注釈
	人権啓発課				
指標の動き	後期基準値	0	 (向上)	特記事項	
	R02実績	0			
	R03実績	0			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	0			 (向上)
			 (向上)	グラフは横ばい傾向に見取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。	
			 (達成)		

基本事業03 男女共同参画の推進

指標	「男女共同参画社会」の認知率 (%)		人権啓発課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	58.1 (%)		対前年度
	R02実績	84.1		☁ (横ばい)
	R03実績	83.5		☀ (向上)
	R04実績			☀ (向上)
	R05実績			☀ (向上)
	R06実績			☀ (向上)
	R06目標値	90.0		☀ (向上)

指標値の注釈
実績値の取得は隔年 (R2年度、R4年度、R6年度)

特記事項
実績値の取得方法を「男女共同参画社会の実現に向けた 市民・事業所アンケート」から「市民アンケート」に変更したため、実績値が大きく変動したと考える。前年度実績値に誤りがあったため、今年度実績値と誤差が生じている。

基本事業03 男女共同参画の推進

指標	審議会・委員会の女性登用率 (%)		人権啓発課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	23.7 (%)		対前年度
	R02実績	26.1		☀ (向上)
	R03実績	27.4		☀ (向上)
	R04実績			☀ (向上)
	R05実績			☀ (向上)
	R06実績			☀ (向上)
	R06目標値	35.0		☀ (向上)

指標値の注釈

特記事項
国が実施する「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査」回答数値。女性参画が市民の間でも次第に意識されはじめ、微増に繋がっている。

基本事業03 男女共同参画の推進

指標	LGBTの認知率 (%)		人権啓発課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	31.0 (%)		対前年度
	R02実績	72.4		☁ (横ばい)
	R03実績	71.9		☀ (向上)
	R04実績			☀ (向上)
	R05実績			☀ (向上)
	R06実績			☀ (向上)
	R06目標値	80.0		☀ (向上)

指標値の注釈
実績値の取得は隔年 (R2年度、R4年度、R6年度)

特記事項
実績値の取得方法を「男女共同参画社会の実現に向けた 市民・事業所アンケート」から「市民アンケート」に変更したため、実績値が大きく変動したと考える。前年度実績値に誤りがあったため、今年度実績値と誤差が生じている。

【政策】 2) ひとつづくり

11) スポーツの振興

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
一施策指標	西予市が維持管理するスポーツ施設の利用者数 (人)	136,433	57,301	139,298	☀	☀
スポーツ推進の基盤整備	スポーツ関連団体の登録者数(体協、統合型スポーツクラブ等) (人)	2,962	2,369	2,043	☂	☂
スポーツ機会の充実	市主催・補助・委託しているスポーツ講座・教室・大会の年間参加者数 (人)	30,235	12,736	1,511	☂	☂
競技スポーツの支援	全国大会出場者数 (人)	99	42	91	☁	☀
スポーツ施設の管理と利用促進	スポーツ施設における利用支障件数(維持管理上の不具合による) (件)	6	6	9	☂	☂

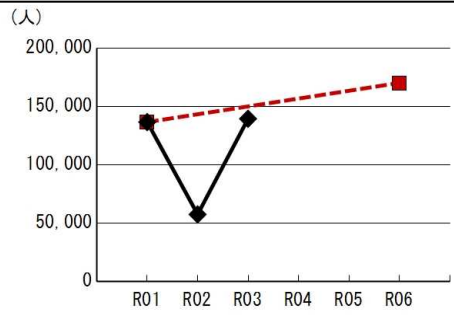
政策 02 ひとづくり

施策 11 スポーツの振興

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民、関係団体、スポーツ施設	市民の誰もがいつでも、どこでも、気軽にスポーツを楽しめる環境が整備されています。

指標	西予市が維持管理するスポーツ施設の利用者数(人)		対基準値 ☀ (向上)	指標値の注釈
	スポーツ・文化課			
指標の動き	後期基準値	136,433	対前年度 ☀ (向上)	特記事項 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少したが、令和3年度については定期利用団体等が感染対策を実施のうえ利用を再開されたため、利用者数が大幅に増加した。
	R02実績	57,301		
	R03実績	139,298		
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	170,000		



基本事業の成果状況と評価

基本事業01 スポーツ推進の基盤整備

指標	スポーツ関連団体の登録者数（体協、統合型スポーツクラブ等） （人）		スポーツ・文化課	対基準値	指標値の注釈
				☂ （低下）	
指標の動き	後期基準値	2,962		対前年度	特記事項 前年度のから326人減少した。新型コロナウイルス感染症拡大により活動が難しく減少傾向にある。
	R02実績	2,369		☂ （低下）	
	R03実績	2,043		☂ （低下）	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	3,600		■ （低）	

基本事業02 スポーツ機会の充実

指標	市主催・補助・委託しているスポーツ講座・教室・大会の年間参加者数(人)		対基準値	指標値の注釈
	スポーツ・文化課		☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	30,235 (人)		対前年度 ☂ (低下)
	R02実績	12,736		
	R03実績	1,511		
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	36,000		
			特記事項 新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、三密回避のため、施設利用やイベント等を中止した。利用者数が令和2年度より11,225人減少した。	

基本事業03 競技スポーツの支援

指標	全国大会出場者数（人）		対基準値	指標値の注釈	
	スポーツ・文化課		(横ばい)		
指標の動き	後期基準値	99 (人)		対前年度	
	R02実績	42			(向上)
	R03実績	91			目標達成度
	R04実績				■ (低)
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	120			

特記事項
 新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、中止となる大会は多くあったものの、全国大会出場者数は令和2年度と比べると49人増加した。

基本事業04 スポーツ施設の管理と利用促進

指標	スポーツ施設における利用支障件数（維持管理上の不具合による）（件）		スポーツ・文化課	対基準値 ☂ (低下)	指標値の注釈
	後期基準値	6		対前年度 ☂ (低下)	特記事項 全体的な経年劣化による、市内施設全体の老朽化が見られる。中長期の視点に立った計画的な修繕が必要。
指標の動き	R02実績	6		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	
	R03実績	9			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	0			

【政策】 2) ひとつづくり

12) 文化の振興

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
－施策指標－	文化施設・文化事業の入場者・参加者数（文化会館、資料館・美術館、公民館）（人）	113,369	56,448	47,865	☂	☂
－施策指標－	毀損・消滅した有形・無形文化財数（件）	0	0	0	☀	☀
文化財の保護	文化財保護件数（件）	235	235	236	☀	☀
文化施設の適正化と維持管理	文化施設の延床面積（施設統廃合）（㎡）	8,830	8,830	8,830	—	—
文化施設の適正化と維持管理	文化施設における利用支障件数（維持管理上の不具合による）（件）	1	2	1	☼	☀
特色ある文化施策の取組み	西予市に特徴的な文化財などを活かした事業の数（件）	4	4	4	☼	☼

政策 02 ひとづくり

施策 12 文化の振興

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民、文化財、文化施設

意図(どのような状態にしたいのか)
文化・文化財を守り活かす取り組みで、文化を楽しむ人が増え、まちの魅力が増えています。

指標	文化施設・文化事業の入場者・参加者数(文化会館、資料館・美術館、公民館)(人)		対基準値 ☂ (低下)
	スポーツ・文化課		
指標の動き	後期基準値	113,369 (人)	対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 ■ (低)
	R02実績	56,448	
	R03実績	47,865	
	R04実績		
	R05実績		
	R06実績		
	R06目標値	113,000	

指標値の注釈

特記事項
年間を通じて新型コロナウイルス感染症の流行に伴う施設の閉館や利用の自粛要請、イベントの中止等があったため、令和2年度と比較しても8,583人減少、前年度比15ポイント低下した。

指標	毀損・消滅した有形・無形文化財数(件)		対基準値 ☀ (向上)
	スポーツ・文化課		
指標の動き	後期基準値	0 (件)	対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)
	R02実績	0	
	R03実績	0	
	R04実績		
	R05実績		
	R06実績		
	R06目標値	0	

指標値の注釈

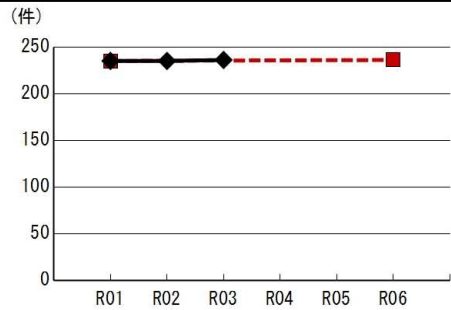
特記事項
グラフは横ばい傾向に見取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 文化財の保護

指標	文化財保護件数（件）		対基準値	指標値の注釈
			対前年度	
指標の動き			対前年度 (向上)	特記事項 指定文化財や茶堂、文化的景観の重要な構成要素の修理工事が実施され、文化財の保護と活用が図られた。文化財保存活用地域計画についても、協議会での議論を踏まえつつ作成が進んでいる。笠置峠古墳が愛媛県の史跡に指定されたため、文化財保護件数は後期目標値を達成した。
	後期基準値	235 (件)	目標達成度 (達成)	
	R02実績	235		
	R03実績	236		
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
R06目標値	236			

スポーツ・文化課



基本事業02 文化施設の適正化と維持管理

指標	文化施設の延床面積（施設統廃合）（㎡）		スポーツ・文化課	対基準値	指標値の注釈 指標の増減が成果と言えないため、比較不可。
	後期基準値	8,830		(比較不可)	
指標の動き	R02実績	8,830		対前年度	特記事項 変更なし。
	R03実績	8,830		(比較不可)	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			(---)	
	R06実績				
	R06目標値	8,830			

基本事業02 文化施設の適正化と維持管理

指標	文化施設における利用支障件数（維持管理上の不具合による）（件）		スポーツ・文化課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	1		(横ばい)	
指標の動き	R02実績	2		対前年度	特記事項 上水道の破裂による漏水が発生し、修繕を実施した。
	R03実績	1		(向上)	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			(低)	
	R06実績				
	R06目標値	0			

基本事業03 特色ある文化施策の取組み

指標	西予市に特徴的な文化財などを活かした事業の数（件）		対基準値	指標値の注釈
	スポーツ・文化課		(横ばい)	
指標の動き	後期基準値	4		対前年度
	R02実績	4		(横ばい)
	R03実績	4		目標達成度
	R04実績			■ ■ ■
	R05実績			(高)
	R06実績			
	R06目標値	5		
				特記事項
				重要文化的景観・宇和海狩浜の段畑と農漁村景観における整備事業として、春日神社や主屋、蔵等の修理事業の実施。卯之町重要伝統的建造物群保存地区における、修理修景事業などに取り組んだので、目標達成度は「高」と評価する。

【政策】 3) まちづくり

01) 持続可能な市域へのデザイン

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	都市マスタープラン進捗率 (%)	0	51.3	54.8	☘	☘
市街地整備及びコンパクトシティの推進	市街地居住人口割合 (%)	35.3	32.3	32.2	☘	☘
市街地整備及びコンパクトシティの推進	病院、買い物、行政手続への移動に困っている市民割合 (%)	15.1	15.1	15.1	—	—
市街地整備及びコンパクトシティの推進	地域交通（バス、デマンド等）の利用者数（人）	21,775	15,644	14,572	☂	☂
地域計画の策定によるまちづくり	地域づくり交付金（手上げ型）の活用をした地域づくり組織数 (%)	70.3	85.0	88.8	☀	☀
地域計画の策定によるまちづくり	地域づくり交付金（手上げ型）交付率 (%)	83.4	55.0	88.6	☀	☀
遊休資産の有効活用	遊休公共施設の利活用件数（件）	9	9	9	☘	☘
公園の維持管理	公園維持管理上の不具合等による支障件数（件）	1	1	7	☂	☂
国際化・地域間交流の推進	市の関与による国際交流・地域間交流者数（人）	62	0	27	☂	☀
国際化・地域間交流の推進	市内各所で雇用されている外国人の人数（八幡浜管内）（人）	479	499	433	☂	☂
市内高等学校の魅力化	市内高校生徒数（人）	510	477	448	☂	☂
大学連携の推進	大学と連携して実施した事務事業（件）	8	13	31	☀	☀

政策 03 まちづくり

施策 01 持続的な市域へのデザイン

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民

意図(どのような状態にしたいのか)
豊かな風土を育むまち目指し、まちづくりを進めます。

指標	都市マスタープラン進捗率 (%)		建設課	対基準値 ☁ (横ばい)	指標値の注釈
	後期基準値	0		対前年度 ☁ (横ばい)	特記事項 西子市マスタープランに則り、野村地区用途地域変更を推進した。
指標の動き	R02実績	51.3		目標達成度 ■ (中)	
	R03実績	54.8			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	80.0			

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市街地整備及びコンパクトシティの推進

指標	市街地居住人口割合（％）		建設課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	35.3		対前年度
	R02実績	32.3		(横ばい)
	R03実績	32.2		目標達成度
	R04実績			(低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	36.0		

指標値の注釈

特記事項
立地適正化計画を周知し居住誘導区域内への移転を推進する。

基本事業01 市街地整備及びコンパクトシティの推進

指標	病院、買い物、行政手続への移動に困っている市民割合（％）		まちづくり推進課	対基準値
				(比較不可)
指標の動き	後期基準値	15.1		対前年度
	R02実績	15.1		(比較不可)
	R03実績	15.1		目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	13.0		

指標値の注釈
実績値の取得は隔年（R2年度、R4年度、R6年度）

特記事項

基本事業01 市街地整備及びコンパクトシティの推進

指標	地域交通（バス、デマンド等）の利用者数（人）		まちづくり推進課	対基準値
				(低下)
指標の動き	後期基準値	21,775		対前年度
	R02実績	15,644		(低下)
	R03実績	14,572		目標達成度
	R04実績			(低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	29,000		

指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症拡大による影響で令和2年度に利用者が大きく減少し、その後も影響が続いている。令和3年度は、利用者が増加した路線もある一方で、全体的に微減状況にある。

基本事業02 地域計画の策定によるまちづくり

指標	地域づくり交付金（手上げ型）の活用をした地域づくり組織数（%）		まちづくり推進課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	70.3		対前年度
	R02実績	85.0		☀ (向上)
	R03実績	88.8		☀ (向上)
	R04実績			目標達成度
	R05実績			■■■ (高)
	R06実績			
	R06目標値	100		

指標値の注釈

特記事項
令和2年度と比較すると、申請団体は増加し、地域づくり活動への主体的な取組割合が高まっている。

基本事業02 地域計画の策定によるまちづくり

指標	地域づくり交付金（手上げ型）交付率（%）		まちづくり推進課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	83.4		対前年度
	R02実績	55.0		☀ (向上)
	R03実績	88.6		目標達成度
	R04実績			■■■ (中)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	100		

指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業の一部内容に規模縮小・変更等が生じた。

基本事業03 遊休資産の有効活用

指標	遊休公共施設の利活用件数（件）		政策推進課	対基準値 ☁ (横ばい)	指標値の注釈
	後期基準値	9		対前年度 ☁ (横ばい)	
指標の動き	R02実績	9		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	特記事項 現在、廃校の校舎も含めて、公共施設の個別施設計画の作成にとりかかっており、問い合わせに対して、市の方向性を説明するに留まり、横ばいとなっている。
	R03実績	9			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	15			

基本事業04 公園の維持管理

指標	公園維持管理上の不具合等による支障件数（件）		建設課	対基準値 ☂ (低下)	指標値の注釈
	後期基準値	1	(件)	対前年度 ☂ (低下)	特記事項 通常の維持管理（樹木剪定・トイレ清掃・遊具等検査）以外の突発的事案に対応。令和3年度は、合計7件 宇和2件、野村3件、三瓶2件。
指標の動き	R02実績	1		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	
	R03実績	7			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	0			

基本事業05 国際化・地域間交流の推進

指標	市の関与による国際交流・地域間交流者数（人）		経済振興課	対基準値
				☂ (低下)
指標の動き	後期基準値	62		対前年度
	R02実績	0		☀ (向上)
	R03実績	27		■ 目標達成度
	R04実績			■ (低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	72		

指標値の注釈

特記事項
令和3年度より国際交流事業において外国人向け日本語教室を実施したことにより、国際交流人口が増となったが、地域間交流は行えなかった。

基本事業05 国際化・地域間交流の推進

指標	市内各所で雇用されている外国人の人数（八幡浜管内）（人）		経済振興課	対基準値
				☂ (低下)
指標の動き	後期基準値	479		対前年度
	R02実績	499		☂ (低下)
	R03実績	433		■ 目標達成度
	R04実績			■ (低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	515		

指標値の注釈

特記事項
八幡浜管内の外国人労働者数は減少に転じた。（県全体では8年ぶりに減少）引き続き、市内在住の外国人への支援や交流活動を継続していきたい。

基本事業06 市内高等学校の魅力化

指標	市内高校生徒数（人）		まちづくり推進課	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	510		対前年度	特記事項 人口減少に伴い、市内高校生徒数も減少している。
	R02実績	477		☂ (低下)	
	R03実績	448		☂ (低下)	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	430		🏰 (達成)	

基本事業07 大学連携の推進

指標	大学と連携して実施した事務事業（件）		政策推進課	対基準値 ☀ (向上)	指標値の注釈
	後期基準値	8		対前年度 ☀ (向上)	特記事項 愛媛大学、高知大学、大阪大学、東北学院大学、松山東雲短期大学などと連携して事業を行った。実績値向上の原因としては、各課がそれぞれの事務事業の推進を行ったことが考えられる。
指標の動き	R02実績	13		目標達成度 🏠 (達成)	
	R03実績	31			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	13			

【政策】 3) まちづくり

2) 市民協働の推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
- 施策指標 -	自助共助の意識が維持若しくは、向上していると感じる市民割合 (%)	73.8	73.8	73.8	—	—
コミュニティ施設の管理・再編	コミュニティ施設（集会所）の大規模改修、新設件数（件）	1	0	1	—	—
支所・公民館機能の再編	地域づくり活動センターへの移行件数（件）	0	0	0	☘	☘
地域主導の地域づくり	自治会加入率 (%)	99	90	90	☂	☘
市民活動の活性化	NPO法人団体数（団体）	8	8	8	☘	☘

政策 03 まちづくり

施策 02 市民協働の推進

施策の目的と成果状況

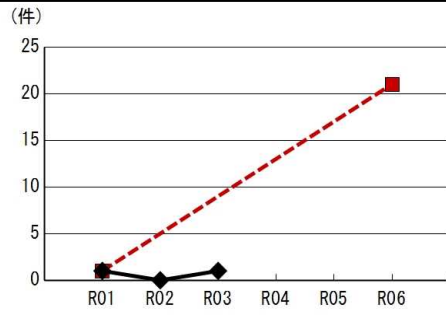
対象(誰、何を対象としているか)	市民、地域住民	意図(どのような状態にしたいのか)	地域が抱える様々な課題について、地域住民が自発的かつ主体的に課題解決に取り組んでいます。
------------------	---------	-------------------	--

指標	自助共助の意識が維持若しくは、向上していると感じる市民割合 (%)		まちづくり推進課	対基準値	指標値の注釈 実績値の取得は隔年(R2年度、R4年度、R6年度)	
	後期基準値	73.8		(比較不可)		
指標の動き	R02実績	73.8		対前年度	特記事項	
	R03実績	73.8		(比較不可)		
	R04実績					
	R05実績					
	R06実績					
	R06目標値	80.0		目標達成度		(---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 コミュニティ施設の管理・再編

指標	コミュニティ施設（集会所）の大規模改修、新設件数（件）		対基準値	指標値の注釈
	まちづくり推進課			
指標の動き	後期基準値	1 (件)	(比較不可)	特記事項 コミュニティセンター助成事業により、郷内公会堂を建設（新築建替え）した。多様化する自治会活動や運営の円滑化が可能になった。
	R02実績	0	対前年度	
	R03実績	1	(比較不可)	
	R04実績		目標達成度	
	R05実績		(---)	
	R06実績			
	R06目標値	21		



基本事業02 支所・公民館機能の再編

指標	地域づくり活動センターへの移行件数（件）		まちづくり推進課	対基準値 ☺ (横ばい)	指標値の注釈
	後期基準値	0		対前年度 ☺ (横ばい)	特記事項 令和5年4月よりセンター運用開始となるため実績値は昨年度と同様。
指標の動き	R02実績	0		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	
	R03実績	0			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	27			

基本事業03 地域主導の地域づくり

指標	自治会加入率（％）		まちづくり推進課	対基準値	指標値の注釈
				☔ (低下)	
指標の動き	後期基準値	99		対前年度	特記事項 令和2年度の実績値については、これまでの算定根拠が不明であったことから、急遽、集会施設の利用調査に付随した形で各区長へ自治会加入世帯調査を行い把握した。しかし、当調査は毎年度実施するものではないため、令和3年度以降の実績値については、世帯数における広報配布率で算定することとする。
	R02実績	90		☁ (横ばい)	
	R03実績	90		■ 目標達成度	
	R04実績			■ (低)	
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	100			

基本事業04 市民活動の活性化

指標	NPO法人団体数(団体)		まちづくり推進課	対基準値 ☁ (横ばい)	指標値の注釈
	後期基準値	8	(団体)	対前年度 ☁ (横ばい)	特記事項 近年、市民の協働による活動の法人化は特定地域づくり事業協同組合制度や労働者協同組合法が整備されるなど多様化しており、NPO法人の申請件数は横ばいの状態である。
指標の動き	R02実績	8		目標達成度 🏰 (達成)	
	R03実績	8			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	8			

【政策】 3) まちづくり

3) 防災・減災対策の推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
－施策指標－	市民レベルでの防災・減災体制ができていると思う市民の割合 (%)	-	-	-	—	—
地域防災力の強化	地域での防災訓練及び講習会参加者数 (人)	5,362	2,775	1,176	☂	☂
地域防災力の強化	自主防災組織の訓練実施率 (%)	55.2	28.4	22.4	☂	☂
地域防災力の強化	土砂崩れ等の危険地区での対策箇所数 (箇所)	426	439	441	☀	☀
防災情報システムの整備	防災行政無線戸別受信機の設置率 (%)	76.2	75.9	76.6	☀	☀
空き家の安全管理	特定空き家件数 (件)	0	1	6	—	—

政策 03 まちづくり

施策 03 防災・減災対策の推進

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	市民	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が高い危機意識を持ち、安心・安全な生活を送っています。
------------------	----	-------------------	-------------------------------

指標	市民レベルでの防災・減災体制ができていると思う市民の割合 (%)		危機管理課	対基準値	指標値の注釈 実績値の取得は隔年 (R4年度、R6年度)
	後期基準値			(比較不可)	
指標の動き	R02実績			対前年度	特記事項 成果指標の変更を行ったため、比較不可とする。
	R03実績			(比較不可)	
	R04実績			(比較不可)	
	R05実績			目標達成度	
	R06実績			(---)	
	R06目標値	60.0			

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域防災力の強化

指標	地域での防災訓練及び講習会参加者数（人）		危機管理課	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	5,362		対前年度	特記事項 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、地域（自主防災組織）における防災訓練及び防災講話等が中止、縮小されたことによる。大きなものとして、野村地区避難訓練の住民参加を見送ったことにより大幅な減少となっている。
	R02実績	2,775		☂ (低下)	
	R03実績	1,176		☂ (低下)	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			■ (低)	
	R06実績				
	R06目標値	12,000			

基本事業01 地域防災力の強化

指標	自主防災組織の訓練実施率（％）		危機管理課	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	55.2		対前年度	特記事項 新型コロナウイルス感染拡大により、例年訓練を実施している組織において、中止等がされたことによる。
	R02実績	28.4		☂ (低下)	
	R03実績	22.4		☂ (低下)	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			■ (低)	
	R06実績				
	R06目標値	100			

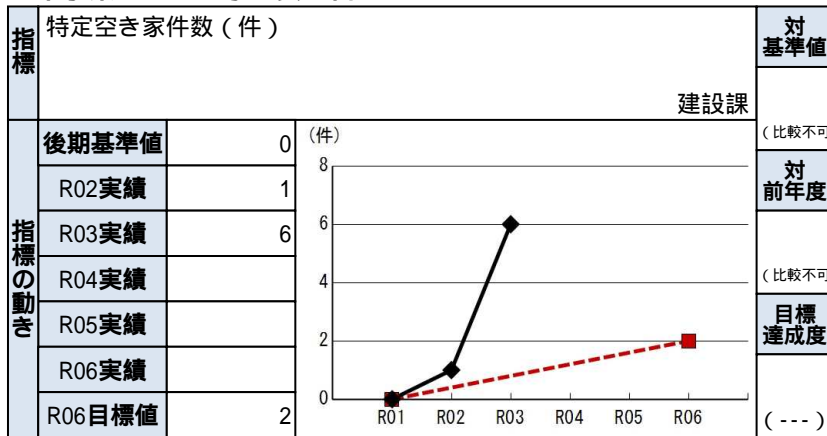
基本事業01 地域防災力の強化

指標	土砂崩れ等の危険地区での対策箇所数（箇所）		建設課	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	426		対前年度	特記事項 災害関連での工事が完了したため。
	R02実績	439		☀ (向上)	
	R03実績	441		☀ (向上)	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			☀ (達成)	
	R06実績				
	R06目標値	435			

基本事業02 防災情報システムの整備

指標	防災行政無線戸別受信機の設置率 (%)		危機管理課	対基準値 ☀ (向上)	指標値の注釈
	後期基準値	76.2		対前年度 ☀ (向上)	特記事項 防災行政無線デジタル整備事業が完了したことに伴い、若干の増加あり。
指標の動き	R02実績	75.9		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	
	R03実績	76.6			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	100			

基本事業03 空き家の安全管理



指標値の注釈
 指標の増減が成果と言えないため、比較不可。

特記事項
 これまでの方針を転換し、法的指導と市の責任を果たすため特定空き家等の認定を積極的に行うこととし、追加で6件の認定を行った。そのうち1件については、略式代執行により解決した。

【政策】 3) まちづくり

4) 交通安全・防犯対策の推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	交通事故発生件数 (件)	41	35	29	☀	☀
交通安全対策の推進	市民が第 1 当事者となった交通事故発生件数 (件)	27	21	20	☀	☀
交通安全対策の推進	高齢者が関与した交通事故件数 (件)	23	26	12	☀	☀
交通安全対策の推進	カーブミラー等の交通安全施設整備件数 (件)	67	52	55	☂	☀
防犯対策の推進	防犯灯等の防犯施設の設置・整備件数 (件)	131	168	156	☀	☂
防犯対策の推進	防犯カメラ等の防犯施設の設置・整備件数 (件)	3	2	1	☂	☂
被害にあわない・被害を軽減する取組みの推進	消費者トラブルに対する対策を知っている市民割合 (%)	55.5	55.5	55.5	—	—

政策 03 まちづくり

施策 04 交通安全・防犯対策の推進

施策の目的と成果状況

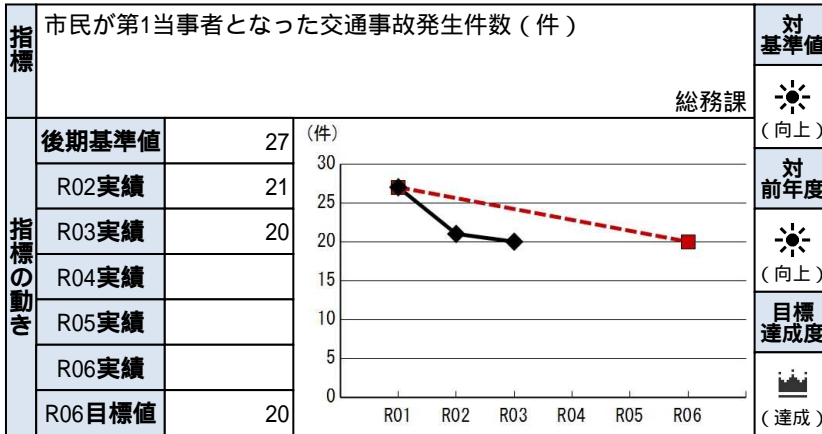
対象(誰、何を対象としているか)
市民、交通安全設備、防犯設備

意図(どのような状態にしたいのか)
交通安全意識や防犯意識が高く、交通事故や犯罪被害が少ない暮らしやすいまちになっています。

指標	交通事故発生件数(件)		総務課	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	41		対前年度	特記事項 西予交通安全協会が取りまとめる令和3年交通事故白書に基づく人身事故の実績値減少。傷者は前年比-9人と発生件数及び傷者数は減少しているが、1名が交通事故により死亡されている。人・自転車対車両の事故より、車両相互の事故が多い。
	R02実績	35		☀ (向上)	
	R03実績	29		☀ (向上)	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			🏰 (達成)	
	R06実績				
	R06目標値	30			

基本事業の成果状況と評価

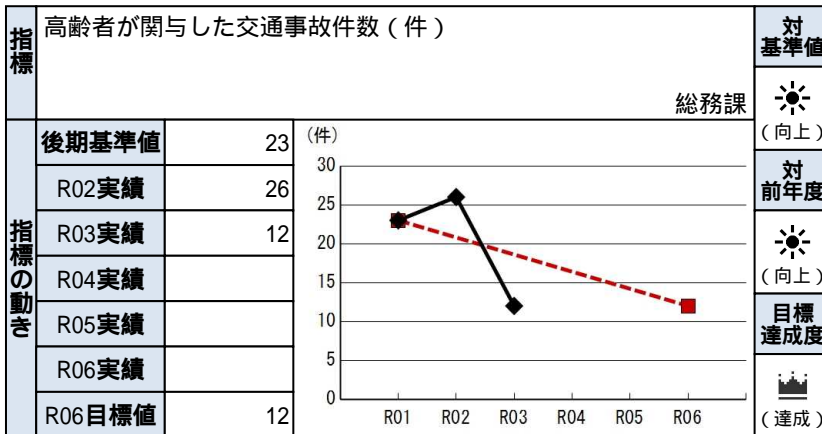
基本事業01 交通安全対策の推進



指標値の注釈

特記事項
西予交通安全協会が取りまとめる令和3年交通事故白書に基づく数値。事故件数29件のうち、市民が第1当事者となった事故数は20件で、昨年度よりも減少した。

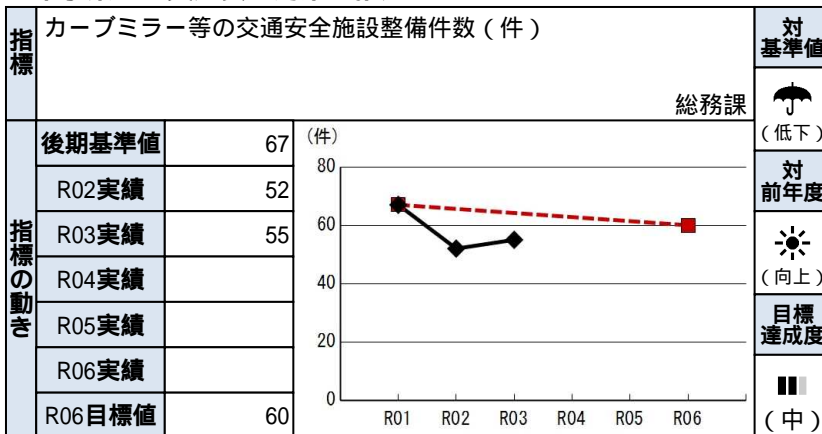
基本事業01 交通安全対策の推進



指標値の注釈

特記事項
令和3年交通事故白書に基づく実績値。高齢者が関与した交通事故件数は29件中12件と大幅に減少。人×車4件、自転車×車2件、車×車5件、車両単独1件となっている。

基本事業01 交通安全対策の推進



指標値の注釈

特記事項
原材料支給 55件
修繕 4件
予算の範囲内で対応しており、予算減少及び原材料費高騰による単価の増加により、実績値が微増。

基本事業02 防犯対策の推進

指標	防犯灯等の防犯施設の設置・整備件数（件）		総務課	対基準値	指標値の注釈
				☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	131		対前年度	特記事項 新設 30灯 LED灯への交換 126灯 昨年度より実績数は減少したが、防犯灯のLED化は進んでいる。
	R02実績	168		☔️ (低下)	
	R03実績	156		🏠 (達成)	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	120			

基本事業02 防犯対策の推進

指標	防犯カメラ等の防犯施設の設置・整備件数（件）		総務課	対基準値	指標値の注釈
				☔️ (低下)	
指標の動き	後期基準値	3		対前年度	特記事項 新設 1基 1基取替あり。市内18か所に設置されている。予算の範囲内で新設のほか、既存の取替修繕を行なっているため、実績数は減。
	R02実績	2		☔️ (低下)	
	R03実績	1		🏠 (達成)	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	2			

基本事業03 被害にあわない・被害を軽減する取組みの推進

指標	消費者トラブルに対する対策を知っている市民割合 (%)		総務課	対基準値	指標値の注釈 実績値の取得は隔年 (R2年度、R4年度、R6年度)
	後期基準値	55.5		(比較不可)	
指標の動き	R02実績	55.5	<p>(比較不可)</p>	対前年度	特記事項
	R03実績	55.5		(比較不可)	
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	60.0		目標達成度	
				(---)	

【政策】 3) まちづくり

5) 道路・橋梁整備と維持管理

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	幹線道路に満足している市民の割合 (%)	70.0	70.0	70.0	—	—
-施策指標-	生活道路に満足している市民の割合 (%)	63.3	63.3	63.3	—	—
道路の整備と維持管理	道路整備・改良された延長距離 (計画期間累計) (m)	0	36	643	☀	☀
道路の整備と維持管理	道路管理の瑕疵により損害賠償 の対象となった件数 (件)	0	1	2	☂	☂
道路の整備と維持管理	道路点検の判定区分で緊急措置 段階 (IV) の件数 (件)	0	0	0	☀	☀
橋梁の整備と維持管理	橋梁整備・改良された延長距離 (計画期間累計) (m)	0	68	67	☘	☘
橋梁の整備と維持管理	橋梁管理の瑕疵により損害賠償 の対象となった件数 (件)	0	0	0	☀	☀
橋梁の整備と維持管理	橋梁点検の判定区分で緊急措置 段階 (IV) の件数 (件)	0	0	0	☀	☀

政策 03 まちづくり

施策 05 道路・橋梁整備と維持管理

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民

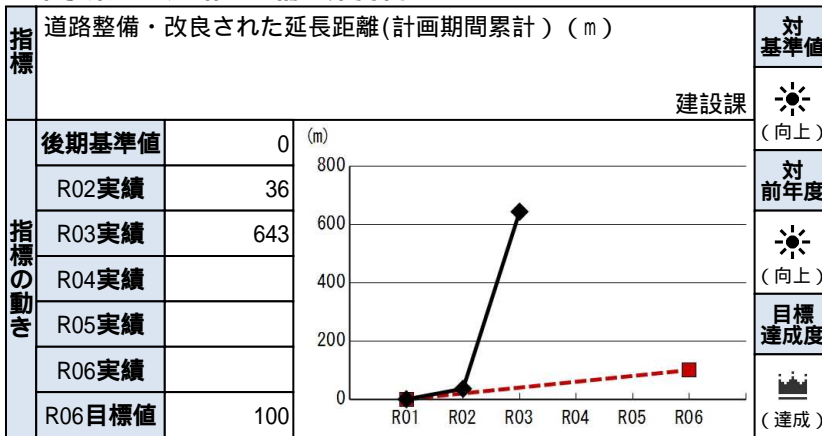
意図(どのような状態にしたいのか)
インフラの維持管理を通して地域住民が安心安全な生活を送っています。

指標	幹線道路に満足している市民の割合 (%)		建設課	対基準値	指標値の注釈
				(比較不可)	
指標の動き	後期基準値	70.0		対前年度	特記事項
	R02実績	70.0		(比較不可)	
	R03実績	70.0		(比較不可)	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			(---)	
	R06実績				
	R06目標値	72.0			

指標	生活道路に満足している市民の割合 (%)		建設課	対基準値	指標値の注釈
				(比較不可)	
指標の動き	後期基準値	63.3		対前年度	特記事項
	R02実績	63.3		(比較不可)	
	R03実績	63.3		(比較不可)	
	R04実績			目標達成度	
	R05実績			(---)	
	R06実績				
	R06目標値	65.0			

基本事業の成果状況と評価

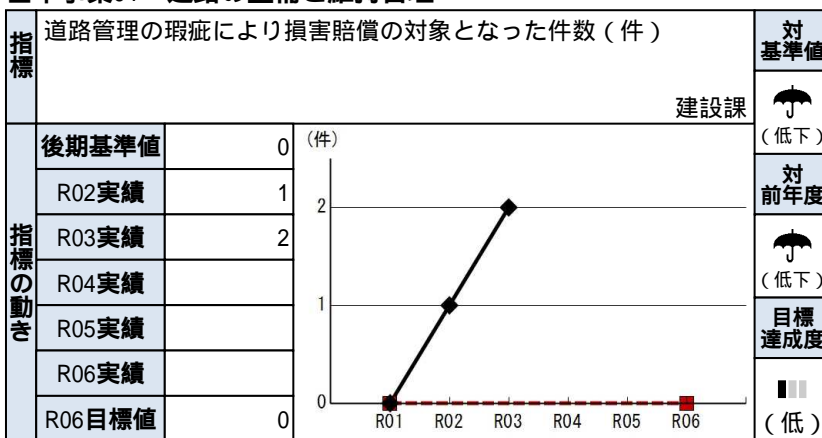
基本事業01 道路の整備と維持管理



指標値の注釈

特記事項
平成30年7月豪雨災害の影響により、改良事業の中止・中断されていた路線が再開されたため、進捗が図られた。

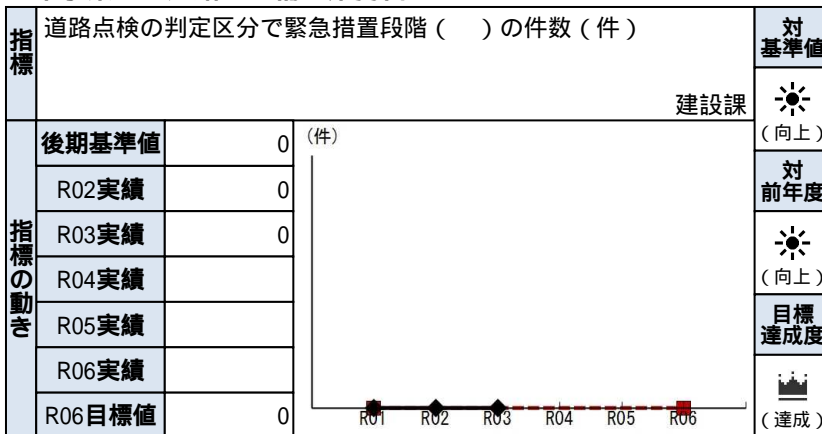
基本事業01 道路の整備と維持管理



指標値の注釈

特記事項
道路管理の瑕疵により、損害賠償の対象となった案件が2件発生した。安全が前提である道路の維持管理において事故が発生したため、道路管理としての目標達成度は(低)とする。

基本事業01 道路の整備と維持管理



指標値の注釈

特記事項
グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業02 橋梁の整備と維持管理

指標	橋梁整備・改良された延長距離(計画期間累計) (m)		建設課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	0		対前年度
	R02実績	68		(横ばい)
	R03実績	67		目標達成度
	R04実績			■
	R05実績			(中)
	R06実績			
	R06目標値	100		

指標値の注釈

特記事項
H30災害関連工事による土木業者の手持ち工事が減らず、発注量の調整を余儀なくされているため、昨年度同様の進捗となっている。

基本事業02 橋梁の整備と維持管理

指標	橋梁管理の瑕疵により損害賠償の対象となった件数 (件)		建設課	対基準値
				(向上)
指標の動き	後期基準値	0		対前年度
	R02実績	0		(向上)
	R03実績	0		目標達成度
	R04実績			■
	R05実績			(達成)
	R06実績			
	R06目標値	0		

指標値の注釈

特記事項
グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業02 橋梁の整備と維持管理

指標	橋梁点検の判定区分で緊急措置段階 () の件数 (件)		建設課	対基準値
				(向上)
指標の動き	後期基準値	0		対前年度
	R02実績	0		(向上)
	R03実績	0		目標達成度
	R04実績			■
	R05実績			(達成)
	R06実績			
	R06目標値	0		

指標値の注釈

特記事項
グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

【政策】 3) まちづくり

6) 水道水の安定供給

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
一施策指標一	水道水が常に安心・安全に使えると思う市民の割合 (%)	91.2	91.2	91.2	一	一
水道施設の整備・更新	管路の耐震化率 (%)	19.6	19.7	19.8	☘	☘
水道施設の整備・更新	浄水場の施設維持管理上の不具合件数 (件)	58	89	42	☀	☀
安定した上水道経営の推進	経常収支比率(一般会計基準外繰入金を除く。) (%)	99.76	103.34	100.01	☀	☂
安定した上水道経営の推進	料金収納率 (%)	99.10	99.17	99.18	☘	☘
安定した上水道経営の推進	簡易水道の統合化割合 (%)	0	0	0	☘	☘
水質の保全	水道水の水質検査において、基準値を上回った件数 (%)	0	0	0	☀	☀

政策 03 まちづくり

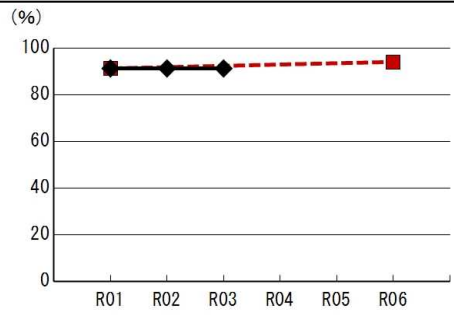
施策 06 水道水の安定供給

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民

意図(どのような状態にしたいのか)
持続的に安定した水道水を供給します。

指標	水道水が常に安心・安全に使えると思う市民の割合(%)		対基準値	指標値の注釈	
	上下水道課			実績値の取得は隔年(R2年度、R4年度、R6年度)	
指標の動き	後期基準値	91.2	対前年度	特記事項	
	R02実績	91.2			
	R03実績	91.2			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	94.0			



基本事業の成果状況と評価

基本事業01 水道施設の整備・更新

指標	管路の耐震化率（％）		上下水道課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	19.6		対前年度
	R02実績	19.7		(横ばい)
	R03実績	19.8		目標達成度
	R04実績			■
	R05実績			(中)
	R06実績			
	R06目標値	20.0		

指標値の注釈

特記事項
基幹管路の耐震化率が若干向上したものの、目標達成には至っていない。今後も継続して管路の更新を図っていく必要がある。

基本事業01 水道施設の整備・更新

指標	浄水場の施設維持管理上の不具合件数（件）		上下水道課	対基準値
				(向上)
指標の動き	後期基準値	58		対前年度
	R02実績	89		(向上)
	R03実績	42		目標達成度
	R04実績			■
	R05実績			(中)
	R06実績			
	R06目標値	30		

指標値の注釈

特記事項
前年度と比較すると不具合件数が減少したものの、目標達成には至っていない。順次劣化した機器の更新を図っていく必要がある。

基本事業02 安定した上水道経営の推進

指標	経常収支比率（一般会計基準外繰入金を除く。）（％）		上下水道課	対基準値
				☀️ (向上)
指標の動き	後期基準値	99.76		対前年度
	R02実績	103.34		☔️ (低下)
	R03実績	100.01		🏠 目標達成度
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	100		🏠 (達成)

指標値の注釈

特記事項
給水収益が微増となった一方で、営業費用のうち動力費、修繕費及び委託料等が大幅に増額となったことから、経常収支が前年度と比較して21,061,777円減額したことにより、経常収支比率が低下した。

基本事業02 安定した上水道経営の推進

指標	料金収納率（％）		上下水道課	対基準値
				☁️ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	99.10		対前年度
	R02実績	99.17		☁️ (横ばい)
	R03実績	99.18		🏠 目標達成度
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	100		🏠 (低)

指標値の注釈

特記事項
調定額618,815,281円に対して収納額613,738,736円であり収納率99.18%と前年度に対して0.01ポイント向上したものの、今後も目標達成に向けて収納額を増加させる必要がある。




基本事業02 安定した上水道経営の推進

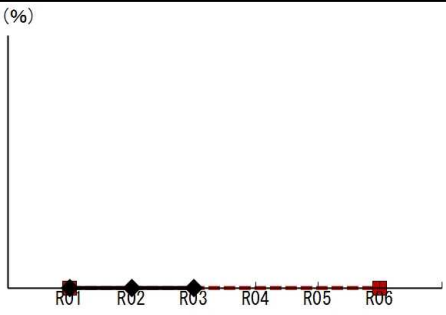
指標	簡易水道の統合化割合（％）		上下水道課	対基準値
				☁️ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	0		対前年度
	R02実績	0		☁️ (横ばい)
	R03実績	0		🏠 目標達成度
	R04実績			
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	5.3		🏠 (低)

指標値の注釈

特記事項
平成26年度に上水道事業と一部の簡易水道事業について経営統合したが、簡易水道施設の多くが広範囲に点在し、また、老朽化による改修等の負担を懸念している一方で、高齢化と人口減少により施設の維持管理が困難になっていることから上水道への統合を目指す。

基本事業03 水質の保全

指標	水道水の水質検査において、基準値を上回った件数 (%)		対基準値	 (向上)	指標値の注釈
	上下水道課		対前年度		
指標の動き	後期基準値	0 (%)	 (向上)	目標達成度  (達成)	特記事項 グラフは横ばい傾向に見取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。
	R02実績	0			
	R03実績	0			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	0			



【政策】 3) まちづくり

7) 汚水処理の推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
- 施策指標 -	汚水処理人口普及率 (%)	60.4	63.1	63.5	☀	☀
汚水処理施設・管渠の維持管理	汚水処理施設・管渠の維持管理上のトラブル件数 (件)	108	138	120	☂	☀
汚水処理施設・管渠の維持管理	処理後の水質が計画放流水質基準を超えた日数 (日)	13	23	3	☀	☀
安定した下水道経営の推進	一般会計からの基準外繰入金(収益的収支) (千円)	44,248	105,749	49,642	☂	☀
安定した下水道経営の推進	経費回収率 (%)	78.1	65.8	76.9	☂	☀
汚水処理施設への接続促進	公共下水道水洗化率 (%)	61.5	55.9	58.5	☂	☀
汚水処理施設への接続促進	農業集落排水接続率 (%)	82.8	83.8	84.5	☀	☀
汚水処理施設への接続促進	合併浄化槽設置世帯数 (累計) (件)	2,065	2,061	2,050	☂	☂

政策 03 まちづくり

施策 07 汚水処理の推進

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民

意図(どのような状態にしたいのか)
快適で衛生的な生活環境の確保と、本市の恵まれた水資源を後世に引き継ぐため、公共用水域の水質保全・向上を図ります。

指標	汚水処理人口普及率(%)		上下水道課	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	60.4		対前年度	特記事項 公共下水道事業の接続推進や、合併処理浄化槽の普及が伸びていることから、汚水処理人口普及率が0.4ポイント上昇した。
	R02実績	63.1		☀ (向上)	
	R03実績	63.5		☀ (向上)	
	R04実績			■ (低)	
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	74.2			

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 汚水処理施設・管渠の維持管理

指標	汚水処理施設・管渠の維持管理上のトラブル件数（件）		上下水道課	対基準値	指標値の注釈
				☔ (低下)	
指標の動き	後期基準値	108		対前年度	特記事項
	R02実績	138		☀ (向上)	
	R03実績	120		☀ (向上)	
	R04実績			☀ (向上)	
	R05実績			☀ (向上)	
	R06実績			☀ (向上)	
	R06目標値	100		☀ (向上)	
				目標達成度	耐用年数が過ぎた機器類の定期的な更新にかかる修繕を計画的に実施した。
				☐☐☐ (低)	

基本事業01 汚水処理施設・管渠の維持管理

指標	処理後の水質が計画放流水質基準を超えた日数（日）		上下水道課	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	13		対前年度	特記事項
	R02実績	23		☀ (向上)	
	R03実績	3		☀ (向上)	
	R04実績			☀ (向上)	
	R05実績			☀ (向上)	
	R06実績			☀ (向上)	
	R06目標値	0		☀ (向上)	
				目標達成度	機器の不具合もなく、基準を超えた日数が減少した。
				☐☐☐ (高)	

基本事業02 安定した下水道経営の推進

指標	一般会計からの基準外繰入金（収益的収支）（千円）		上下水道課	対基準値
				☔ (低下)
指標の動き	後期基準値	44,248		対前年度
	R02実績	105,749		☀ (向上)
	R03実績	49,642		☀ (向上)
	R04実績			■ 目標達成度
	R05実績			■ (低)
	R06実績			
	R06目標値	44,000		

指標値の注釈

特記事項
令和3年度は公共下水道事業の基準外繰入金の見直しを行ったこと等により、一般会計からの基準外繰入金（収益的収支）が対前年度比56,107千円減額となった。

基本事業02 安定した下水道経営の推進

指標	経費回収率（％）		上下水道課	対基準値
				☔ (低下)
指標の動き	後期基準値	78.1		対前年度
	R02実績	65.8		☀ (向上)
	R03実績	76.9		☀ (向上)
	R04実績			■ 目標達成度
	R05実績			■ (低)
	R06実績			
	R06目標値	85.0		

指標値の注釈

特記事項
修繕費や委託料等が減少し汚水処理費が少なくなったことから、経費回収率は11.1ポイント向上した。

基本事業03 汚水処理施設への接続促進

指標	公共下水道水洗化率(%)		上下水道課	対基準値
				☔ (低下)
指標の動き	後期基準値	61.5 (%)		対前年度
	R02実績	55.9		☀ (向上)
	R03実績	58.5		目標達成度
	R04実績			■ (低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	67.0		

指標値の注釈

特記事項
宇和処理区における整備済み区域において接続件数が増加したことにより、2.6ポイント増加した。

基本事業03 汚水処理施設への接続促進

指標	農業集落排水接続率(%)		上下水道課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	82.8 (%)		対前年度
	R02実績	83.8		☀ (向上)
	R03実績	84.5		目標達成度
	R04実績			■ (高)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	85.0		

指標値の注釈

特記事項
処理区域内における賃貸住宅の増加等により、農業集落排水の接続率が向上した。

基本事業03 汚水処理施設への接続促進

指標	合併浄化槽設置世帯数(累計)(件)		上下水道課	対基準値
				☔ (低下)
指標の動き	後期基準値	2,065 (件)		対前年度
	R02実績	2,061		☔ (低下)
	R03実績	2,050		目標達成度
	R04実績			■ (低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	2,600		

指標値の注釈
計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項
新築や増改築に伴う合併浄化槽から公共下水道への切替が増加したため、合併浄化槽設置世帯数が減少した。

【政策】 3) まちづくり

8) 自然環境・生活環境の保全

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
－施策指標－	最終処分量 (トン)	220	254	224	☂	☀
－施策指標－	生活環境・公害に関する苦情・トラブル件数 (件)	45	37	20	☀	☀
－施策指標－	自然環境に関する満足度 (%)	91.1	91.1	91.1	—	—
適正な廃棄物処理	市民一人当たりの廃棄物処理費用(収集含む) (円)	13,446	13,348	13,975	☂	☂
適正な廃棄物処理	運搬・処理に係る事故・施設トラブル件数 (件)	2	1	1	☂	☂
適正な廃棄物処理	市民一人当たりのごみ収集費用 (円)	5,653	5,657	5,587	☂	☂
減量化・資源化の推進	市民一人当たりのごみの排出量 (1日当たり) (グラム)	716	735	753	☂	☂
減量化・資源化の推進	リサイクル率 (%)	23	24	23	☂	☂
生活環境の改善	生活環境に関する苦情件数(含む不法投棄) (件)	37	30	30	☀	☂
生活環境の改善	公害での指導件数(産業廃棄物含む) (件)	8	14	6	☀	☀
自然への負荷低減	公共施設における再生可能エネルギーによる発電総量 (MWh)	177.82	192.17	158.50	☂	☂
自然への負荷低減	公共施設における温室効果ガス(CO2) 排出量 (トン)	11,393	11,573	10,599	☀	☀
生物多様性の保全・推進	ツル・コウノトリの飛来数 (羽)	91	51	62	☂	☀

政策 03 まちづくり

施策 08 自然環境・生活環境の保全

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民	豊かな自然環境の中で、快適な日常生活を送っています。

指標	最終処分量(トン)	環境衛生課	対基準値	☔ (低下)	指標値の注釈	
指標の動き	後期基準値	220		対前年度	☀️ (向上) 目標達成度 ■ (低)	特記事項 新型コロナウイルス感染症による影響は減少傾向。
	R02実績	254		☀️ (向上)		
	R03実績	224		☀️ (向上)		
	R04実績			☀️ (向上)		
	R05実績			☀️ (向上)		
	R06実績			☀️ (向上)		
	R06目標値	200		☀️ (向上)		

指標	生活環境・公害に関する苦情・トラブル件数(件)	環境衛生課	対基準値	☀️ (向上)	指標値の注釈	
指標の動き	後期基準値	45		対前年度	☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)	特記事項 市民の環境意識が高まったことによる生活環境の改善により、前年度よりも苦情件数は減少している。
	R02実績	37		☀️ (向上)		
	R03実績	20		☀️ (向上)		
	R04実績			☀️ (向上)		
	R05実績			☀️ (向上)		
	R06実績			☀️ (向上)		
	R06目標値	24		☀️ (向上)		

指標	自然環境に関する満足度(%)	環境衛生課	対基準値	(比較不可)	指標値の注釈
指標の動き	後期基準値	91.1		対前年度	実績値の取得は隔年(R2年度、R4年度、R6年度)
	R02実績	91.1		(比較不可)	
	R03実績	91.1		(比較不可)	
	R04実績			(比較不可)	
	R05実績			(比較不可)	
	R06実績			(比較不可)	
	R06目標値	92.0		(比較不可)	

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 適正な廃棄物処理

指標	市民一人当たりの廃棄物処理費用(収集含む) (円)		環境衛生課	対基準値	指標値の注釈
				☔ (低下)	
指標の動き	後期基準値	13,446		対前年度	特記事項
	R02実績	13,348		☔ (低下)	
	R03実績	13,975		☔ (低下)	
	R04実績			■ 目標達成度	
	R05実績			■ (低)	
	R06実績				
	R06目標値	12,500			
もやすごみ量が増加しており、実績値が増加となった。					

基本事業01 適正な廃棄物処理

指標	運搬・処理に係る事故・施設トラブル件数(件)		環境衛生課	対基準値	指標値の注釈
				☁ (横ばい)	
指標の動き	後期基準値	2		対前年度	特記事項
	R02実績	1		☁ (横ばい)	
	R03実績	1		■ 目標達成度	
	R04実績			■ (中)	
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	0			
安全指導の徹底により、実績値は現状維持。					

基本事業01 適正な廃棄物処理

指標	市民一人当たりのごみ収集費用(円)		環境衛生課	対基準値	指標値の注釈
				☁ (横ばい)	
指標の動き	後期基準値	5,653		対前年度	特記事項
	R02実績	5,657		☁ (横ばい)	
	R03実績	5,587		■ 目標達成度	
	R04実績			■ (低)	
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	5,500			
人口減少の影響のためか、収集時間等がわずかに減少しており、収集費用全体として減少している。					

基本事業02 減量化・資源化の推進

指標	市民一人当たりのごみの排出量（1日当たり）（グラム）		環境衛生課	対基準値	指標値の注釈
				（横ばい）	
指標の動き	後期基準値	716		対前年度	特記事項 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減少した廃棄物もあるものの、相対的に増加した廃棄物が多くなっている。
	R02実績	735		（横ばい）	
	R03実績	753		目標達成度	
	R04実績			■ ■ ■	
	R05実績			（低）	
	R06実績				
	R06目標値	713			

基本事業02 減量化・資源化の推進

指標	リサイクル率（％）		環境衛生課	対基準値	指標値の注釈
				（横ばい）	
指標の動き	後期基準値	23		対前年度	特記事項 分別方法に変更はなく、大きな変更はみられない。
	R02実績	24		（横ばい）	
	R03実績	23		目標達成度	
	R04実績			■ ■ ■	
	R05実績			（低）	
	R06実績				
	R06目標値	24			

基本事業03 生活環境の改善

指標	生活環境に関する苦情件数(含む不法投棄) (件)		環境衛生課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	37 (件)		対前年度
	R02実績	30		☁ (横ばい)
	R03実績	30		目標達成度
	R04実績			■ (低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	20		

指標値の注釈

特記事項
引き続きパトロール等を実施しており、苦情件数は前年度と同様となっている。

基本事業03 生活環境の改善

指標	公害での指導件数(産業廃棄物含む) (件)		環境衛生課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	8 (件)		対前年度
	R02実績	14		☀ (向上)
	R03実績	6		目標達成度
	R04実績			■ (中)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	4		

指標値の注釈

特記事項
騒音・振動・悪臭などの指導4件 不法投棄などの指導2件 苦情があっても対応しても、原因者の特定に至らず指導できない場合がある。また解決まで長期にわたる事案も増えている。

基本事業04 自然への負荷低減

指標	公共施設における再生可能エネルギーによる発電総量 (MWh)		環境衛生課	対基準値
				☂ (低下)
指標の動き	後期基準値	177.82		対前年度
	R02実績	192.17		☂ (低下)
	R03実績	158.50		☂ (低下)
	R04実績			目標達成度
	R05実績			■ ■ ■ (低)
	R06実績			
	R06目標値	180.00		

指標値の注釈

特記事項
施設の除却はしていないため、単に天候等で発電量が減ったと考える。

基本事業04 自然への負荷低減

指標	公共施設における温室効果ガス (CO2) 排出量 (トン)		環境衛生課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	11,393		対前年度
	R02実績	11,573		☀ (向上)
	R03実績	10,599		目標達成度
	R04実績			🏰 (達成)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	10,823		

指標値の注釈

特記事項
毎年わずかずつ温室効果ガス排出量が減少していると考ええる。

基本事業05 生物多様性の保全・推進

指標	ツル・コウノトリの飛来数（羽）		環境衛生課	対基準値 ☂ (低下)	指標値の注釈
	後期基準値	91 (羽)		対前年度 ☀ (向上)	特記事項 ナベヅルが58羽、マナヅルが4羽の越冬となった。マナヅルについては、市の記録上初の越冬が確認された。コウノトリの飛来は確認されなかった。
指標の動き	R02実績	51		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	
	R03実績	62			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	123			

【政策】 3) まちづくり

9) 地域情報化と情報発信力の向上

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
一施策指標一	市内の情報環境が整っていると思う市民割合 (%)	70.7	70.7	70.7	—	—
ICT 利活用の促進	ネットワークのトラブル・ダウン日数 (予定外の) (日)	0	0	0	☀	☀
ICT 利活用の促進	ニアシェアオフィスの設置件数 (件)	1	1	1	☁	☁
情報提供及び発信の強化	市の情報提供の質・量に満足している市民割合 (%)	80.9	92.3	92.3	☀	☁
情報提供及び発信の強化	ホームページのアクセス数 (万件)	140	191	203	☀	☀
情報提供及び発信の強化	SNS等のフォロワー件数 (件)	812	828	917	☁	☁
情報提供及び発信の強化	Wi-Fiアクセスポイントの設置件数 (件)	25	29	29	☁	☁
情報提供及び発信の強化	西予市の魅力度の県内順位(調査対象 15 自治体中) (位)	5	5	6	☁	☁
庁内システムの整備と管理	庁内システム・ネットワークの予定外のダウン・セキュリティ事故件数 (件)	0	0	0	☀	☀
庁内システムの整備と管理	職員のマイナンバーカード取得率 (%)	92	92	94	☀	☀
庁内システムの整備と管理	オープンデータ公開データセット件数 (件)	0	0	0	☁	☁

政策 03 まちづくり

施策 09 地域情報化と情報発信力の向上

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
市民

意図(どのような状態にしたいのか)
市民の生活の中にICT機器が溶け込み充実した生活を送っています。

指標	市内の情報環境が整っていると思う市民割合(%)		政策推進課	対基準値	指標値の注釈	
	後期基準値	70.7		(比較不可)		
指標の動き	R02実績	70.7		対前年度	実績値の取得は隔年(R2年度、R4年度、R6年度)	
	R03実績	70.7		(比較不可)		
	R04実績			目標達成度		特記事項
	R05実績			(---)		
	R06実績					
	R06目標値	72.3				

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 ICT利活用の促進

指標	ネットワークのトラブル・ダウン日数（予定外の）（日）		政策推進課	対基準値
	後期基準値	0		☀️ (向上)
指標の動き	R02実績	0		対前年度
	R03実績	0		☀️ (向上)
	R04実績			目標達成度
	R05実績			🏰 (達成)
	R06実績			
	R06目標値	0		

指標値の注釈

特記事項
令和2年度と同様、予定外のネットワークのトラブル・ダウンは発生しなかった。グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業01 ICT利活用の促進

指標	ニアシアオフィス設置件数（件）		政策推進課	対基準値
	後期基準値	1		🔄 (横ばい)
指標の動き	R02実績	1		対前年度
	R03実績	1		🔄 (横ばい)
	R04実績			目標達成度
	R05実績			🚦 (中)
	R06実績			
	R06目標値	2		

指標値の注釈

特記事項
新たな動きもなく増減はなかった。

基本事業02 情報提供及び発信の強化

指標	市の情報提供の質・量に満足している市民割合（％）		政策推進課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	80.9		対前年度
	R02実績	92.3		☁ (横ばい)
	R03実績	92.3		☀ (向上)
	R04実績			☁ (横ばい)
	R05実績			☀ (向上)
	R06実績			☀ (向上)
	R06目標値	93.2		☀ (向上)

指標値の注釈
特記事項

基本事業02 情報提供及び発信の強化

指標	ホームページのアクセス数（万件）		政策推進課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	140		対前年度
	R02実績	191		☀ (向上)
	R03実績	203		☀ (向上)
	R04実績			☀ (向上)
	R05実績			☀ (向上)
	R06実績			☀ (向上)
	R06目標値	160		☀ (向上)

指標値の注釈
特記事項

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に関する記事へのアクセス数が増加している

基本事業02 情報提供及び発信の強化

指標	SNS等のフォロー件数（件）		政策推進課	対基準値
				☁ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	812		対前年度
	R02実績	828		☁ (横ばい)
	R03実績	917		☀ (向上)
	R04実績			☁ (横ばい)
	R05実績			☀ (向上)
	R06実績			☀ (向上)
	R06目標値	1,500		☀ (向上)

指標値の注釈
特記事項

防災情報を細かくSNSで配信するようになったことが実績値の向上につながったと思われる。

基本事業02 情報提供及び発信の強化

指標	Wi-Fiアクセスポイントの設置件数（件）		政策推進課	対基準値
				☁ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	25		対前年度
	R02実績	29		☁ (横ばい)
	R03実績	29		☀ (向上)
	R04実績			☁ (横ばい)
	R05実績			☀ (向上)
	R06実績			☀ (向上)
	R06目標値	40		☀ (向上)

指標値の注釈
特記事項

市民が集まるスペースについて一旦整備が終了したため新規設置は行わなかった。近時、FreeWi-Fiサービス自体の在り方について各種事例があるため、今後の整備方針については検討する。

基本事業02 情報提供及び発信の強化

指標	西予市の魅力度の県内順位（調査対象15自治体中）（位）		政策推進課	対基準値 ☁ (横ばい)	指標値の注釈
	後期基準値	5	(位)	対前年度 ☁ (横ばい)	
指標の動き	R02実績	5		目標達成度 ■ ■ ■ (低)	特記事項 調査対象である県内15自治体で見ると順位は低下しているものの、全国順位で見ると令和2年度より順位は向上している。
	R03実績	6			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	1			

基本事業03 庁内システムの整備と管理

指標	庁内システム・ネットワークの予定外のダウン・セキュリティ事故件数（件）		政策推進課	対基準値	☀️ (向上)	
	後期基準値	0		対前年度		☀️ (向上)
指標の動き	R02実績	0		目標達成度	🏰 (達成)	
	R03実績	0				
	R04実績					
	R05実績					
	R06実績					
	R06目標値	0				

指標値の注釈

特記事項
庁内システム・ネットワークの予定外のダウン・セキュリティ事故は発生しなかった。グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業03 庁内システムの整備と管理

指標	職員のマイナンバーカード取得率（％）		政策推進課	対基準値	☀️ (向上)	
	後期基準値	92		対前年度		☀️ (向上)
指標の動き	R02実績	92		目標達成度	■ ■ ■ (低)	
	R03実績	94				
	R04実績					
	R05実績					
	R06実績					
	R06目標値	100				

指標値の注釈

特記事項
商品券のキャンペーンもあり、少し向上した。令和4年度からは市民課に移管したが、引き続きカード取得について努める。

基本事業03 庁内システムの整備と管理

指標	オープンデータ公開データセット件数（件）		政策推進課	対基準値	☁️ (横ばい)	
	後期基準値	0		対前年度		☁️ (横ばい)
指標の動き	R02実績	0		目標達成度	■ ■ ■ (低)	
	R03実績	0				
	R04実績					
	R05実績					
	R06実績					
	R06目標値	10				

指標値の注釈

特記事項
オープンデータについて庁舎内データが整備されていないため公開には至らなかった。

【政策】 4) 行財政

1) 持続的な行政経営への取り組み推進

基本事業名	成果指標名	基準値 (R1)	R2 実績	R3 実績	対基準値 (R1) 評価	対前年度 (R2) 評価
-施策指標-	標準財政規模に占める財政調整 基金残高の割合 (%)	19.5	16.9	14.8	—	—
-施策指標-	効率的・計画的なまちづくりが進 められていると思う職員の割合 (%)	36	33	33	☁	—
-施策指標-	総合計画(施策・基本事業) の成 果指標向上割合(対基準値) (%)	28.9	28.9	34.9	☀	☀
財政運営の健全化	実質赤字比率 (%)	-	-	-	—	—
財政運営の健全化	連結実質赤字比率 (%)	-	-	-	—	—
財政運営の健全化	実質公債費比率 (%)	9.7	10.5	11.4	☂	☂
財政運営の健全化	将来負担比率 (%)	72.4	72.9	64.1	☀	☀
信頼される職員・組織・人事 管理	人口1万人当たり職員数 (類似 団体の平均値に対する割合)(人)	141.25	142.83	145.77	☁	☁
信頼される職員・組織・人事 管理	市の組織は効率的かつ機能的に なっていると思う職員割合 (%)	54.2	54.2	54.2	—	—
成果志向・効率的な仕事の推 進	業務改善・働き方見直し等の取 組みを行っていると感じている 職員の割合 (%)	72.6	72.6	72.6	—	—
成果志向・効率的な仕事の推 進	成果が向上した事務事業割合(通 常評価のみ) (%)	87.8	87.8	90.0	☁	☁
移住・定住・安住への取り組 み推進	西予市への転入超過者数 (人)	-269	-120	-222	☀	☂
公共施設マネジメントの推 進	方向性が定まった公共施設の数 (件)	7	33	478	☀	☀
公共施設マネジメントの推 進	除却できた公共施設の件数割合 (全ての耐用年数切れの公共施設 件数に対して) (%)	1.0	2.7	1.8	☂	☂
情報公開と保護	不服申立てによる情報公開決定 件数 (件)	0	0	0	☀	☀
情報公開と保護	個人情報に関するトラブル・事故 件数 (件)	0	0	0	☀	☀
適切な事務の執行(内部統制 的) ※会計課、議会事務局、 選挙、監査等含む	適正な事務処理がされず市民に 影響を与えた件数 (件)	0	0	0	☀	☀

政策 04 行財政

施策 01 持続的な行政経営への取り組み推進

施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)
財政、市有財産、施策・事務事業

意図(どのような状態にしたいのか)
健全な行財政運営が持続されています。

指標	標準財政規模に占める財政調整基金残高の割合(%)		財政課	対基準値
				(比較不可)
指標の動き	後期基準値	19.5		対前年度
	R02実績	16.9		(比較不可)
	R03実績	14.8		目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	20.0		

指標値の注釈
指標の増減が成果と言えないため、比較不可。

特記事項
元利償還金の増加等に伴う財源不足に対応した結果、財政調整基金の残高が令和2年度より約2億5千万円減少し、指標値が2.1ポイント低下。

指標	効率的・計画的なまちづくりが進められていると思う職員の割合(%)		政策推進課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	36		対前年度
	R02実績	33		(比較不可)
	R03実績	33		目標達成度
	R04実績			(低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	100		

指標値の注釈
実績値の取得は隔年(R2年度、R4年度、R6年度)

特記事項

指標	総合計画(施策・基本事業)の成果指標向上割合(対基準値)(%)		政策推進課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	28.9		対前年度
	R02実績	28.9		(横ばい)
	R03実績	34.9		目標達成度
	R04実績			(低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	100		

指標値の注釈

特記事項
新型コロナウイルス感染症の影響により、施策の推進に一定の支障が出ているものの、前年度と比較すると実績値が6ポイント向上した。

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 財政運営の健全化

指標	実質赤字比率 (%)		財政課	対基準値
				(比較不可)
指標の動き	後期基準値	-		対前年度
	R02実績	-		(比較不可)
	R03実績	-		目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	-		

指標値の注釈

特記事項
実質赤字が無い場合、指標値は「-」と表示される。

基本事業01 財政運営の健全化

指標	連結実質赤字比率 (%)		財政課	対基準値
				(比較不可)
指標の動き	後期基準値	-		対前年度
	R02実績	-		(比較不可)
	R03実績	-		目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	-		

指標値の注釈

特記事項
連結実質赤字が無い場合、指標値は「-」と表示される。

基本事業01 財政運営の健全化

指標	実質公債費比率 (%)		財政課	対基準値
				(低下)
指標の動き	後期基準値	9.7		対前年度
	R02実績	10.5		(低下)
	R03実績	11.4		目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	12.4		

指標値の注釈

特記事項
令和2年度と比較して、元利償還金の額が約2億6千万円増加したこと等により、指標値が0.9ポイント上昇(悪化)している。

基本事業01 財政運営の健全化

指標	将来負担比率 (%)		財政課	対基準値
				(向上)
指標の動き	後期基準値	72.4		対前年度
	R02実績	72.9		(向上)
	R03実績	64.1		目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	111.3		

指標値の注釈

特記事項
令和2年度と比較して、地方債の現在高が約2億9千万円減少、公営企業債等繰入見込額が約8億4千万円減少、標準財政規模が約6億3千万円増加したこと等により、指標値が8.8ポイント低下(改善)している。

基本事業02 信頼される職員・組織・人事管理

指標	人口1万人当たり職員数（類似団体の平均値に対する割合）（人）		総務課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	141.25		対前年度
	R02実績	142.83		(横ばい)
	R03実績	145.77		目標達成度
	R04実績			(低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	150.16		

指標値の注釈

特記事項
<p>全部門において再任用職員の増。また公営企業部門において看護職員や介護職員の増員により数値が上昇した。</p>

基本事業02 信頼される職員・組織・人事管理

指標	市の組織は効率的かつ機能的になっていると思う職員割合（％）		総務課	対基準値
				(比較不可)
指標の動き	後期基準値	54.2		対前年度
	R02実績	54.2		(比較不可)
	R03実績	54.2		目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	80.0		

指標値の注釈
<p>実績値の取得は隔年（R2年度、R4年度、R6年度）</p>

特記事項

基本事業03 成果志向・効率的な仕事の推進

指標	業務改善・働き方見直し等の取り組みを行っていると感じている職員の割合（％）		総務課	対基準値
				(比較不可)
指標の動き	後期基準値	72.6		対前年度
	R02実績	72.6		(比較不可)
	R03実績	72.6		目標達成度
	R04実績			(---)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	80.0		

指標値の注釈
実績値の取得は隔年（R2年度、R4年度、R6年度）

特記事項

基本事業03 成果志向・効率的な仕事の推進

指標	成果が向上した事務事業割合（通常評価のみ）（％）		政策推進課	対基準値
				(横ばい)
指標の動き	後期基準値	87.8		対前年度
	R02実績	87.8		(横ばい)
	R03実績	90.0		目標達成度
	R04実績			(低)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	100		

指標値の注釈

特記事項
各事務事業において適切な事務の推進が図られたため、実績値が向上した。 主要な施策のみを対象とする。

基本事業04 移住・定住・安住への取り組み推進

指標	西予市への転入超過者数（人）		対基準値	指標値の注釈										
	まちづくり推進課		☀ (向上)											
指標の動き	後期基準値	-269 (人)	<table border="1"> <caption>指標の動き (実績値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R01</td> <td>-269</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-120</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-222</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>-169</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (人)	R01	-269	R02	-120	R03	-222	R06	-169	対前年度
	年度	実績値 (人)												
	R01	-269												
	R02	-120												
	R03	-222												
	R06	-169												
	R02実績	-120		☂ (低下)										
R03実績	-222	☂ (低下)												
R04実績														
R05実績														
R06実績														
R06目標値	-169	目標達成度												
		■ (中)												

特記事項
 令和3年度は、令和2年度と同程度の転入者が獲得ができたものの、令和2年度に比べ転出者が増加したことで、実績値が低下したと考える。

基本事業05 公共施設マネジメントの推進

指標	方向性が定まった公共施設の数(件)		政策推進課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	7 (件)		対前年度
	R02実績	33		☀ (向上)
	R03実績	478		☀ (向上)
	R04実績			☀ (向上)
	R05実績			☀ (向上)
	R06実績			☀ (向上)
	R06目標値	100		☀ (向上)

指標値の注釈

特記事項
令和3年度に公共施設個別施設計画(素案)として、11分野における478施設の方向性を取りまとめている。

基本事業05 公共施設マネジメントの推進

指標	除却できた公共施設の件数割合(全ての耐用年数切れの公共施設件数に対して)(%)		政策推進課	対基準値
				☂ (低下)
指標の動き	後期基準値	1.0 (%)		対前年度
	R02実績	2.7		☂ (低下)
	R03実績	1.8		☂ (低下)
	R04実績			☂ (低下)
	R05実績			☂ (低下)
	R06実績			☂ (低下)
	R06目標値	5.0		☂ (低下)

指標値の注釈

特記事項
令和3年度においては、耐用年数切れの建物660のうち12棟の除却を行うことができた。

基本事業06 情報公開と保護

指標	不服申立てによる情報公開決定件数（件）		総務課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	0		対前年度
	R02実績	0		☀ (向上)
	R03実績	0		目標達成度
	R04実績			🏰 (達成)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	0		

指標値の注釈

特記事項
グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業06 情報公開と保護

指標	個人情報に関するトラブル・事故件数（件）		総務課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	0		対前年度
	R02実績	0		☀ (向上)
	R03実績	0		目標達成度
	R04実績			🏰 (達成)
	R05実績			
	R06実績			
	R06目標値	0		

指標値の注釈

特記事項
グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業07 適切な事務の執行（内部統制的） 会計課、議会議務局、選挙、監査等含む

指標	適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数（件）		政策推進課	対基準値 ☀ (向上)	指標値の注釈
	後期基準値	0		対前年度 ☀ (向上)	特記事項 グラフは横ばい傾向に見取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。
指標の動き	R02実績	0		目標達成度 🏠 (達成)	
	R03実績	0			
	R04実績				
	R05実績				
	R06実績				
	R06目標値	0			

